NTT

Netcommunity SYSTEM

BX

取扱説明書

主装置内蔵電話機

ナンバー・ディスプレイ 対応
ネーム・ディスプレイ

技術基準適合認証品
BX-IRM-〈1〉
BX-ARM-〈1〉

このたびは、ネットコミュニティシステム　BX 主装置内蔵電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

1 お使いになる前に
2 電話をかける／受ける
3 留守番電話を使う
4 リモコン操作する
5 用件を転送する
6 より便利に使う
7 オプションを使う
8 ご参考に

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマークの説明

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP **お願い**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

- ●本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- ●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- ●本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを取扱説明書の消去方法（☛P8）にしたがって消去願います。
- ●本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- ●本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- ●操作早見表をご使用の際は、必ず本書をよくお読みになり、ご理解いただいたうえでお使いください。
- ●本商品と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全に一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- ●商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

＊本文中に記載の製品名や品名は各社の商標または登録商標です。

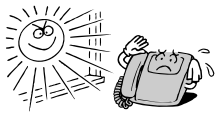
設置について

⚠ 警告

● 主電話機、電話機、モジュラジャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。主電話機、電話機、モジュラジャックや電話配線に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

● 主電話機、電話機やモジュラジャックを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水･油･薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



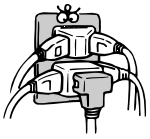
お取り扱いについて

⚠ 警告

● 電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

● テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや電話機モジュラジャックをそれぞれ電源コンセントや電話機モジュラジャックから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

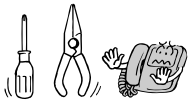
安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて（つづき）

⚠ 警告

- 万一、主電話機や電話機を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、主電話機や電話機の内部、モジュラジャックや電話配線に異物や水などが入った場合は、電源プラグや電話機モジュラプラグをそれぞれ電源コンセントや電話機モジュラジャックから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

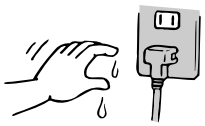
- 主電話機や電話機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主電話機や電話機は修理に応じられない場合があります）。



- 電源コードや電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 電源コードや電話機コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグ、電話機モジュラプラグを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 主電話機、電話機、モジュラジャックや電話配線に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源プラグおよび電話機モジュラプラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 主電話機や電話機をお手入れするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

- 主電話機や電話機のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが主電話機や電話機の内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 主電話機や電話機のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が主電話機や電話機の内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが主電話機や電話機の内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。

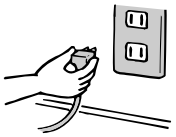
- 主電話機や電話機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主電話機や電話機の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

お取り扱いについて（つづき）

⚠ 警告

- 主電話機や電話機を移動するときは、電源プラグや電話機モジュラプラグを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグや電話機モジュラプラグが電源コンセント、電話機モジュラジャックに差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



- 主電話機、電話機、電源コードや電話機コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 近くに雷が発生したときは、電源プラグ、電話機モジュラプラグを電源コンセント、電話機モジュラジャックから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

- 主電話機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 主電話機や電話機は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
  - ・ 電子機器が誤動作するなどの原因となることがあります。
  - ・ 使用を制限された場所では使用しないでください。

  例：医療用電子機器など

設置について

⚠ 注意

- 主電話機や電話機を壁に取り付けるときは、主電話機や電話機の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。

- 主電話機や電話機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、主電話機や電話機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて

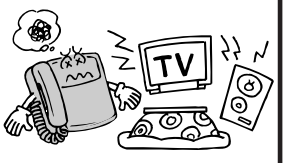
⚠ 注意

- 主電話機を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず主電話機の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 主電話機や電話機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 主電話機や電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 電話機パネルの取り外しには先のとがったものを利用してください。指や爪で行うとけがをするおそれがあります。
- 電話機の受話増機能を使って、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。
- 主電話機または留守番停電電話機で留守番電話をご利用の場合、110番、119番、118番などからの緊急呼び返しを受けた場合でも、留守番電話が応答してしまうことがあります。また、電話機アダプタ、パソコンアダプタをご利用の場合に、呼び返しに対してアダプタに接続されている端末が応答してしまうことがあります。

設置について

STOP お願い

- 主電話機や電話機を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、主電話機や電話機の設置場所を移動してみてください。



- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主電話機や電話機の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

お願い

- 主電話機や電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

- 主電話機や電話機をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主電話機や電話機の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

- ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の用件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- 主電話機の電源プラグを抜いたままにしないでください。
  - 留守番機能やコードレス電話機、ドアホンが使えません。
  - ナンバー・ディスプレイを利用した機能が使えません。
- 停電のときは、主電話機または停電用電話機を使用してください。
  - 他の内線電話機は使用できません。
  - ドアホンは使えません。

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを次の手順で消去または変更願います。

●主装置内蔵電話機（主電話機）の場合

お買い求め時の設定に戻す操作（初期化）を行います。

① 電源コードをコンセントから抜く。

② ✳と＃を同時に押しながら、電源コードをコンセントに差し込む。

内線ボタンが点滅したら、✳と＃から指をはなします。

③ ✳を押す。

ディスプレイには、次のように表示されます。

```
初期化
0:しない
1:する
```

④ 1を押し、次に＃を押す。

ディスプレイには、次のように表示されます。

```
初期化しました
電源OFFしてください
```

⑤ 電源コードをコンセントからを抜く。

初期化が完了しました。

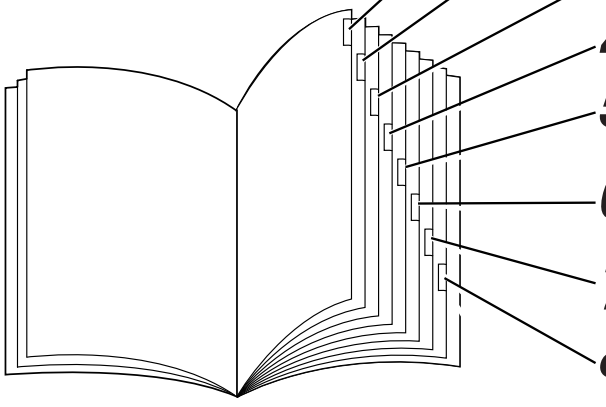
●標準電話機の場合

標準電話機に登録または保持された以下のデータは、主電話機が持っているため、主電話機を初期化することですべて消去されます。標準電話機に登録または保持したデータを個別に消去または変更したいときは、下表にしたがって行ってください。

記　録　内　容	処　　置
電話帳	P34を参照してください。
ワンタッチダイヤル	P30を参照してください。
再ダイヤル	P29を参照してください。
着信履歴	P57を参照してください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 電話をかける／受ける
電話をかけたり、受けたりする基本機能について説明しています。

3 留守番電話を使う
留守番電話を使うための手順を説明しています。

4 リモコン操作する
外出先などからリモコン操作をする手順を説明しています。

5 用件を転送する
留守番電話の用件を外出先へ転送するための手順を説明しています。

6 より便利に使う
1～5章までの内容のほかに、利用できる便利な機能について説明しています。

7 オプションを使う
オプションの説明とドアホンについて説明しています。

8 ご参考に
設置と接続の方法、故障かな?と思ったときの確認方法などをご参考として説明しています。

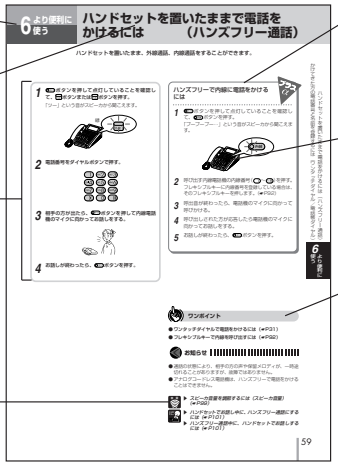
操作説明のページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明
順番に操作を説明します。

Q&A参照アイコン
第6章「Q＆A」の同じアイコンの項に、説明や操作方法が書かれていることを示します。



プラスα
関連する操作について説明します。

電話機イラスト
操作で使うボタンなどの位置を示します。この取扱説明書では主電話機のイラストで説明してあります。

ワンポイント/お知らせ/お願い

〈ワンポイント〉
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

〈お知らせ〉
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

〈お願い〉
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

お知らせ

- 本文中のシステム設定とは、システム設置時にあらかじめ工事者が登録・設定することを示します。

目　次

安全にお使いいただくために
　必ずお読みください……2
この取扱説明書の見かた……9

1 お使いになる前に

システム構成図 ……12
特長 ……14
セットを確認してください ……15
各部の名前 ……16
メニューの操作について ……23
　メニューの項目の選択方法 ……23
　メニュー画面での操作のしかた ……23
カレンダ、時計を合わせます
　（カレンダー設定、時計設定）……24

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには（外線発信）……25
　ハンドセットを取りあげてかける ……25
　ハンドセットを置いたままかける
　　(オンフックダイヤル)……25
電話がかかってきたときは（外線着信）……27
相手の方に待っていただくには（保留）……28
同じ相手にかけ直すには（再ダイヤル）……29
ワンタッチダイヤルで電話をかけるには ……30
　ワンタッチダイヤルを登録する ……30
　ワンタッチダイヤルで電話をかける ……31
電話帳に電話番号を登録するには
　（電話帳ダイヤル）……32
　電話帳に登録する ……32
　名前、フリガナを入力する ……35
電話帳を使って電話をかけるには
　（電話帳ダイヤル）……37
　フリガナやグループで検索してかける ……37
　メモリ番号を検索してかける ……38
電話を取りつぐには（保留転送）……39
内線でお話しするには（内線通話）……40

3 留守番電話を使う

留守番電話として使うには ……41
留守番電話を便利に使うには ……42
　留守番電話の便利な使い方 ……42
留守番電話をセットするには ……44
留守番電話を解除するには ……45
録音された用件を聞くには ……46
応答メッセージを録音するには ……47

4 リモコン操作する

リモコン操作でできること ……48
リモート暗証番号を登録するには ……49
外出先から用件を聞くには ……50
番号でできるリモコン操作
　（ダイレクトリモコン操作番号）……53

5 用件を転送する

用件を外出先に転送するには（留守転送）……54
　転送とは ……54
用件の転送先を登録してセットするには ……55
転送先で用件を受けるには ……56

6 より便利に使う

かかってきた電話にかけ直すには
　（着信履歴）……57
かけてきた方の電話番号と名前を登録するには
　（ワンタッチダイヤル/電話帳ダイヤル）……58
　ワンタッチダイヤルに登録する ……58
ハンドセットを置いたままで電話をかけるには
　（ハンズフリー通話）……59
ハンドセットを置いたままで電話を受けるには
　（ハンズフリー通話）……60
INSネットサービスの特長 ……61
i･ナンバーを利用するには……62
　i･ナンバーの利用を設定する……62
i･ナンバーの設定例……63
　割り当ての設定例 ……63
INSダイヤルインの設定例 ……65
　ダイヤルインの割り当て設定例 ……65
ナンバー・ディスプレイを利用するには ……67
　電話がかかってくると ……67
　ネーム・ディスプレイを利用するには ……68
　ナンバー･ディスプレイを利用した便利な機能 …69
外から特定の電話機を呼び出すには
　（ダイヤルインサービス／i・ナンバー／
　サブアドレス通知サービス）……70

メッセージ到着お知らせサービスを利用するには ‥72
メッセージ到着お知らせサービスを利用する ‥‥72
メッセージ到着お知らせサービスの設定例 ‥‥‥74
i･ナンバーサービスを利用している場合の設定例‥‥75
かかってきた電話を他の外線へ転送するには（転送電話）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥77
転送電話とは ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥77
転送電話を設定するには ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥78
転送先リストを登録する ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥78
発信者の電話番号を登録する ‥‥‥‥‥‥‥‥‥78
転送の条件を設定する ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥79
転送電話をセットするには ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥81
転送電話をセットする ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥81
転送電話の設定例 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥83
かかってきた電話をすべて転送する ‥‥‥‥‥‥83
特定の相手先から特定のダイヤルイン番号にかかってきた電話を転送する ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥86
INSボイスワープを利用するには ‥‥‥‥‥‥‥‥89
転送先電話番号を登録する ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥89
お待たせメッセージを利用するには ‥‥‥‥‥‥‥90
お待たせメッセージを利用するための準備 ‥‥‥90
お待たせメッセージを使う ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥90
フレキシブルキーに内線番号や機能を登録するには ‥92
内線番号を登録する ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥92
外線機能を登録する ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥93
電話機ごとに名前を登録するには（内線ネーム登録）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥94
固定電話から携帯電話への通話サービスを利用するには（事業者識別番号付与）‥‥‥‥‥95
より便利に使うには ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥97
Q&A ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥99
いろいろな音量を調整する ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥99
保留／保留転送する‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥101
その他の機能を使う‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥101
メニューの流れ（共通設定）‥‥‥‥‥‥‥‥‥107
メニューの流れ（個別設定）‥‥‥‥‥‥‥‥‥111
メニューの流れ（留守設定）‥‥‥‥‥‥‥‥‥112
いろいろな機能を登録・設定するには（共通設定）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥113
いろいろな機能を登録・設定するには（個別設定）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥120
いろいろな機能を登録・設定するには（留守設定）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥123

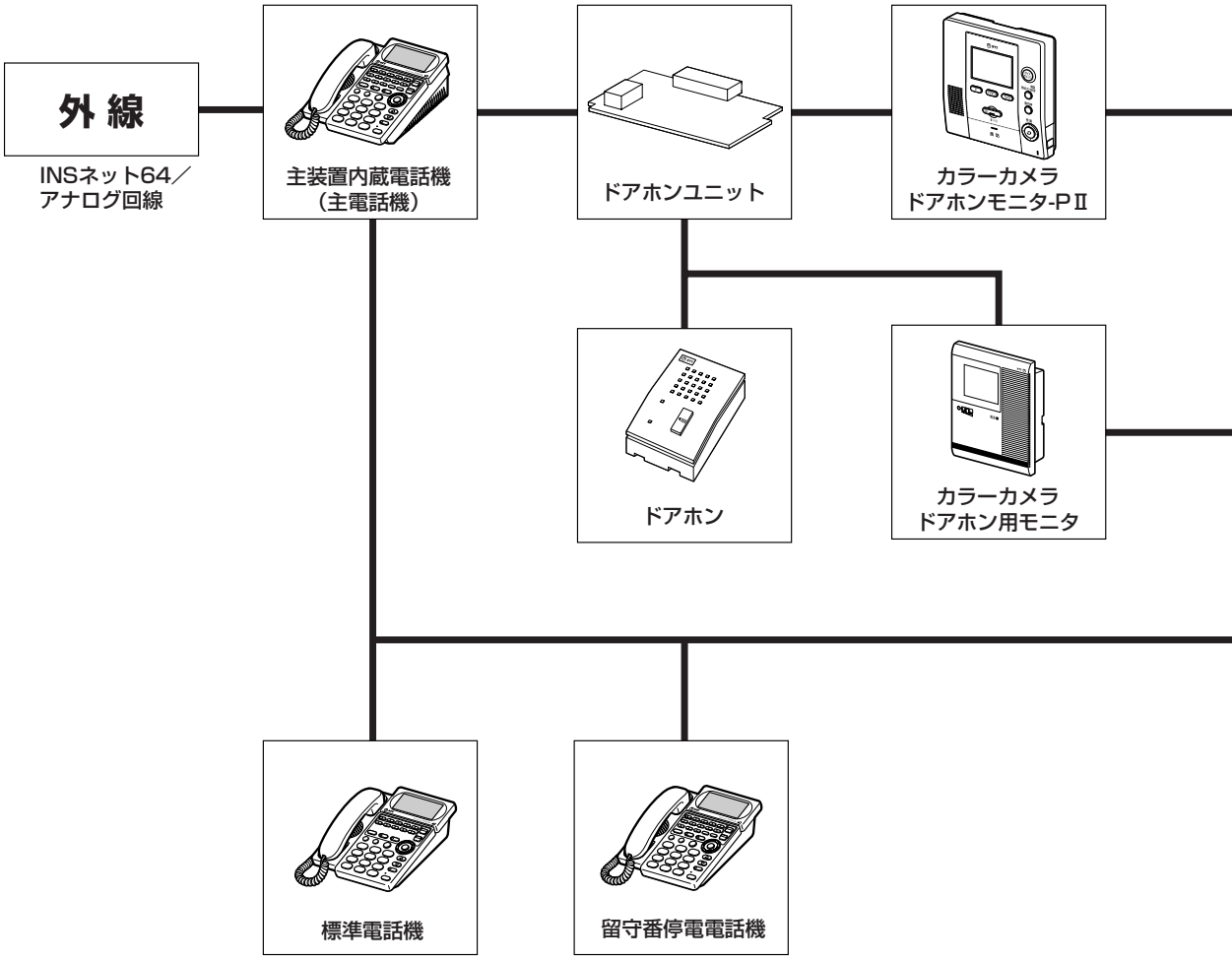
7 オプションを使う

ご利用になれるオプション装置‥‥‥‥‥‥‥‥‥125
ドアホンとお話しするには‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥127
ドアホンからの呼び出しに応答する‥‥‥‥‥‥127
ドアホンの周囲の音を聞く‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥127

8 ご参考に

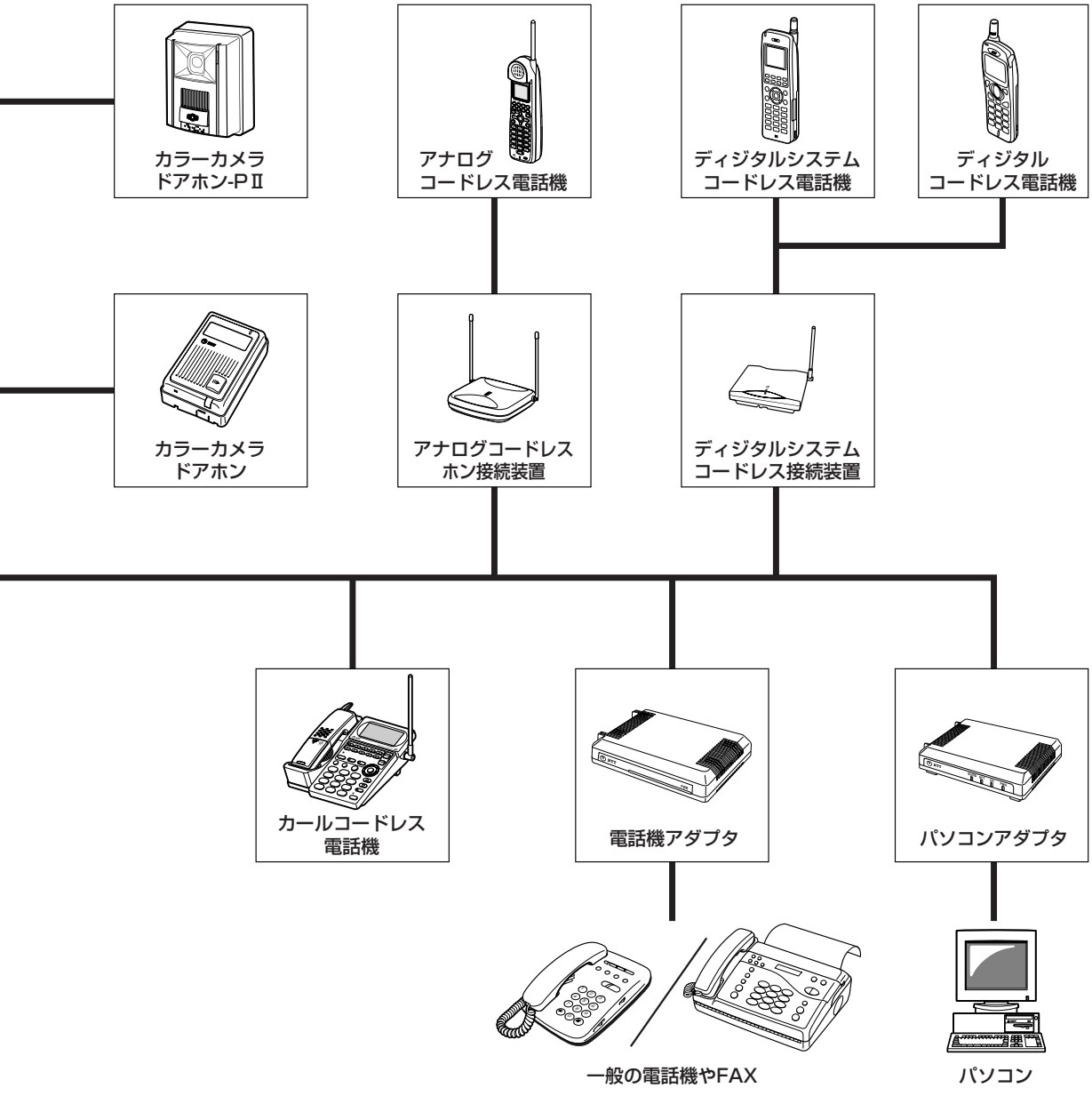
付属品／添付品をご利用になるには‥‥‥‥‥‥128
その他のオプションをご利用になるには‥‥‥‥128
付属品をご利用になるには‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥128
システム設定するとご利用になれる機能‥‥‥‥129
保留・転送‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥129
発信‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥129
アナログ2回線利用 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥129
ドアホン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥129
設置と接続について‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥130
INSネット64用通信機器を接続する場合の各スイッチの設定 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥131
停電になったときは‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥132
こんな音がしたら‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥133
故障かな？と思ったら‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥134
索引‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥137
操作早見表‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥141
リモコンカード‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥145
入力モードの切り替え‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥147
ボタンと文字の対応表‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥147
仕様‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥149
保守サービスのご案内‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥150

システム構成図



お知らせ

- 主装置内蔵電話機および標準電話機以外の機器はオプション品です。
- システムの設置には工事が必要です。工事には別途工事料金がかかります。
- 上記のシステム構成図は一例です。配線や収容端末により、上図のように設置できない場合があります。
- ドアホンユニットは主電話機内に装着されます。
- ISDN回線用主電話機のみパソコンアダプタが接続できます。


カラーカメラ
ドアホン-PⅡ
アナログ
コードレス電話機
ディジタルシステム
コードレス電話機
ディジタル
コードレス電話機
カラーカメラ
ドアホン
アナログコードレス
ホン接続装置
ディジタルシステム
コードレス接続装置
カールコードレス
電話機
電話機アダプタ
パソコンアダプタ
一般の電話機やFAX
パソコン

特　長

最大7台までの電話機を接続可能
ネットコミュニティシステム BX には、最大8台（主電話機も含む）までの電話機、2台までのドアホンを接続することができます。

受話音量調節機能
主電話機、標準電話機、留守番停電電話機には、受話音量調節機能が装備されています。さらに受話増機能で相手の方の声を大きくし、聞き取りやすくできます。（☛P99、100）

ISDN回線のご利用（ISDN回線用主電話機）
ISDN回線も一般回線と同様に接続できます。ISDN回線をご利用の場合は、INSボイスワープなどのINSネットの便利な機能をご利用いただけます。（☛P61）

豊富な電話機バリエーション
主電話機、標準電話機のほか、留守番停電電話機、カールコードレス電話機、ディジタルシステムコードレス電話機、アナログコードレス電話機、ディジタルコードレス電話機などが用意されています。ご使用環境に合わせ、自由にお選びいただけます。（☛P125、126）

メニューによる簡単設定
電話機のディスプレイを見ながら、メニュー形式でいろいろな登録・設定が簡単に行えます。漢字やひらがなも表示することができます。（☛P107）

各種ダイヤルインに対応
アナログ回線時はモデムダイヤルイン、ISDN回線時はINSダイヤルイン、i・ナンバー、サブアドレス通知サービスに対応しています。これらのサービスを使って、電話／ファクス用、仕事用／プライベート用、部署・担当者別などの使い分けができます。（☛P70）

忙しいときはお待たせメッセージで応対
フレキシブルキーに「お待たせ」機能を登録しておくと、かかってきた電話にすぐ出られないときなどに「まもなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、のちほどおかけ直しください」のメッセージで応対できます。（☛P90）

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）
電話をかけてきた相手の方の電話番号(発信電話番号)や発信企業名や氏名、電話番号を通知できない理由をディスプレイに表示するなどの機能がご利用いただけます。（☛P67）

すぐに使える留守番電話
応答メッセージなどの準備をしなくてもすぐに留守番電話として使えます。（☛P41）

2種類の録音応答メッセージ
自分の声で応答メッセージを2種類録音することができます。平日用と休日用、昼間用と夜間用など、応答メッセージの使い分けができます。（☛P47）

ディジタル録音
ディジタル録音方式だからカセットテープが不要で、しかも送り、戻しが速く、すぐにメッセージの再生ができます。

便利なリモコン操作
外出先からリモコン操作で、留守番電話をセットしたり、留守中に録音された用件を聞くことができます。（☛P48）

カラーカメラドアホンを用意
オプションのドアホンユニットにカラーカメラドアホン-PⅡとカラーカメラドアホンモニタ-PⅡ（オプション）を接続すると、ドアホン側の方とお話しすることができます。また、カラーカメラドアホン-PⅡとカラーカメラドアホンモニタ-PⅡを用いて訪問者の顔写真を撮影し、保存することができます。（☛P125、126）

お知らせ

●各オプション装置をご利用いただく場合は、各機器の取扱説明書をご参照ください。また、ネットコミュニティシステム BXでは一部の機能がご利用いただけませんのでご注意ください。

セットを確認してください

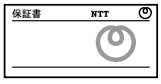
主装置内蔵電話機（主電話機）

■本体（1台）

■付属品

取扱説明書
（1部）

電話機用シール
（1枚）



保証書（1枚）

「NTT通信機器お取扱
相談センタ」シール
（1枚）

標準電話機

■本体（1台）

■付属品

電話機用シール
（1枚）

「NTT通信機器お取扱
相談センタ」シール
（1枚）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

主装置内蔵電話機（主電話機）

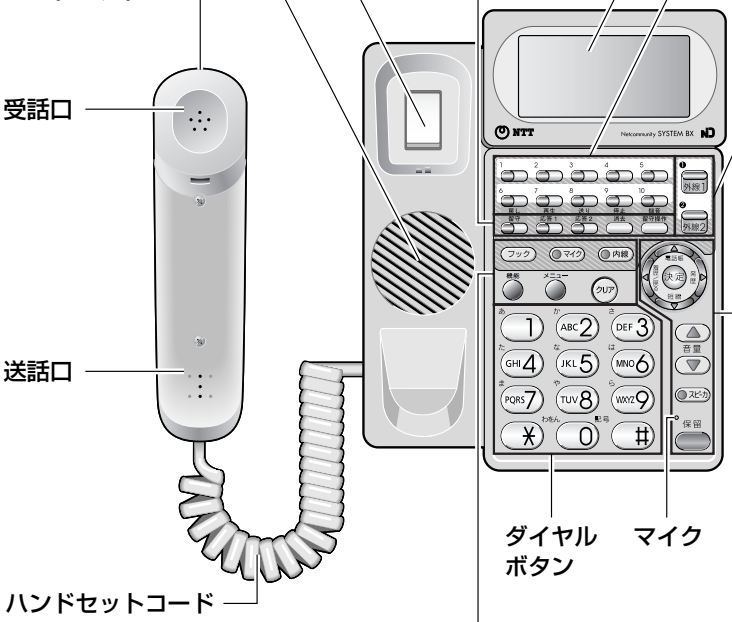
留守ボタン
留守番電話をセットまたは解除をするときに使います。

応答1ボタン
応答メッセージ1を録音／再生するときなどに使います（☛P47）。
また、応答メッセージ1で留守番電話をセットするときに使います。

応答2ボタン
応答メッセージ2を録音／再生するときなどに使います（☛P47）。
また、応答メッセージ2で留守番電話をセットするときに使います。

消去ボタン
応答メッセージ1、応答メッセージ2、用件や通話録音を消去するときなどに使います。（☛P46、47）

留守操作ボタン
フレキシブルキー6～10を、用件の戻し／再生／送り／停止用のキーとして、また、通話録音（☛P46）用のキーとして使えるようにします。



フレキシブルキー
フレキシブルキーで電話をかけるときや登録するときに使います。（☛P30、31）
また、内線番号やお待たせメッセージなど、いろいろな機能を登録しておき、ワンタッチで操作するときにも使います。（☛P92）
留守操作ボタン押下時は、用件の戻し／再生／送り／停止、通話録音などに使います。（☛P46）

外線ボタン
外線に電話をかけるときなどに使います。

決定ボタン
いろいろな機能を登録するときや、選択した項目や入力した内容などを確定するときに使います。

△▽◁▷ ボタン
カーソルの移動、画面のスクロールや、かなを漢字に変換するときなどに使います。

- **△ボタン、電話帳ボタン**
  カーソルを上に移動するときや電話帳検索画面を表示させるときなどに使います。
- **▽ボタン、短縮ボタン**
  カーソルを下に移動するときや電話帳メモリ検索で電話をかけるときなどに使います。
- **◁ボタン、着歴／戻るボタン**
  カーソルを左に移動するときや1つ前の画面に戻るとき、着信履歴を表示させるときなどに使います。
- **▷ボタン、発歴ボタン**
  カーソルを右に移動するときや発信履歴を表示させるときなどに使います。

音量調節ボタン
スピーカやハンドセットからの音量を調節するときに使います。

スピーカボタン
相手の方の声をスピーカで聞くときや、ハンドセットを置いたまま電話をかけるときなどに使います。

保留ボタン
相手の方とのお話しを保留するときに使います。

フックボタン
キャッチホンなどで使います。

マイクボタン
マイクのオン、オフを切り替えるときや、ハンドセットを置いたままで内線の呼び出しに応答するときに使います。（☛P59、60）

内線ボタン
内線でお話しするときに使います。（☛P40）

機能ボタン
他のボタンと組み合わせて、いろいろな機能を登録するときに使います。

メニューボタン
メニュー設定を行うときや、文字の入力モードを切り替えるときに使います。

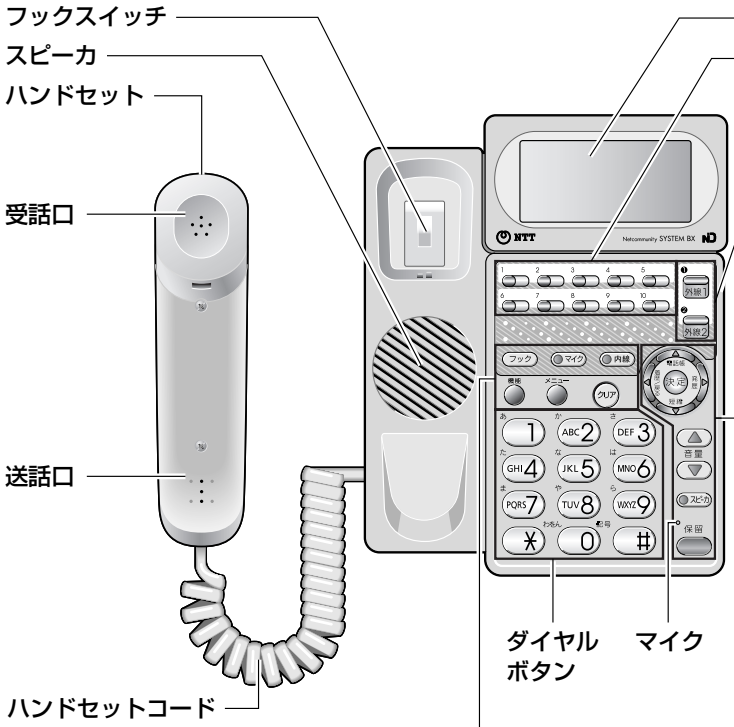
クリアボタン
文字を消去するときや、メニュー設定を中止するときに使います。

ダイヤルボタン(JKL 5)の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方が電話をかけるときのダイヤル操作を容易にするためのものです。

お知らせ

- アナログ回線用主電話機で1回線のみをご契約の場合は、外線2は使用できません。

標準電話機



決定ボタン
いろいろな機能を登録するときや、選択した項目や入力した内容などを確定するときに使います。

△▽◁▷ボタン
カーソルの移動、画面のスクロールや、かなを漢字に変換するときなどに使います。

- **△ボタン、電話帳ボタン**
  カーソルを上に移動するときや電話帳検索画面を表示させるときなどに使います。
- **▽ボタン、短縮ボタン**
  カーソルを下に移動するときや電話帳メモリ検索で電話をかけるときなどに使います。
- **◁ボタン、着歴／戻るボタン**
  カーソルを左に移動するときや1つ前の画面に戻るとき、着信履歴を表示させるときなどに使います。
- **▷ボタン、発歴ボタン**
  カーソルを右に移動するときや発信履歴を表示させるときなどに使います。

音量調節ボタン
スピーカやハンドセットからの音量を調節するときに使います。

スピーカボタン
相手の方の声をスピーカで聞くときや、ハンドセットを置いたまま電話をかけるときなどに使います。

保留ボタン
相手の方とのお話しを保留するときに使います。

ダイヤルボタン(No.5)の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方が電話をかけるときのダイヤル操作を容易にするためのものです。

フックボタン
キャッチホンなどで使います。

マイクボタン
マイクのオン、オフを切り替えるときや、ハンドセットを置いたままで内線の呼び出しに応答するときに使います。(☛P59、60)

内線ボタン
内線でお話しするときに使います。(☛P40)

機能ボタン
他のボタンと組み合わせて、いろいろな機能を登録するときに使います。

メニューボタン
メニュー設定を行うときや、文字の入力モードを切り替えるときに使います。

クリアボタン
文字を消去するときや、メニュー設定を中止するときに使います。

お知らせ

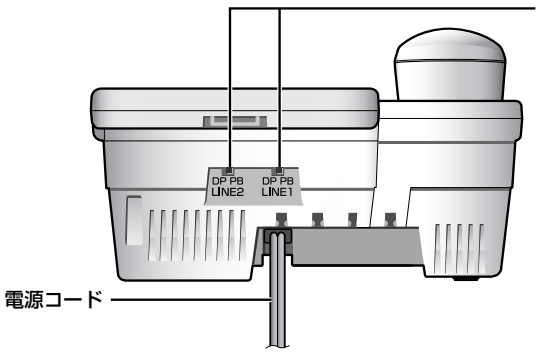
- アナログ回線用主電話機で1回線のみをご契約の場合は、外線2は使用できません。

各部の名前

【背面】

主装置内蔵電話機（主電話機）

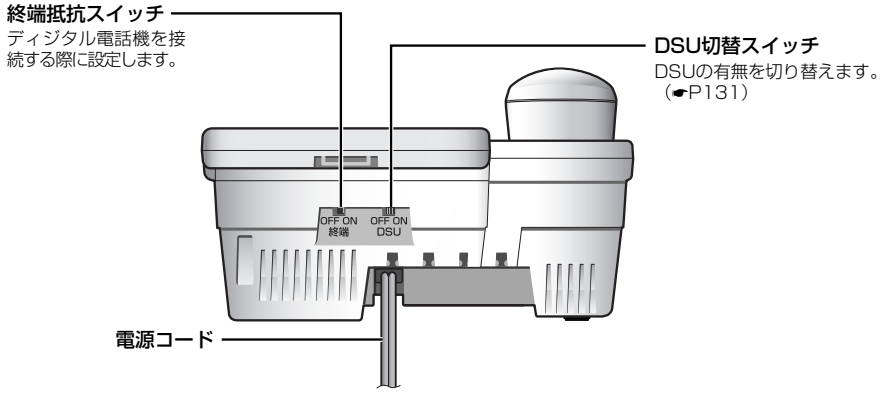
アナログ回線用



お願い

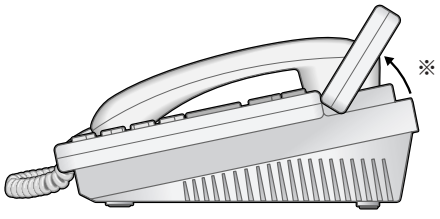
- 設定を変更しないでください。電話をかけられなくなる場合があります。

ISDN回線用



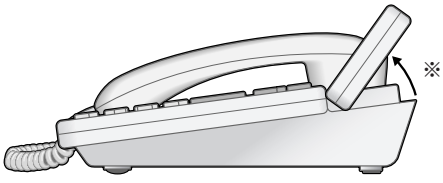
【右側面】

主装置内蔵電話機（主電話機）



※約45°まで、ディスプレイ部分を起こすことができます。

標準電話機

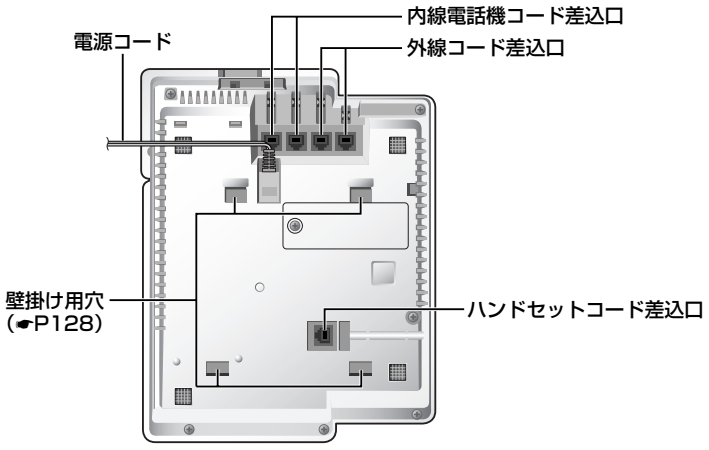


お願い

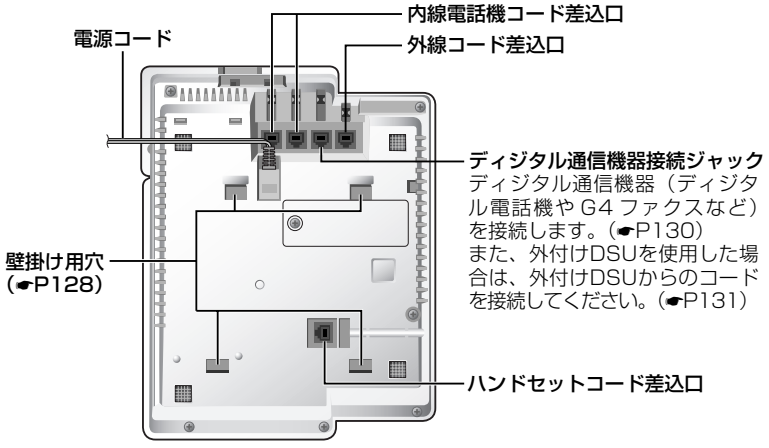
- ディスプレイを無理に起こしたり、動かしたりしないでください。

【底面】
主装置内蔵電話機（主電話機）

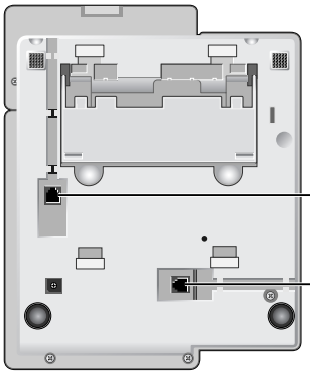
アナログ回線用



ISDN回線用



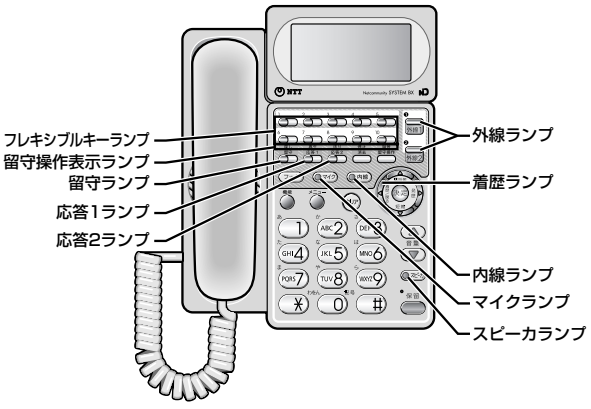
標準電話機



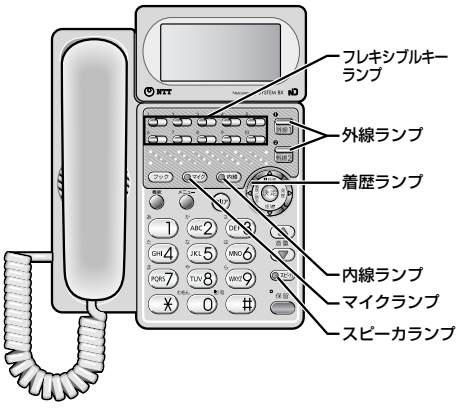
各部の名前

【ランプ表示】

主装置内蔵電話機（主電話機）



標準電話機

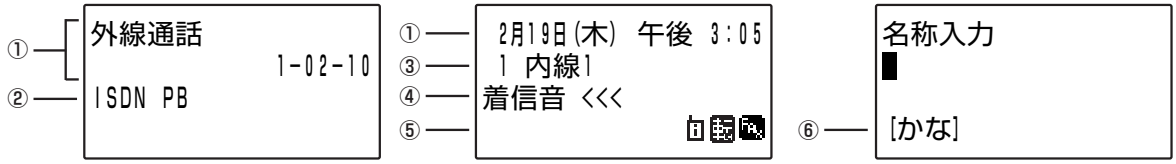


■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて右のように表します。

ランプの種類	ランプのつき方（色）	電話機の状態
外線ランプ	2回消える （緑）	自分の電話機で外の相手の方とお話し中のとき
	2回点灯 （緑）	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
	点灯 （赤）	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき／ナンバー・ディスプレイご利用時、相手の方の電話番号情報を受信しているとき（アナログ回線使用時）
	速い点滅 （赤）	外から電話がかかってきたとき
	速い点滅 （緑）	外の相手の方との保留が長いとき（保留警報中）
	遅い点滅 （赤）	他の内線電話機が外の相手の方とのお話しを保留中のとき
内線ランプ	2回消える （緑）	内線でお話し中のとき／ドアホンとお話し中のとき／自分の電話機で保留中のとき
	速い点滅 （赤）	内線で呼び出されているとき／ドアホンから呼び出されているとき
留守ランプ（主電話機のみ）	点灯 （赤）	留守番電話がセットされているとき
	遅い点滅 （赤）	留守番電話セット中に用件が録音されているとき
応答1ランプ（主電話機のみ）	点灯 （緑）	応答メッセージ1が録音されているとき
	2回点灯 （緑）	留守設定または自動応答中に応答メッセージ1が再生されているとき
	2回消える （緑）	応答メッセージ1で留守番電話がセットされているとき
応答2ランプ（主電話機のみ）	点灯 （緑）	応答メッセージ2が録音されているとき
	2回点灯 （緑）	自動応答中に応答メッセージ2が再生されているとき
	2回消える （緑）	応答メッセージ2で留守番電話がセットされているとき
留守操作表示ランプ（主電話機のみ）	点灯 （赤）	フレキシブルキーで留守操作ができるとき
フレキシブルキーランプ	点灯 （赤）	フレキシブルキーに受話増が登録されていて、受話音量増大モード中のとき／お待たせボタンが押されて、該当の外線ボタンが押されるまでの間／外線転送設定1～5起動中のとき
着歴ランプ	2回点灯 （赤）	未確認の新しい着信履歴があったとき
マイクランプ	点灯 （赤）	マイクがオンになっているとき
スピーカランプ	点灯 （赤）	スピーカを使用しているとき

【ディスプレイの見かた】
主装置内蔵電話機（主電話機）／標準電話機



■こんなときに表示されます

① 文字や数字		カレンダ・時計表示、ダイヤルしている電話番号、かけてきた相手の方の電話番号など（ナンバー・ディスプレイご利用時）、登録または設定の内容など
②	ISDN	ISDN回線を利用しているとき
	PB	プッシュ(PB)回線を使用しているとき／ダイヤル(DP)回線を使用している場合にPB信号を送ることができるとき(DP→PB切替)／ISDN回線を使用している場合にPB信号を送ることができるとき
③	1（～8）	内線番号
	（内線1など）	内線電話機の名称
④	着信音	着信音量を調節しているとき
	受話音	ハンドセットを取りあげ、受話音量を調整しているとき
	スピーカ音	スピーカ音量を調整しているとき
	受話増	受話音量増大を設定しているとき
	<<<<<<<	着信音量、受話音量、スピーカ音量、受話音量増大の大きさ
⑤		ファクス連動機能が動作したとき
		転送電話が設定されているとき
		事業者識別番号付与が設定されているとき
⑥	[かな] [カナ] [ABC] [123]	ワンタッチダイヤル、電話帳などの名前を登録するときの文字の種類

各部の名前

【ディスプレイの文字表示例】
主装置内蔵電話機（主電話機）／標準電話機

電話機の状態	ディスプレイ表示	説　明
外線発信	外線発信	外線1または外線2ボタンを押して、外に電話をかけるときに、表示されます
外線着信	外線着信	外から電話がかかってきたときに表示されます
外線着信（ナンバー・ディスプレイご利用時）	外線着信 0312345678	ナンバー・ディスプレイご利用時に、外から電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などとともに表示されます ISDN回線相互間の通信時、相手の方が発信者番号を通知しているときにも表示されます
通話中	外線通話 1-02-10	外の相手の方とお話し中のときに、通話時間とともに表示されます
通話終了	通話終了 1-03-20	外の相手の方との電話が終わり、ハンドセットを置いたときに、通話時間とともに表示されます
保留	保留	外の相手の方とのお話し中に保留ボタンを押したときに表示されます
内線発信	内線発信	ハンドセットを取りあげたとき、または0ボタンを押したときに表示されます
他の内線電話機が使用中のとき	使用中	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中に外線1または外線2ボタンを押したとき、および内線呼び出し先の内線電話機が話し中のときに表示されます
留守番電話時（主電話機のみに表示）	録音ｴﾘｱ <<<<<<<<<<<<	留守ボタンを押したときに、録音可能時間の目安が一時的に表示されます。<が多いほど録音可能時間は長くなります
留守番電話中（主電話機のみに表示）	4件　午後 3:30	留守番電話中、録音された用件の件数と現在の時刻が表示されます

ワンポイント

●ディスプレイに表示される電話番号の桁数について

主電話機・標準電話機・留守番停電電話機のディスプレイに表示される電話番号は、20桁までです。21桁目以降は右から左へ順次表示されます。

アナログコードレス電話機・ディジタルシステムコードレス電話機のディスプレイには、16桁まで表示されます。17桁以降は右から左へ順次表示されます。

メニューの操作について

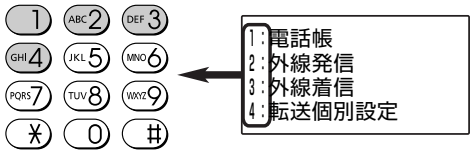
ネットコミュニティシステム BX の電話機でいろいろな登録・設定を行うには、ディスプレイにメニューを表示させて行います。ここでは、メニューの操作方法を説明します。

メニューの項目の選択方法

表示されるメニューを選択して、次のメニューや登録・設定画面を表示させるには、次の2つの方法があります。

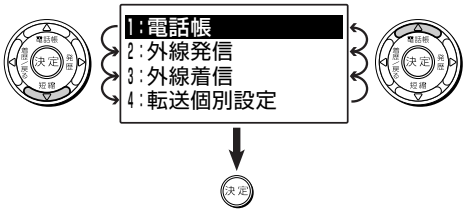
■ダイヤルボタンを使う

メニューの各項目には、数字が振られています。その数字のダイヤルボタンを押して、その項目を選択すると次のメニュー画面や登録・設定画面が表示されます。



■▽△ボタン、決定ボタンを使う

▽ボタンを押すと項目の選択位置が下へ、△ボタンを押すと項目の選択位置が上へ移動します。メニューの項目が選択された状態で決定ボタンを押すと、次のメニュー画面や登録・設定画面が表示されます。



ワンポイント

● **登録・設定内容を変更せずに次の画面に進むには**
表示された登録・設定内容を変更しない場合は、決定ボタンを押します。

お知らせ

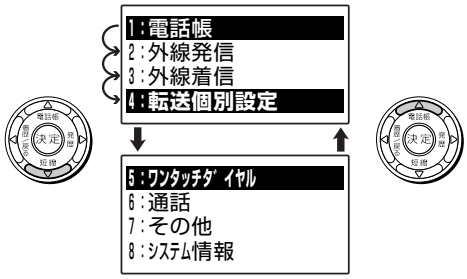
- 本取扱説明書では、メニューの項目の選択を「ダイヤルボタンを使う」方法で説明しています。
- 「共通設定」メニューは主電話機以外でも表示されますが、登録・設定することはできません。
- 「留守設定」メニューは、主電話機、留守番電話機で登録・設定することができます。
- 設定中に外から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずにランプで表示されます。登録・設定作業を終了するか、クリアボタンを押して登録・設定内容をキャンセルしてから応答してください。

登録
▶ *操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は(☛P102)*
▶ *操作を間違えたときには(☛P102)*

メニュー画面での操作のしかた

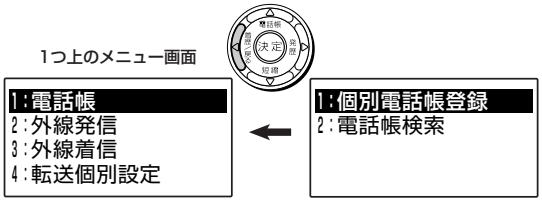
■メニューの項目が5つ以上ある場合

メニューの項目の続きを見るには、▽ボタンを押して一番下の項目まできたら、もう一度▽ボタンを押します。前のメニューの項目に戻るには、△ボタンを押します。



■1つ上のメニュー画面、登録・設定画面に戻る

1つ上のメニュー画面や前に登録・設定した画面に戻るには◁:戻るボタンを押します。ただし、文字の入力中は、文字確定後◁:戻るボタンを押すとカーソルが1文字分左に移動しますので、カーソルを一番左端に移動させてからもう一度◁:戻るボタンを押します。



■メニュー画面をキャンセルする

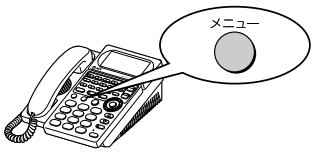
メニュー画面をキャンセルしてカレンダ・時計表示に戻るには、クリアボタンを押します。電話番号や文字の入力中は、◁:戻るボタンを2秒以上押してください。

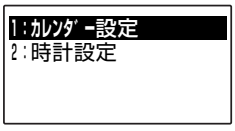
カレンダ、時計を合わせます（カレンダー設定、時計設定）

現在の日付と時刻を設定します。日付と時刻の設定は、主電話機から行います。

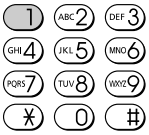
<例>2006年12月19日　午後3:05に設定するとき

1 メニューボタン、1 9を押して「1：カレンダー設定」を表示させる。



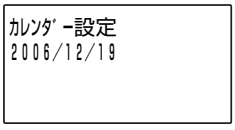


2 1を押す。



3 現在の日付をダイヤルボタンで押す。

<例> 2 0 0 6 1 2 1 9



4 決定ボタンを押す。

日付が登録されます。
続けて時刻を設定します。時刻を設定しない場合は、クリアボタンを押して、操作を終了します。

5 2を押す。

6 現在の時刻（24時間制）をダイヤルボタンで押す。

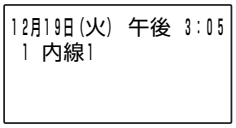
<例> 1 5 0 5

7 登録内容を確認し、決定ボタンを押す。

時刻が登録されます。

8 クリアボタンを押す。

設定した日付と時刻が表示されます。



ワンポイント

●**年月日や時刻を間違えて入力したときは**
一度最後まで入力すると、再び最初から年月日や時刻を入力できるようになります。

お知らせ

●停電になったときでも設定内容は消去されません。

▶ *操作を間違えたときには（☛P102）*

電話をかけるには　（外線発信）

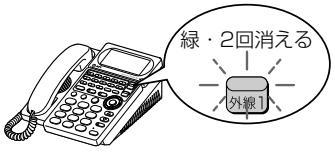
ハンドセットを取りあげて電話をかける方法と、ハンドセットを置いたまま電話をかける方法（オンフックダイヤル）があります。天気予報や時報を聞くときなどは、ハンドセットを置いたままかけると便利です。

ハンドセットを取りあげてかける

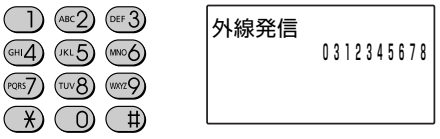
外線ランプが消えていることを確認して…

1 ハンドセットを取りあげる。
「プープープー…」という音を確認してください。

2 外線1ボタンまたは外線2ボタンを押す。
「ツー」という発信音を確認してください。



3 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



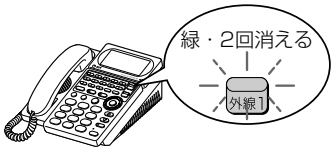
4 相手の方が出たら、お話しする。
通話時間が表示されます。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

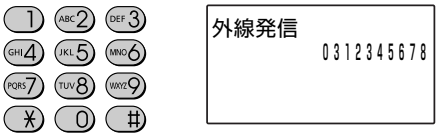
ハンドセットを置いたままかける（オンフックダイヤル）

外線ランプが消えていることを確認して…

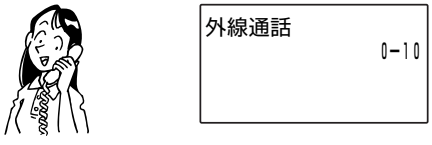
1 ハンドセットを置いたまま、外線1ボタンまたは外線2ボタンを押す。
「ツー」という発信音を確認してください。



2 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しをする。
通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

電話をかけるには　（外線発信）

ワンポイント

●外線発信で表示される「ISDN」「PB」について
「ISDN」はISDN回線を利用しているときに表示されます。「PB」はプッシュ（PB）回線を使用している、またはプッシュ信号を送ることができるときに表示されます。

●外線ランプが赤く点灯しているときに外線1ボタンまたは外線2ボタンを押すと
他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のため、電話をかけることはできません。ディスプレイには「使用中」と表示されます。外線ランプが消えるとご利用できます。

●自動で空き外線を選んで電話をかけるには
「ハンドセットを取りあげてかける」の手順2で0を押すと自動的に空き外線を選んで電話をかけることができます。外線1、2のどちらも空いている場合は外線2が選ばれます。

●ISDN回線をお使いのときは
- ISDN回線相互間の通信の場合、サブアドレスを追加して発信できます。相手の方の電話番号（アドレス）を押したあとに＊を押し、サブアドレスの番号を押します。アドレスの最大桁数は32桁、サブアドレスの最大桁数は19桁で、いずれも数字（0～9）のみがダイヤルできます。
  <例> 0312345678＊12345
  アドレス　サブアドレス
- 電話番号のあとに続けて#を押すと、すぐに発信できます。#を押さなくても電話番号をダイヤルしてから約5秒後に自動的に発信します。
- 通話後にハンドセットを置くと、ディスプレイに通話料金を表示することができます。ISDN料金表示設定（☛P114）

●ハンドセットを置いたまま相手の方とお話しするには（ハンズフリー通話）（☛P59）

●固定電話から携帯電話への通話サービスを利用するには
システム設定により、携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号を、ダイヤルした携帯電話番号の前に自動付与します。（☛P95）携帯電話番号の事業者識別番号が自動付与に設定されているときは、ディスプレイに「 」が表示されます。ただし、PHSへの通話にはご利用いただけません。携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など一部ご利用いただけない番号があります。留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話などには電話番号の前に「0000」（事業者識別番号付与解除番号）を付けてダイヤルしてください。一時的に、事業者識別番号を自動付与したくない場合、携帯電話番号の前に「0000」（事業者識別番号付与解除番号）をダイヤルします。この場合、従来どおり各携帯電話会社が設定する料金でのご利用となります。

音量 ▶ *ハンドセットでのお話し中、相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（☛P99）*

表示 ▶ *ディスプレイの表示は（☛P105）*

通話 ▶ *お話しをスピーカで聞くには（スピーカ受話）（☛P106）*
▶ *オンフックダイヤルでお話ししないで電話を切るには（スピーカ受話）（☛P106）*

プラスα　電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）

外線ランプが消えていることを確認して…

1 ハンドセットを置いたまま、電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。電話番号は最大53桁まで入力することができます。
電話番号を押したあとにクリアボタンを押すと、やり直すことができます。

2 外線1ボタンまたは外線2ボタンを押す。
表示されている電話番号がダイヤルされます。

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。
通話時間が表示されます。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ

●事業者識別番号付与を有効にしている場合、かつアナログ回線を利用している場合、ダイヤルをいったん中止して次のダイヤルを6秒以内に押さなかったときは、途中までのダイヤルで発信され、電話はつながりません。ただし、履歴には残ります。もう一度かけ直してください。また、事業者識別番号付与の解除番号「0000」を押して、6秒以内に続けてダイヤルしなかった場合は、発信されません。

●PBX（構内交換機）の内線に接続されているときは、外線発信番号（例「0」）を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。また、PBXやCESの内線に接続されているときは、事業者識別番号付与（☛P95）による事業者識別番号の自動付与はご利用いただけません。

●メニュー設定により、外線1ボタンまたは外線2ボタンを押さなくてもハンドセットを取りあげただけで外線へ電話をかけられるように設定することができます。オフフック外線捕捉（☛P113）
この場合、内線電話機を呼び出すときは、ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。
なお、本取扱説明書では、さしつかえない限りオフフック内線捕捉（内線ボタンを押さなくてもハンドセットを取りあげただけで内線へ電話をかけられる）の状態で説明しています。

●マイクボタンをオフにしているときで、オンフックダイヤルの場合、外の相手の方が出たあと、ハンドセットを取りあげてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。

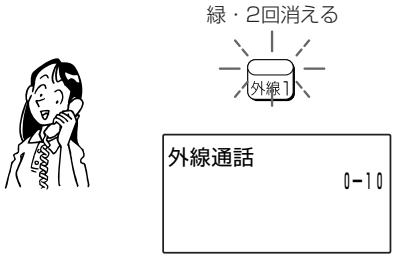
電話がかかってきたときは（外線着信）

外から電話がかかってくると、着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅します。

着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅したら…

1 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しをする。

通話時間が表示されます。



2 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ

- システム設定により、ハンドセットを取りあげてから外線1ボタンまたは外線2ボタンを押して応答するように設定することができます。詳しくは当社のサービス取扱所、またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- PBXやCES（事業所集団電話）の内線に接続されているときは、外線からの着信かPBXやCES内の着信かを着信音の鳴り方で聞き分けることができます。
  鳴り分けサービス（☛P115）

ワンポイント

- **着信音の音色を変えるには**
  各内線電話機ごとに外線着信音の音色を、「パターン1～8」または「メロディ1～8」から選択できます。
  外線着信音の音色は、設定によって変えられます。（☛P120）
  お買い求め時は「パターン1」に設定されています。
  緊急着信の場合は、設定に従わず、プルルル…の音色で鳴ります。
- **ハンドセットを置いたまま相手の方とお話しするには（ハンズフリー通話）（☛P60）**
- **ナンバー・ディスプレイを利用するには**
  ディスプレイに相手の方の電話番号が表示されます。（☛P67）
- **お待たせメッセージで対応するには（☛P90）**
- **1台の内線電話機に、同時に複数の着信があったときは**
  次の優先順序で着信します。
  ①ドアホン
  ②モデムダイヤルイン、INSダイヤルイン、ｉ・ナンバーでかかってきた外線
  ③一般の外線
  ④PBX回線、CES回線
  ⑤内線
  なお、鳴り分けサービス（☛P115）を設定の場合は、優先順序は①→②→④→③→⑤になります。（アナログ回線用主電話機のみ）
  内線着信とドアホン着信は、先着優先となります。内線音声着信中の外線着信等は、内線音声着信が継続されます。
  内線呼出中にモデムダイヤルインで着信があったときは、内線呼出を音声呼出に設定している場合は内線が優先され、信号呼出に設定している場合はモデムダイヤルインが優先されます。

音量 ▶ *着信音の音量を切り替えるには（☛P99）*
▶ *外線着信音を鳴らさなくするには（☛P99）*

通話 ▶ *内線またはドアホンでお話し中に外からの電話に応答するには（☛P106）*

相手の方に待っていただくには （保留）

通話中にお話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。相手の方へは保留メロディが流れます。保留にしたあと、他の内線電話機でも電話に出ることができます。

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えて…

1 保留ボタンを押して、ハンドセットを置く。
◎内線ボタンでも保留にすることができます。
相手の方とハンドセットに保留メロディが流れます。

2 もう一度お話しをするときは、外線1ボタンまたは外線2ボタンを押してハンドセットを取りあげ、相手の方とお話しをする。
通話時間が表示されます。

ワンポイント

●保留メロディを聞こえなくするには
通常は、外の相手の方とのお話しを保留したとき、ハンドセットから保留メロディが流れますが、システム設定により保留メロディが聞こえないように設定することができます（相手の方には聞こえます）。（☛P129）

●保留メロディの曲目を変えるには（保留音切替）（☛P116）
次のメロディがあらかじめ用意されています。
1：グリーンスリーブス
2：峠の我が家
3：カノン
4：Supercalifragilistic expialidocious
5：TO LOVE YOU MORE
6：春の歌
7：主よ人の望みの喜びよ
8：メヌエット

●保留警報音送出タイマを設定するには
保留の状態を長時間続けている場合、警報音をスピーカから鳴らすことができます。警報音を鳴らすまでの保留時間を設定します。（☛P116）

お知らせ

●手順2では新たに通話時間が開始されます。

保留
▶ *保留中に電話機のスピーカから警報音が鳴ったら（☛P101）*
▶ *保留中の外線を他の外線電話へ転送するには（☛P101）*

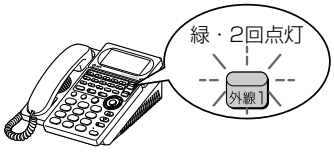
同じ相手にかけ直すには（再ダイヤル）

かけた電話番号の最後の20件は、発歴ボタンで簡単に電話をかけることができます。相手の方がお話し中でかけ直すときなどに便利です。再ダイヤルの電話番号は各内線電話機ごとに、1件につき最大32桁まで記憶されます。

1 ハンドセットを置いたまま、▷：発歴ボタンを押す。
最後にかけた電話番号と日付および時刻が表示されます。また、電話帳・ワンタッチダイヤルに登録されているときは名前が表示されます。

2 さらに前にかけた電話番号を選ぶときは、▽ボタンを繰り返し押す。
最大20件前まで順に表示されます。
20件前の電話番号が表示されているとき▽ボタンを押すと、最後にかけた電話番号に戻ります。

3 かけ直したい電話番号が表示されたら、外線1ボタンまたは外線2ボタンを押す。
表示されている電話番号がダイヤルされます。



4 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。
通話時間が表示されます。

ワンポイント

- **ハンドセットを取りあげて再ダイヤルするには**
  ハンドセットを取りあげて、外線1ボタンまたは外線2ボタン押してから▷：発歴ボタンを押します。ただし、この方法では、最後にかけた電話番号しか再ダイヤルできません。
- **外線1ボタンまたは外線2ボタンを押してから再ダイヤルするには**
  外線1ボタンまたは外線2ボタン、▷：発歴ボタンの順に押しても再ダイヤルすることができます。ただし、この方法では、最後にかけた電話番号しか再ダイヤルできません。
- **再ダイヤルに記憶されている電話番号を消去するには**
  ①ハンドセットを置いたまま、▷：発歴ボタンを押し、消去したい電話番号を表示する。
  ②メニューボタンを押す。
  ③No.4（4：1件削除）またはNo.5（5：全件削除）を押す。
  No.5を押した場合、「全件削除しますか」というメッセージが表示されたら①を押して「1：はい」を選択します。

お知らせ

- 他の内線電話機でかけた電話番号を再ダイヤルすることはできません。
- ISDN回線をお使いのときは、再ダイヤルする電話番号にポーズ（待ち時間）が登録されている場合でも、ポーズは無視されます。
- 再ダイヤルに#、*が含まれているときは、お使いの回線種類とダイヤル番号に入力されている位置により次のように内容が変わります。

<入力位置が1桁目の場合>

	ダイヤル回線	プッシュ回線	ISDN回線
#	プッシュ信号送出に切り替わる	#のプッシュ信号が送出される	#が送出される
*	無視される	*のプッシュ信号が送出される	*が送出される

<入力位置が2桁目以降の場合>

	ダイヤル回線	プッシュ回線	ISDN回線
#	前に#が入力されていないとプッシュ信号に切り替わり、#が入力されていると#のプッシュ信号が送出される	#のプッシュ信号が送出される	それまでに入力された番号で発信する
*	*の前の桁に#が入力されていないときは無視され #が入力されていると*のプッシュ信号が送出される	*のプッシュ信号が送出される	*以降の番号をサブアドレスと認識する

- 停電になったときも再ダイヤルの内容は消去されません。
- 再ダイヤル2～5の電話番号を再ダイヤルしたときは、次のようになります。
  例：再ダイヤル3の電話番号を再ダイヤルした場合

再ダイヤル3（3333）を再ダイヤルしたとき

再ダイヤル1：1111	再ダイヤル1：3333
再ダイヤル2：2222	再ダイヤル2：1111
再ダイヤル3：3333	再ダイヤル3：2222
再ダイヤル4：4444	再ダイヤル4：4444
再ダイヤル5：5555	再ダイヤル5：5555

- 内線へおかけになったときは、再ダイヤルの対象になりません。
- 再ダイヤルの操作中に留守操作などを行った場合、ディスプレイに再ダイヤル表示の一部の文字などが残ります。

登録 ▶ *操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は（☛P102）*

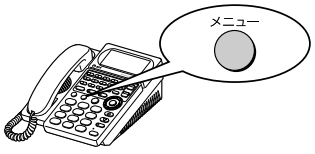
通話 ▶ *長い電話番号をかけるときには（ミックスダイヤル）（☛P106）*

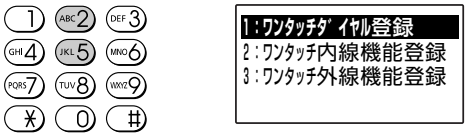
ワンタッチダイヤルで電話をかけるには

電話をよくかける相手の電話番号は、ワンタッチダイヤルに登録しておくと便利です。ワンタッチダイヤルは、各内線電話機ごとに10件まで登録できます。

ワンタッチダイヤルを登録する

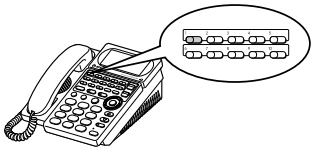
1 メニューボタン、(ABC2)(JKL5)を押して「1：ワンタッチダイヤル登録」を表示させる。





2 1を押す。

3 登録するフレキシブルキー（ワンタッチボタン）を押す。



すでにワンタッチダイヤルが登録されているときは、その内容が表示されます。

4 名前を入力する。

名前を入力する。（☛P35）
名前は全角10文字、半角20文字まで登録できます。

5 登録内容を確認し、決定ボタンを押す。

6 登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号は32桁まで登録できます。

7 登録内容を確認し、決定ボタンを押す。

ワンタッチダイヤルが登録されます。
続けて登録する場合は、手順2からの操作を繰り返します。
登録を終了する場合は、クリアボタンを押します。

ワンポイント

- **フレキシブルキーに内線番号や内線／外線機能を登録するには（☛P92、93）**
- **ワンタッチダイヤルの内容を削除するには**
  手順6で表示される電話番号をクリアボタンを押して削除し、決定ボタンを押します。
- **PBXやCESの内線に接続されているときは**
  外線発信番号と電話番号を登録してください。
- **アナログ回線をお使いのときにダイヤル信号からプッシュ信号への切替操作（☛P34）を登録するには**

お知らせ

- 停電になったときでも登録内容は消去されません。
- すでに内線番号や機能を登録しているフレキシブルキー（☛P92、93）にワンタッチダイヤルを登録すると、もとの登録電話番号は消えてしまいます。

登録

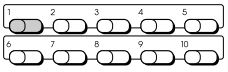
- ▶ *電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには（☛P102）*
- ▶ *登録中に「ピピピピピ」という音が鳴ったら（☛P102）*
- ▶ *サブアドレスを登録するには（☛P102）*
- ▶ *操作を間違えたときには（☛P102）*
- ▶ *携帯電話番号を登録するには（☛P102）*

フレキシブルキーに登録されている電話番号は、ワンタッチダイヤルを押すだけでダイヤルできます。

ワンタッチダイヤルで電話をかける

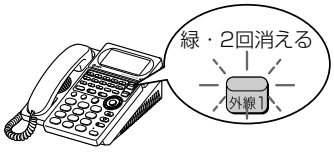
1 **ハンドセットを置いたまま、ワンタッチダイヤルを押す。**

登録されている電話番号と名前が表示されます。



2 **外線1ボタンまたは外線2ボタンを押す。**

表示されている電話番号がダイヤルされます。



3 **相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しをする。**

通話時間が表示されます。

ワンポイント

- **外線1ボタンまたは外線2ボタンを押してからかけるには**
  外線1ボタンまたは外線2ボタン、ワンタッチダイヤルの順に押してかけることもできます。
  また、ハンドセットを取りあげて、外線1ボタンまたは外線2ボタン、ワンタッチボタンの順に押してかけることもできます。
- **登録されていないフレキシブルキーを押したときは**
  ディスプレイにはフレキシブルキー番号と「未登録」が表示されます。
- **PBXの内線に接続されているときは**
  外線発信番号と電話番号の間に約3秒間のポーズ（待ち時間）が自動的に挿入されて発信されます。

お知らせ

- ISDN回線をお使いのときは、ワンタッチダイヤルに登録された電話番号にポーズ（待ち時間）が登録されている場合でも、ポーズは無視されます。

登録 ▶ *操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は（☛P102）*

通話 ▶ *長い電話番号をかけるときには（ミックスダイヤル）（☛P106）*

電話帳に電話番号を登録するには（電話帳ダイヤル）

電話帳には、各内線電話共通の共通電話帳と各内線電話機別に持つ個別電話帳があります。共通電話帳は主電話機から、個別電話帳は各内線電話機から登録、削除を行います。共通電話帳には最大300件、個別電話帳には各電話機ごとに最大10件まで登録できます。

電話帳に登録する

電話帳ボタンから登録する

1 電話帳ボタンを2秒以上押す。

2 個別電話帳に登録する場合は①を、共通電話帳に登録する場合は②を押す。

共通電話帳に登録できるのは主電話機だけです。

```
1:個別電話帳登録
2:共通電話帳登録
```

3 名前を入入力して決定ボタンを押す。

名前を入力する。（☛P35）
名前は全角10文字、半角20文字まで登録できます。

4 フリガナを入力して決定ボタンを押す。

フリガナを入力する。（☛P35）
フリガナは半角12文字まで登録できます。半角カタカナの「ﾞ」（濁点）「ﾟ」（半濁点）も1文字分と換算されます。フリガナを入力しないで登録することもできます。

5 登録する電話番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

電話番号は32桁まで登録できます。

```
電話番号入力
          0312345678
```

6 グループの番号をダイヤルボタンで押す。

グループは10あり、▽ボタン、△ボタンでグループのメニューを表示できます。
特にグループを指定しない場合は、「0 グループ0」に設定します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ選択
0 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 0
1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1
2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 2
```

7 アイコンの番号をダイヤルボタンで押す。

アイコンは9種類あり、▽ボタン、△ボタンでアイコンのメニューを表示できます。
特にアイコンを指定しない場合は、「0:アイコンなし」に設定します。

```
ｱｲｺﾝ選択
0:ｱｲｺﾝなし
1:☎
2:
```

8 空いている一番若いメモリ番号が表示される。

表示されている番号が、メモリ番号となります。他のメモリ番号で登録する場合は、表示されている空きのメモリ番号をクリアボタンで削除してから、新しいメモリ番号をダイヤルボタンで入力します。共通電話帳の場合は「000～299」、個別電話帳の場合は「300～309」の3桁の数字で設定できます。

```
ﾒﾓﾘ番号入力
000～299で指定
              001
```

画面は共通電話帳に登録する場合を示しています。個別電話帳に登録する場合は「300～309で指定」と表示されます。

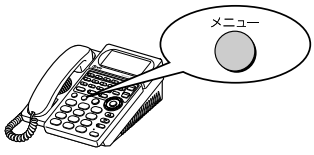
9 登録したメモリ番号を確認して決定ボタンを押す。

```
ﾒﾓﾘ番号001
に登録されました
決定ﾎﾞﾀﾝで
連続登録可能
```

電話帳に電話番号が登録されます。
続けて登録する場合は、上記メッセージの表示中に決定ボタンを押して、手順3からの操作を繰り返します。

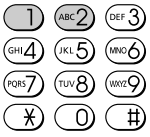
メニューから登録をする

1 メニューボタンを押す。



2 共通電話帳に登録をする場合は、①①を押す。

個別電話帳に登録をする場合は、②①を押す。



3 ①を押す。

（共通電話帳に登録する場合）

```
1:共通電話帳登録
2:ｸﾞﾙｰﾌﾟ名称設定
3:電話帳検索
4:電話帳検索ﾓｰﾄﾞ設定
```

（個別電話帳に登録する場合）

```
1:個別電話帳登録
2:電話帳検索
```

共通電話帳、個別電話帳のどちらを選択しても、以下の操作手順は同じです。

4 名前を入力して決定ボタンを押す。

名前を入力する。（☛P35）
名前は全角10文字、半角20文字まで登録できます。

5 フリガナを入力して決定ボタンを押す。

フリガナを入力する。（☛P35）
フリガナは半角12文字まで登録できます。半角カタカナの「゛」（濁点）「゜」（半濁点）も1文字分と換算されます。フリガナを入力しないで登録することもできます。

6 登録する電話番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

電話番号は32桁まで登録できます。

```
電話番号入力
          0312345678
```

7 グループの番号をダイヤルボタンで押す。

グループは10あり、▽ボタン、△ボタンでグループのメニューを表示できます。
特にグループを指定しない場合は、「0 グループ0」に設定します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ選択
0 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 0
1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1
2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 2
```

8 アイコンの番号をダイヤルボタンで押す。

アイコンは9種類あり、▽ボタン、△ボタンでアイコンのメニューを表示できます。
特にアイコンを指定しない場合は、「0:アイコンなし」に設定します。

```
ｱｲｺﾝ選択
0:ｱｲｺﾝなし
1:☎
2:🖷
```

9 空いている一番若いメモリ番号が表示される。

表示されている番号が、メモリ番号となります。他のメモリ番号で登録する場合は、表示されている空きのメモリ番号をクリアボタンで削除してから、新しいメモリ番号をダイヤルボタンで入力します。共通電話帳の場合は「000～299」、個別電話帳の場合は「300～309」の3桁の数字で設定できます。

```
ﾒﾓﾘ番号入力
000～299で指定
                001
```

画面は共通電話帳に登録する場合を示しています。個別電話帳に登録する場合は「300～309で指定」と表示されます。

10 登録したメモリ番号を確認して決定ボタンを押す。

```
ﾒﾓﾘ番号001
に登録されました
決定ﾎﾞﾀﾝで
連続登録可能
```

続けて登録する場合は、上記メッセージの表示中に決定ボタンを押して、手順4からの操作を繰り返します。
登録を終了する場合は、クリアボタンを押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。

電話帳に電話番号を登録するには（電話帳ダイヤル）

ワンポイント

●電話帳で設定できるアイコンの種類

1: …固定電話　2: …携帯電話　3: …ビル
4: …一戸建て　5: …代表　6: …直通
7: …FAX　8: …ご飯　9: …お酒

●登録中に前の画面に戻るには

◁：戻るボタンを押します。ただし、名称入力中は文字確定後◁：戻るボタンを押すとカーソルが1文字分左に移動するので、カーソルを一番左端に移動させてからもう一度◁：戻るボタンを押します。フリガナ入力時も、◁：戻るボタンを押すとカーソルが1文字分左に移動するので、カーソルを一番左端に移動させてからもう一度◁：戻るボタンを押します。

●登録を途中で中止するには

クリアボタンを押します。電話番号や文字の入力中は◁：戻るボタンを2秒以上押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。それまで入力・選択した内容は保存されません。

●登録する電話機がPBXやCESの内線に接続されているときは

外線発信番号と電話番号を登録してください。

●アナログ回線をお使いのときにダイヤル信号からプッシュ信号への切替操作を登録するには

#を登録します。

●「他電話機使用中」と表示された場合

他の内線電話機で、電話帳に登録する作業を行っています。そのため「他電話機使用中」と表示されたら、電話帳登録作業はできません。

●グループ名を変更するには

お買い求め時のグループ名は「グループ0～9」として登録されています。主電話機からこのグループ名称を変更することができます。(☛P113)全角8文字、半角16文字まで登録することができます。

●「メモリ番号XXXに上書きしますか？」というメッセージが表示されたら

すでに登録されているメモリ番号に登録しようとした場合、このメッセージが表示されます。すでに登録してあるメモリ番号を削除して上書きする場合は1を押して「1:はい」を、上書きしない場合は2を押して「2:いいえ」を選択します。「2:いいえ」を選択した場合は、新たなメモリ番号を入力して決定ボタンを押してください。

●メモリ番号に「＊＊＊」と表示された場合

電話帳に空きがない場合に表示されます。すでにメモリ番号に登録している不要な電話番号を削除してから登録してください。

●すでに電話帳へ登録した内容を修正・削除するには

修正・削除する電話帳の登録内容を検索して(☛P37)表示させ、メニューボタンを押します。修正する場合は1を押して「1：修正」を、削除する場合は2を押して「2：削除」を選択します。ただし、共通電話帳に登録した内容の修正・削除ができるのは、主電話機だけです。

お知らせ

- 外線ボタンまたは内線ボタン、機能ボタン、保留ボタン、内線ボタンを電話帳に登録することはできません。
- 内線番号を電話帳に登録することはできません。
- 停電になったときでも登録内容は消去されません。
- 電話番号を入力しなかった場合は、登録できません。
- フリガナを入力しなかった場合は、フリガナで検索することはできません。

登録
▶ *電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには（☛P102）*
▶ *登録中に「ピピピピピ」という音が鳴ったら（☛P102）*
▶ *サブアドレスを登録するには（☛P102）*
▶ *操作を間違えたときには（☛P102）*
▶ *携帯電話番号を登録するには（☛P102）*

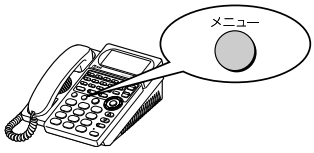
「ワンタッチダイヤルを登録する」（☛P30）の手順4、「電話帳に登録する」（☛P32）の手順3（名前の入力状態）では、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。文字は、漢字、ひらがな、半角カタカナ、数字、英字/記号を入力することができます。名前を入力しておくと、相手の方の名前を確認しながら電話をかけることができます。

名前、フリガナを入力する

<例>「鈴木」と入力する

ここでは、電話帳に登録する場合を例にしていますが、入力方法はワンタッチダイヤル、グループ名称登録、内線ネーム、ドアホンネーム登録とも同じです。

1 **文字が入力できる状態で、メニューボタンを押して、入力する文字の種類（入力モード）を選択する。**



名称入力
▌
[かな]
└ 入力モード

2 **(DEF 3)を3回押す。**

「さ」→「し」→「す」の順に表示されます。

名称入力
す
[かな]

3 **▷ボタンでカーソルを右に移動させ、(DEF 3)を3回押す。**

「さ」→「し」→「す」の順に表示されます。

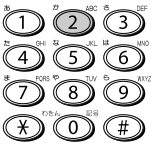
名称入力
す**す**
[かな]

4 **(＊)を押す。**

名称入力
す**ず**
[かな]

5 **(ABC 2)を2回押す。**

「か」→「き」の順に表示されます。



名称入力
す**ぎ**
[かな]

6 **▽ボタンを押して変換候補を表示する。**

変換候補が2つ以上あるときは、▽ボタンを押すごとに順に表示されます。

名称入力
鈴木
[かな]

◁ボタンまたは▷ボタンを押して、漢字変換範囲を指定することができます。変換範囲を指定して▽ボタンを押すと、指定した文字の変換候補が表示されます。

7 **▽ボタンまたは△ボタンを押して変換候補を選び、(決定)ボタンで確定する。**

確定した文字は、ディスプレイの2行目に表示されます。

名称入力
鈴木▌
[かな]

8 **(決定)ボタンを押す。**

名称が登録されます。

9 **電話帳に登録する場合は、続けてフリガナを入力します。**

名称入力で入力した文字がフリガナとして表示されます。
フリガナは、半角カタカナ、数字、英字／記号が入力できます。
同様の手順で操作を繰り返します。

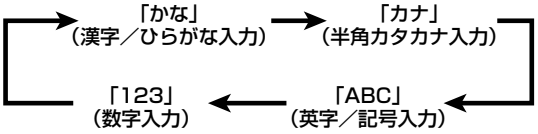
ワンポイント

- **入力した文字を消すには**
  消したい文字に、◁ボタンまたは▷ボタンでカーソルを移動させ、(クリア)ボタンを押します。
- **続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するとき**
  ▷ボタンでカーソルを右に移動させ、ダイヤルボタンを押します。
- **ダイヤルボタンの最初の文字に戻るには**
  続けて同じダイヤルボタンを押します。
  <例>「こ」が表示されているときに(ABC 2)を押すと「か」に戻ります。

電話帳に電話番号を登録するには（電話帳ダイヤル）

ワンポイント

●入力モードを切り替えるには
文字入力中にメニューボタンを押すたびに入力モードが切り替わります。（フリガナ入力のときは「かな」モードに切り替えることはできません）



●全角のカタカナを入力するには
メニューボタンを押して「かな」を表示させ、▽ボタンを押して変換します。

●英字/記号を入力するには
メニューボタンを押して「ABC」を表示させ、下の表のように各ボタンを押します。

●数字を入力するには
メニューボタンを押して、「123」を表示させ、下の表のように各ボタンを押します。

●半角文字（カタカナ・英字／記号・数字）を入力したときは
ディスプレイの2行目に直接表示され、ボタンを押すたびに入力文字が確定されていきます。（フリガナ入力はディスプレイの2行目に直接表示されます）

●確定した文字の間に入力するには
決定行で文字を入力したい位置にカーソルを合わせ、入力操作を行います。（カーソルが合っている文字の間に入力されます）

●最後の1文字に「 」（スペース）が入力されているとき
最後に文字を入力することができません。(クリア)ボタンを押してスペースを削除してから文字を入力してください。

●ボタンと文字の対応表

入力モード / ボタン	全角 「かな」表示（漢字／ひらがな入力）	半角 「カナ」表示（半角カタカナ入力）	半角 「ABC」表示（英字／記号入力）	半角 「123」（数字入力）
1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ エ ォ		1
ABC 2	か き く け こ	カ キ ク ケ コ	A B C a b c	2
DEF 3	さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ	D E F d e f	3
GHI 4	た ち つ て と っ	タ チ ツ テ ト ッ	G H I g h i	4
JKL 5	な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ	J K L j k l	5
MNO 6	は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ	M N O m n o	6
PQRS 7	ま み む め も	マ ミ ム メ モ	P Q R S p q r s	7
TUV 8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ	T U V t u v	8
WXYZ 9	ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ	W X Y Z w x y z	9
0	わ を ん ー	ワ ヲ ン ゛ ゜ －	( ) － _ @ .	0
*	**入力行**＊2 入力中：「゛」「゜」の入力			*
#				#
△ボタン ▽ボタン	入力中の文字に対する漢字変換候補を表示			
◁ボタン ▷ボタン	**決定行**＊1 カーソルの左右移動＊3 **入力行**＊2 変換範囲指定	カーソルの左右移動＊3	カーソルの左右移動＊3	カーソルの左右移動＊3
決定	**決定行**＊1 登録 **入力行**＊2 選択された漢字変換候補を確定	登録	登録	登録
クリア ＊4	1文字削除、 または漢字変換キャンセル	1文字削除	1文字削除	1文字削除

＊1　**決定行**：ディスプレイの2行目。確定された文字が表示されます。
＊2　**入力行**：ディスプレイの3行目。漢字変換中の文字が表示されます。
＊3　カーソルが一番左端にあるときは、◁ボタンで前の画面に戻ります。
＊4　(クリア)ボタンを2秒以上押すと入力内容がすべて削除できます。

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）

電話帳に登録されている電話番号は、フリガナ、グループ、メモリ番号で検索してダイヤルできます。各内線電話機からは、共通電話帳、個別電話帳の両方から検索されます。

フリガナやグループで検索してかける

1 ハンドセットを置いたまま、電話帳ボタンを押す。

フリガナ検索の画面が表示されます。グループで検索するには◁ボタンを押して、電話帳検索モードを変更します。

● フリガナで検索する

半角カタカナ、英字・記号、数字をダイヤルボタンで入力し、▽ボタンまたは△ボタンを押して登録内容を検索します。

たとえば、「鈴木一郎（スズキイチロウ）」さんを検索するときは、サ行の「サ」または「ス」を入力して▽ボタンまたは△ボタンを押して検索します。2文字以上を入力して検索結果を絞ったり、何も入力せずに▽ボタンを押して順に表示することもできます。このとき、記号→数字（0→9）→英字（A→Z→a→z）→カタカナ（ア→ン）の順に表示されます。△ボタンを押すと、逆順に検索できます。

```
ﾌﾘｶﾞﾅ検索
[ｶﾅ]
```

● グループで検索する

◁ボタン、1ボタンを押して、グループ検索モードにします。

```
電話帳検索ﾓｰﾄﾞ設定
0:ﾌﾘｶﾞﾅ検索
1:ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索
```

▽ボタンまたは△ボタンを押してグループを選択して#ボタンを押します。グループ内では、記号→数字（0→9）→英字（A→Z→a→z）→カタカナ（ア→ン）の順に表示されます。▽ボタンまたは△ボタンを押してグループ内を検索します。

```
0 ｸﾞﾙｰﾌﾟ0
1 会社
2 友人
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ3
```

2 かけたい相手先を表示して、外線ボタンを押す。

```
001 ｸﾞﾙｰﾌﾟ0
山田太郎
          0312345678
ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
```

表示されている電話番号がダイヤルされます。

相手の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しをする。

通話時間が表示されます。

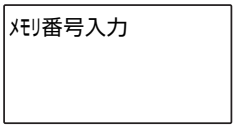
```
外線通話
          0-10
```

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）

メモリ番号を検索してかける

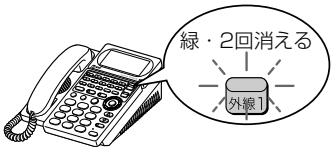
1 短縮ボタンを押す。

2 メモリ番号の3桁の数字をダイヤルボタンで押す



メモリ番号を入力せずに、▽ボタンまたは△ボタンでメモリ番号順に表示することもできます。

3 かけたい相手先を表示して、外線ボタンを押す。



表示されている電話番号がダイヤルされます。

4 相手の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しをする。

通話時間が表示されます。

ワンポイント

●**検索を途中でやめるには**
クリアボタンを押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。フリガナやメモリ番号を入力中は、クリアボタンを押して入力中の文字や数字をすべて削除してから、もう一度クリアボタンを押します。◁：戻るボタンを2秒以上押して、カレンダ・時計表示に戻ることもできます。

●**電話帳のフリガナ／グループ検索モードを変更するには**
電話帳ボタンを押したときに最初に表示される検索画面を変更することができます。電話帳検索モード設定（☛P113）

●**外線ボタンを押して電話帳を検索するには**
外線捕捉中に短縮ボタンを押すとメモリ番号からの検索ができます。電話帳ボタンからの検索はできません。

●**電話帳に登録した電話番号を削除するには**
共通電話帳の登録内容を削除できるのは主電話機だけです。他の内線電話機では、個別電話帳の登録内容が削除できます。1件だけを削除する場合は、電話番号を表示して、メニューボタンを押します。表示されるメニューで2を押します。「削除しますか」というメッセージが表示されたら、1を押して「1:はい」を選択します。

お知らせ

●電話帳にフリガナを登録していないときは、フリガナでの検索はできません。
●検索は、共通電話帳、個別電話帳のどちらも検索できます。

登録 ▶ *操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は（☛P102）*

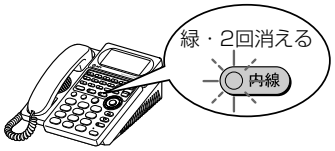
電話を取りつぐには　（保留転送）

外の相手の方とのお話しを他の内線電話機に取りつぐことができます。

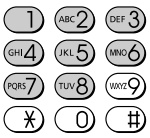
呼び出す方

お話し中に、外の相手の方に待っていただくよう伝えたら…

1 **保留ボタンまたは（内線）ボタンを押す。**
相手の方とハンドセットには保留メロディが流れます。



2 **呼び出す内線電話機の内線番号（1〜8）を押す。**
呼出音が聞こえます。



3 **呼出音が終わったら、呼びかける。**

4 **呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝える。**

5 **転送するためにハンドセットを置く。**

呼び出される方

1 **呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえる。**

2 **ハンドセットを取りあげてお話しをする。**

3 **外からの相手の方とお話しをする。**

ワンポイント

●呼び出される方が近くにいるときは
保留ボタンを押したあと、口頭で連絡してください。
どの内線電話機からでも外線ボタンまたは外線2ボタンを押してハンドセットを取りあげると電話に出ることができます。

●呼び出す相手を変えるには
「呼び出す方」の手順3で、呼び出された方が応答しなかったときは、フックボタンを押してから別の内線番号を押します。

●外の相手の方とのお話しに戻るには
「呼び出す方」の手順3で、呼び出された方が応答しなかったときは、外線1ボタンまたは外線2ボタンを押すと外の相手の方とのお話しに戻れます。

お知らせ

- 「プーップーッ…」という話中音が聞こえるときは、相手の方を呼び出すことができません。外線1ボタンまたは外線2ボタンを押すと、外の相手の方とのお話しに戻ります。
- 「呼び出す方」の手順1から3の間で、一度ハンドセットを置くと、転送できません。

ワンポイント

●呼び出す方がハンドセットを置かなかったときは
呼び出された方が外線1ボタンまたは外線2ボタンを押すと、外の相手の方とお話しができます。

●すべての内線電話機を一斉に呼び出すには（一斉呼出）
（☛P40）

●フレキシブルキーで内線を呼び出すには
（☛P92）

●保留警報音が鳴っているときに電話にでるには
ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しください。

●外線1、外線2ともに保留されているときは
あとから保留した外線を転送します。

●音声呼出を信号呼出にするには
「呼び出す方」の手順3で、0を押すと、トーン信号呼出になります。もう一度0を押すと音声呼出になります。最初の呼び出しを音声、トーン信号のどちらにするかは、内線呼出音設定で設定します。（☛P117）

保留 ▶ *保留／保留転送中に電話機のスピーカから警報音が鳴ったら（☛P101）*
▶ *保留中の外線を他の外線電話へ転送するには（☛P101）*

内線でお話しするには　（内線通話）

他の内線電話機を内線番号で呼び出してお話しをすることができます。

呼び出す方

1 **ハンドセットを取りあげる。**
「プープープー…」という音を確認してください。

2 **呼び出す内線電話機の内線番号（①～⑧）を押す。**
呼出音が聞こえます。

フレキシブルキーに内線番号を登録している場合は、そのフレキシブルキーを押します。

3 **呼出音が終わったら、呼びかける。**

4 **呼び出した方が応答したら、お話しをする。**

緑・2回消える

5 **お話しが終わったら、ハンドセットを置く。**

呼び出される方

1 **呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえる。**

2 **◎マイクボタンを押して、マイクに向かってお話しをする。または、ハンドセットを取りあげてお話しをする。**

ワンポイント

- **内線電話機ごとに名前を登録するには（内線ネーム登録）**（☛P94）
- **フレキシブルキーで内線を呼び出すには**（☛P92）
- **すべての内線電話機を一斉に呼び出すには（一斉呼出）**
  「呼び出す方」の手順2で＊0を押すと、呼出音が2回鳴ったあとにすべての内線電話機へ呼びかけることができます。呼び出された方は、呼び出された内線電話機で応答することができます。ただし、電話機アダプタと接続された電話機、ディジタルシステムコードレス電話機は、一斉呼出の呼出音は鳴りません。
  また、外線着信音が鳴っている内線電話機は、一斉呼出の呼出音は鳴りません。
- **音声呼出を信号呼出にするには**
  「呼び出す方」の手順3で、0を押すと、トーン信号呼出になります。もう一度0を押すと音声呼出になります。最初の呼び出しを音声、トーン信号のどちらにするかは、内線呼出音設定で設定します。（☛P117）
- **ハンドセットを取りあげるだけで特定の内線にかけるには（内線ホットライン）**（☛P117）
- **ハンドセットを置いたまま相手の方とお話しをするには（ハンズフリー通話、アンサートークバック）**（☛P59、60）

お知らせ

- 内線番号を押して「プーップーッ…」という話中音が聞こえるときは、相手の方を呼び出すことができません。
  しばらくしてから、おかけ直しください。

通話

- *内線でお話し中に外からの電話に応答するには（☛P106）*
- *内線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには（☛P106）*

留守番電話として使うには

留守番電話にすると、外出中に電話をかけてきた方に対して外出の旨を伝え（応答メッセージ）、用件を録音していただくことができます。電話機に内蔵している応答メッセージ（内蔵メッセージ）を利用すれば、すぐに留守番電話として使えます。さらに自作の応答メッセージを利用することもできます。

●外出するとき

留守番電話をセットする

留守ボタンを押して、留守番電話をセットします。(☛P44)

■留守番電話セット時に使用される応答メッセージ

●内蔵メッセージ
2種類のメッセージが電話機に内蔵されていますので、すぐにご利用いただけます。

＜応答録音メッセージ＞
「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音のあとにお話しください。」
留守番電話セット中に用件の録音時間の残量がなくなると応答専用メッセージになります。また応答専用に設定（☛P123）すると、応答専用メッセージが流れます。

＜応答専用メッセージ＞
「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」

●自作メッセージ
自分の声でメッセージを2種類（応答メッセージ1、応答メッセージ2）、録音できます。
自分の声で応答メッセージを録音するには（☛P47）

ワンポイント

●録音された用件を消去しないで留守番電話をセットするには
アキュムレート録音（☛P43）を設定します。アキュムレート録音設定（☛P123）

●外出先または内線電話機からリモコン操作するには
外出先または内線電話機から用件を聞くことができます。（☛P48）また、留守番電話のセットを忘れて外出したときは、リモコン操作で留守番電話をセットにすることができます。（☛P48）

●録音された用件を外出先に転送するには
外出するときに転送をセットしておくと、用件が録音されたときに、この電話機が自動的に転送先に電話をかけます。（☛P54）リモコン操作を行って、転送先で用件を聞くことができます。（☛P56）

お知らせ

- 内線電話機からリモコン操作するには、内線呼出音を「信号」に設定してください。内線呼出音設定（☛P117）
- 転送電話を設定（☛P77）している場合は、外線転送開始タイマ（☛P118）を留守応答するまでの時間（留守応答着信回数　☛P42）より短い時間を設定してください。

●外出中

用件が録音される

外出中でも自動的に電話がつながり、用件が録音されます。また、外出先へ用件を転送することもできます。（☛P54）

■用件録音

留守番電話セット中に電話がかかってくると、自動的に電話がつながり、応答メッセージが流れます。

↓

「ピー」という音のあとに相手の方がお話しした用件が録音されます。

↓

電話が切れると、録音された曜日と時刻が記録されます。（タイムスタンプ）

●帰宅したら

用件を聞く

用件が録音されていると、留守ランプが点滅し、ディスプレイに録音された用件の件数が表示されます。留守番電話を解除して録音された用件を聞きます。（☛P45）
また、留守操作ボタンを使って、保存された用件などを聞き直すこともできます。（☛P46）

留守番電話を便利に使うには

留守番電話の機能は、お買い求め時の設定を変えることで、さらに便利な使いかたができます。
使いかたをよくご理解いただいてから、それぞれの機能を設定してください。

留守番電話の便利な使いかた

1件の用件の録音時間を変更する

■用件を録音するとき

電話がかかってくると、留守番電話が自動応答し、用件を録音します。（☛P41）

↓

1件あたりの用件録音時間を1～5分の間で設定します。（お買い求め時は1分に設定されています）（☛P123）

■用件を録音しないとき（応答専用）

「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」という応答専用メッセージで応答し、用件を録音しません。

↓

1件あたりの用件録音時間を「無」に設定すると、応答専用メッセージで応答できます。（☛P123）

応答メッセージの使いかた

■内蔵の応答メッセージを使う

「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音のあとにお話しください。」という内蔵の応答メッセージで応答します。

↓

メッセージが内蔵されていますので、留守番電話をセットにするだけで使えます。（☛P44）

■自作の応答メッセージを使う

自分の声で録音した2種類の応答メッセージを使うことができます（応答メッセージ1、応答メッセージ2を録音します）。（☛P47）

↓ 2種類を使い分ける

留守番電話のセットをしたあとにどちらかを選べます。（☛P44）

↓ 外線で使い分ける

外線別応答メッセージを「有り」に設定します。（お買い求め時は「無し」に設定されています）（☛P103）

留守番電話が応答するまでの着信音の回数を変える

■留守応答着信回数を変える

着信音が鳴ってから留守番電話が応答するまでの着信音の鳴る回数（応答するまでの時間）を変更できます。

↓

留守応答着信回数を1～9回の間（約3～27秒）で設定できます。（お買い求め時は「0：トールセイバ」に設定されています）（☛P123）

■トールセイバとは

留守番電話に電話をかけたとき、留守番電話が応答するまでの呼出回数（時間）で用件録音の有無がわかる機能です。録音がある場合は約2回（約6秒）、ない場合は約6回（約18秒）で留守番電話が応答します。トールセイバは各留守番電話機ごとに設定できます。

↓

留守応答着信回数を、「0：トールセイバ」に設定します。（☛P123）

留守番電話のセットを忘れたときに自動応答させる（在宅自動応答）

■留守番電話のセットをしていないときに自動応答する

留守番電話のセットをしていないときでも、着信後約50秒経過すると、留守番電話が自動応答し、「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」という応答専用メッセージが流れ、リモコン操作できるように設定することができます。（☛P48）

↓

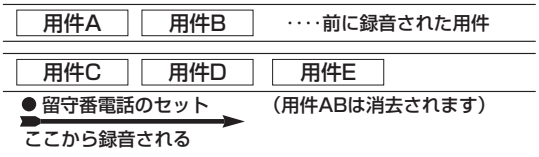
在宅自動応答を「有り」に設定します。（お買い求め時は「有り」に設定されています）（☛P124）

前の用件を消去しないで留守番電話をセットする（アキュムレート録音）

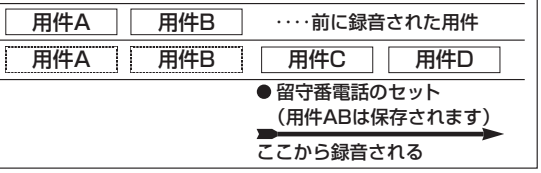
■アキュムレート録音とは

一度留守番電話を解除して聞いた用件を消さずに、留守番電話をセットできる機能です。

＜通常の留守番電話のセット＞



＜アキュムレート録音で留守番電話をセット＞



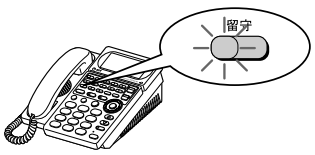
アキュムレート録音を「有り」に設定します。（お買い求め時は「無し」に設定されています）（☛P123）

留守番電話をセットするには

主電話機は留守ボタンを押すだけで、留守番電話をセットすることができます。

1 **ハンドセットを置いたまま、留守ボタンを押す。**

応答メッセージがスピーカから聞こえ、留守番電話がセットされます。



ワンポイント

●**応答メッセージは**
応答メッセージ1が録音されているときは、そのメッセージが流れます。録音されていないときは、内蔵の応答メッセージが流れます。応答専用のときは、自作の応答メッセージが録音されているかどうかにかかわらず、内蔵の応答専用メッセージが流れます。自作の応答メッセージを使うことはできません。(☛P47)

●**応答専用にするには**
用件録音時間を「無」に設定して、留守番電話をセットします。(☛P123)

●**自作の応答メッセージが録音されているときに留守ボタンを押したときは**
<応答1ボタンだけに録音されているとき>
留守ボタンを押すと、応答メッセージ1が流れます。応答1ランプが2回点滅し、応答メッセージ1で留守番電話がセットされます。
<応答2ボタンだけに録音されているとき>
留守ボタンを押すと、内蔵の応答メッセージが流れ、内蔵の応答メッセージで留守番電話がセットされます。

●**応答メッセージ2で留守番電話をセットするには**
留守番電話をセットし、応答メッセージの再生が終了したあと、応答2ボタンを押して応答メッセージ2を再生すると応答メッセージ2で留守番電話がセットされます。再度、応答メッセージ1に戻したいときは、応答1ボタンを押して応答メッセージ1を再生します。

●**留守ボタンを押して留守番電話をセットしたときは**
応答回線種別に設定されている回線(外線着信、ダイヤルイン着信、内線着信)に自動応答できます。(☛P124)
応答回線種別の設定(外線着信、ダイヤルイン着信、内線着信)をすべて「無し」に設定した場合は、留守ボタンを押したときに留守ランプは点灯しますが、電話がかかってきたときに留守応答しません。

●**留守番電話をセットしていないときに自動応答するには(在宅自動応答)(☛P124)**

お知らせ

●応答メッセージ1が録音されているときは、応答1のランプが点灯します。
応答メッセージ2が録音されているときは、応答2のランプが点灯します。
●用件は、最大約15分(通話中録音、応答メッセージ録音を含みます。最大録音時間は、録音内容で変わります。)、または59件まで録音できます。
●1秒以内の用件は録音されません。
●アキュムレート録音(☛P123)が「無し」に設定されているときに、留守番電話をセットすると、録音されている用件がすべて消去されます。
●留守番電話を解除したあと、用件がすべて再生される前に留守番電話をセットしたときは、未再生用件があっても再生したものとみなされ、ディスプレイに「0件」と表示されます。
●留守番電話セット中に録音できる時間がなくなると、電話をかけてきた方には「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」という応答専用メッセージが流れ、用件は録音できなくなります。
●録音できる時間がないときに留守番電話をセットすると、ディスプレイに「録音エリア満杯」と表示され、応答専用メッセージで留守番電話がセットされます。
●外線または内線の着信表示中は、留守番電話をセットできません。
●内線着信で留守応答するには、内線呼出音を「信号」に設定してください。内線呼出音設定(☛P117)

登録 ▶ *外線別に応答メッセージを分けるには(☛P103)*

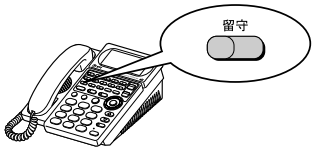
表示 ▶ *録音可能時間を確認するには(☛P105)*

留守番電話を解除するには

用件が録音されると、留守ランプが点滅します。ディスプレイには、録音された用件の件数が表示されます。主電話機の留守ボタンを押すと留守番電話が解除され、用件が再生されます。

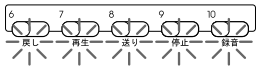
1 ハンドセットを置いたまま、留守ボタンを押す。

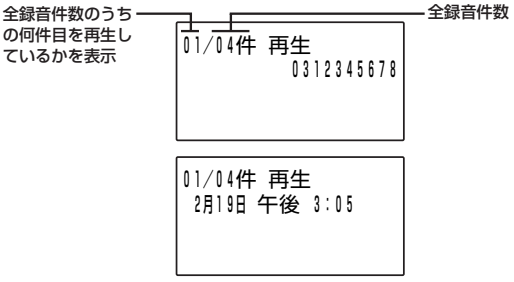
留守ランプが消え、留守番電話が解除されます。
用件が録音されているときは、録音件数「…件です。」という音声のあと、各用件ごとに、用件とタイムスタンプが再生されます。



用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声が流れます。

2 留守操作表示ランプが点灯し、留守操作モードになる。(☛P46)





再生終了後、約30秒たつと留守操作モードが解除され、カレンダ・時計表示に戻ります。

お知らせ

- 留守番電話を解除して用件を再生したときは、その留守中に録音された、未再生の用件のみ再生され、ディスプレイにはその未再生用件のみの件数が表示されます。アキュムレート録音（☛P123）された用件は再生されず、ディスプレイの表示件数にも含まれません。
- 外線または内線の着信表示中は、留守番電話を解除できません。
- 用件の再生中または用件を消去中に電源プラグや電話機コードを抜かないでください。故障の原因になる場合があります。

ワンポイント

- **留守ボタンを押して留守番電話を解除したとき**
  手順2で留守操作モードが解除されるまでは、留守操作ボタンを押したときと同じ操作ができます。
- **タイムスタンプについて**
  各用件ごとに、用件の録音が開始された曜日・時刻をお知らせします。
- **用件をハンドセットから再生するには**
  用件再生中にハンドセットを取りあげます。
- **用件の再生を停止するには**
  手順1で用件再生中に停止ボタンまたは(#)を押します。ハンドセットから用件が再生されているときは、ハンドセットを置きます。
- **ディスプレイに電話番号や発信者名が表示されているときは**
  ナンバー・ディスプレイで相手の方の電話番号が通知された場合は、用件再生中に相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録した相手の場合は、電話番号のかわりに名前が表示されます。
  ディスプレイの表示は、フレキシブルキーの10を押すことで、電話帳に登録された名前またはネーム・ディスプレイ表示／電話をかけてきた方の電話番号／タイムスタンプ表示の順に切り替えることができます。
- **相手の方の電話番号が電話帳に登録されているときは**
  ネーム・ディスプレイにより発信者名が通知される場合でも、相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前を表示します。

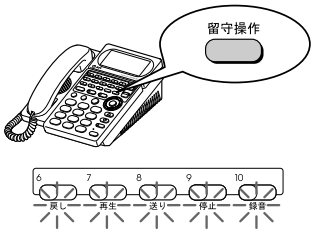
音量 ▶ *スピーカ音量を調節するには（スピーカ音量）(☛P99)*

通話 ▶ *用件再生中に外からの電話に応答するには(☛P106)*
▶ *用件再生中に内線からの電話に応答するには(☛P106)*

録音された用件を聞くには

留守操作ボタンを押すと留守操作モードに切り替わり、留守操作表示ランプが点灯して、用件の再生、戻し、送りなどの操作をすることができます。また、留守ランプが点滅しているときに留守ボタンを押しても用件を聞くことができます。（☛P45）

1 ハンドセットを置いたまま、留守操作ボタンを押す。
留守操作表示ランプが点灯し、フレキシブルキーの6～10が留守操作モードに切り替わります。



2 再生ボタンを押す。
保存されている用件すべてが再生されます。

用件が録音されていないときは、「録音はありません。」という音声が流れます。
再生を途中で止める場合は、停止ボタンを押します。

3 留守操作ボタンを押す。
留守操作表示ランプが消灯し、留守操作が終了します。

お知らせ

- 録音された用件は、留守番電話セット中、解除中のどちらでも再生できます。
- 再生ボタンを押して用件を再生したときは、保存された用件のすべてが再生され、ディスプレイには保存された用件を含めた件数が表示されます。
- 用件が再生されていない状態で約30秒間何も操作をしないと、留守操作表示ランプが消え、留守操作ができなくなります。このときは、手順1から操作をやり直してください。
- 相手の方が約10秒何も話さなかったり、声が小さすぎたときは、電話が切れます。このときも1件分の用件として数えられることがあります。また、相手の方が応答メッセージの途中で電話を切ったときも、1件分の用件として数えられることがあります。
- 停電になったときでも録音された用件は消えません。
- 相手の方がお使いの回線により、録音された用件の音質が異なる場合があります。
- 用件の再生中または用件を消去中に電源プラグや電話機コードを抜かないでください。故障の原因になる場合があります。
- 通話中に用件再生することはできません。

音量 ▶ *スピーカ音量を調節するには（☛P99）*
▶ *相手の方の声が聞きとりにくいときは（☛P99）*

通話 ▶ *用件再生中に外からの電話に応答するには（☛P106）*
▶ *用件再生中に内線からの電話に応答するには（☛P106）*

ワンポイント

●留守操作ボタンを押したときのフレキシブルキーの機能は
留守操作モードのとき、フレキシブルキー6～10の下に表示された機能を使うことができます。

表示	機能
戻し	用件再生中に押すと、用件を聞き直すことができる。 <用件が1件目のとき> • 1件目の最初に戻る。 <用件が2件目以降のとき> • 用件再生開始後、3秒以内に押したとき：1つ前の用件の最初に戻る。 • 用件再生開始後、3秒以降に押したとき：その用件の最初に戻る。
再生	録音された用件が1件目から再生される。
送り	用件再生中に押すと、次の用件を再生する。最後の用件再生中に押したときは、再生が停止する。 また、送りボタンでスキップした用件は、すべて再生したものとみなされる。
停止	用件再生中に押すと、再生を停止する。
録音	通話中に押すと、お話しを録音できる。（通話中録音）（☛P97） 用件再生中に押すと電話をかけてきた方の電話番号などとタイムスタンプ表示（録音された日付・時刻）を切り替えて表示する。

●用件をハンドセットから再生するには
用件再生中にハンドセットを取りあげます。

●停止ボタンを押さずに用件の再生を停止するには
手順2で用件再生中に#を押します。ハンドセットから用件が再生されているときは、ハンドセットを置きます。このとき、留守操作モードは解除されません。

●タイムスタンプについて
各用件ごとに、用件の録音が開始された曜日・時刻をお知らせします。

●用件を消去するには
消去する用件の再生中に消去ボタンを押します。次の用件があるときは、続けて再生されます。

●用件をすべて消去するには（用件全消去）（☛P123）

●用件を保存するには（アキュムレート録音）（☛P123）

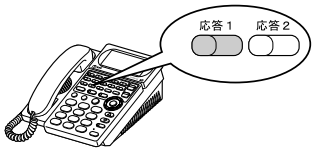
●ディスプレイに電話番号や発信者名が表示されているときは
ナンバー・ディスプレイで相手の方の電話番号が通知された場合は、用件再生中に相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録した相手の場合は、電話番号のかわりに名前が表示されます。
ディスプレイの表示は、フレキシブルキーの10を押すことで、電話帳に登録された名前またはネーム・ディスプレイ表示／電話をかけてきた方の電話番号／タイムスタンプ表示の順に切り替えることができます。

応答メッセージを録音するには

自分の声で録音した応答メッセージを利用することができます。応答1ボタン、応答2ボタンそれぞれに、約15秒ずつ応答メッセージを録音することができます。また、ランプが点灯している応答1ボタンまたは応答2ボタンを押すと、応答メッセージを再生できます。

1 **ハンドセットを置いたまま、応答1ボタンまたは応答2ボタンを押す。**

「録音します。ハンドセットを取り、ピーという音のあとにお話しください。」という音声が流れます。



2 **ハンドセットを取りあげる。**

「ピー」という発信音のあとに応答メッセージを録音します。

応答1録音

3 **録音が終わったら、ハンドセットを置く。または(#)を押してからハンドセットを置く。**

(#)を押したときは「ピー」という音がスピーカから聞こえます。

受話器を置いて下さい

ハンドセットを置くとカレンダ・時計表示に戻ります。

ワンポイント

●応答メッセージを再生するには

①ランプが点灯している応答1ボタンまたは応答2ボタンを押す。
「再生します。」という音声のあと、応答メッセージが再生される。ハンドセットから再生するときは、ハンドセットを取りあげる。

②再生を終了するときは(#)を押す。ハンドセットを取りあげたときはハンドセットを置く。

●応答メッセージを消去するには

ハンドセットを置いたまま、消去ボタンを押しながら応答1ボタンまたは応答2ボタンを押します。押した応答ボタンに録音されている応答メッセージが消去され、そのランプが消灯します。

お知らせ

- 録音時間を超えたときはスピーカから「ピー」という発信音が鳴り、録音が終了します。ハンドセットを置いてください。
- 応答1ランプまたは応答2ランプが点灯しているときは、すでに応答メッセージが録音されています。ランプが点灯しているボタンに応答メッセージは録音できません。録音する場合は、ランプが点灯しているボタンの応答メッセージを消去してください。
- 応答メッセージ、用件、通話中録音すべてを含めた最大録音時間は約15分です。残りの録音時間がないときは操作をしても応答メッセージを録音できません。
- 手順1で音声が流れている間にハンドセットを取りあげたときは、音声はハンドセットから聞こえます。
- 手順1で音声が流れたあとで約10秒間何も操作をしないと、「ピー」という発信音が鳴り、応答メッセージの録音が中止されます。もう一度はじめからやり直してください。
- 用件が59件または最大録音時間まで録音されているときは、応答メッセージが録音されていても、「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」という応答専用メッセージが流れ、用件は録音されません。
- 自作メッセージは応答専用メッセージとして利用できません。
- 停電になったときでも録音された応答メッセージは消えません。

登録 ▶ *外線別に応答メッセージを分けるには（☛P103）*

表示 ▶ *録音可能時間を確認するには（☛P105）*

通話 ▶ *応答メッセージの録音中または再生中に外からの電話に応答するには（☛P106）*
▶ *応答メッセージの録音中または再生中に内線からの電話に応答するには（☛P106）*

リモコン操作でできること

リモコン操作とは、外出先などからネットコミュニティシステム BX に電話をかけて、ダイヤルボタンで用件を聞くなどの操作をすることです。リモコン操作をするためには、あらかじめリモート暗証番号の登録が必要です。また、留守番電話がセットにされているか、在宅自動応答（☛P124）が「有り」に設定されていることも必要です。

■リモコン操作の準備と流れ

リモート暗証番号を登録する

主電話機から暗証番号を登録します。（☛P49）

留守番電話をセットする

外出したり不在にするときは、留守番電話をセットします。
留守番電話をセットする（☛P44）

外出先から電話をかける

プッシュ信号を送ることができる外の電話機やプッシュ式公衆電話から、ネットコミュニティシステム BX に電話をかけます。
他の内線電話機からの場合には、主電話機を内線番号で呼び出します。応答メッセージが聞こえたら＃、リモート暗証番号、＃を押します。

プッシュ式公衆電話

プッシュ信号を送ることができる電話機

ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があればリモコン操作ができます。

主電話機の場合は、留守番電話の操作と転送電話の設定ができます。（☛P50）

録音された用件を聞く

曜日、時刻、録音された用件の件数に続いて、用件が聞こえます。
続けて聞こえる音声にしたがって、リモコン操作の方法を選びます。

- 対話形式でリモコン操作する（☛P50）
- 番号でリモコン操作する（ダイレクトリモコン）（☛P52）

プラスα リモコン操作で留守番電話をセットする

留守番電話をセットしていないとき、在宅自動応答が「有り」に設定されていると（☛P124）、リモコン操作で留守番電話をセットすることができます。

1. ネットコミュニティシステム BX に電話をかける。
2. 着信後約50秒経過すると、応答専用メッセージが聞こえる。
3. 応答専用メッセージが聞こえている間に＃、リモート暗証番号、＃を押す。
4. ISDN回線ご利用時は「留守設定は＃1＃を、転送設定は＃2＃をどうぞ」、アナログ回線ご利用時は「留守設定は＃1＃をどうぞ」のあとに、曜日、時刻が聞こえたあと、＃①＃を押す。
5. 設定されている応答メッセージが聞こえ、続けて聞こえる音声にしたがってリモコン操作する。
6. リモコン操作を終了する場合は＃⓪＃を、対話形式でリモコン操作をする場合は＃①＃、直接リモコン操作を行う場合は＃④＃を押す。

ワンポイント

●リモコン操作でできる機能一覧

機能	内容
用件の再生、消去	録音された用件を再生、消去できます
留守番電話のセット、解除	留守番電話をセット、解除できます
転送電話のセット、解除（ISDN回線のみ）	転送電話をセット、解除できます

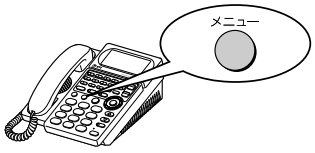
お願い

- 音声が聞こえている間に＃を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2～3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）
- 携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがあります。
- 雑音の多い場所でリモコン操作をされる場合は、正常に作動しないことがあります。

リモート暗証番号を登録するには

リモコン操作を行うためのリモート暗証番号（3～6桁の数字）を登録します。リモート暗証番号を登録できるのは主電話機からのみです。

1 メニューボタン、(DEF 3)(ABC 2)を押して「3:リモート暗証番号」を表示させる。



(1)(ABC 2)(DEF 3)
(GHI 4)(JKL 5)(MNO 6)
(PQRS 7)(TUV 8)(WXYZ 9)
(＊)(0)(＃)

```
1:留守転送
2:留守ﾓﾆﾀ
3:ﾘﾓｰﾄ暗証番号
4:在宅自動応答
```

2 (DEF 3)を押す。

(1)(ABC 2)(DEF 3)
(GHI 4)(JKL 5)(MNO 6)
(PQRS 7)(TUV 8)(WXYZ 9)
(＊)(0)(＃)

```
ﾘﾓｰﾄ暗証番号
暗証番号入力
```

3 リモート暗証番号（3～6桁）をダイヤルボタンで押す。

(1)(ABC 2)(DEF 3)
(GHI 4)(JKL 5)(MNO 6)
(PQRS 7)(TUV 8)(WXYZ 9)
(＊)(0)(＃)

```
ﾘﾓｰﾄ暗証番号
暗証番号入力
1234
```

入力した数字を修正する場合は(クリア)ボタンを押します。

4 登録内容を確認し、(決定)ボタンを押す。

リモート暗証番号が登録されます。
(クリア)ボタンを押すとカレンダ・時計表示に戻ります。

ワンポイント

- **リモート暗証番号を変更するには**
  手順1から新しいリモート暗証番号を登録します。もとの番号は消え、新しく登録した番号がリモート暗証番号になります。
- **リモート暗証番号を消去するには**
  手順3で(クリア)ボタンを押して暗証番号をすべて消去し、(決定)ボタンを押します。

お知らせ

- リモート暗証番号には(＊)、(＃)は登録できません。
  リモート暗証番号が登録済みのときは、手順2で登録済みリモート暗証番号の桁数分「＊」が表示されます。
- 現在登録されているリモート暗証番号を確認することはできません。また、リモート暗証番号が登録されていないときはリモコン操作はできません。

外出先から用件を聞くには

外出先からリモート暗証番号を使って、外出中などに録音された用件を聞くことができます。
続けて、用件を消すなどのリモコン操作ができます。

対話形式でリモコン操作をする

1 ネットコミュニティシステム BXに電話をかける。

電話がつながると、留守番電話の応答メッセージが聞こえます。

他の内線電話機からの場合には、主電話機を内線番号で呼び出します。

2 応答メッセージが聞こえている間に、＃、リモート暗証番号、＃を押す。

3 ISDN回線ご利用時は「留守設定は#1#を、転送設定は#2#をどうぞ」、アナログ回線ご利用時は「留守設定は#1#をどうぞ」の音声ガイダンスが聞こえ、次に曜日、時刻が聞こえる。

4 ＃①＃ を押す。

録音件数「…件です。」という音声のあと、用件が再生されます。

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
✳0＃

用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声のあと、メニューガイダンスが聞こえます。

5 メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は#1#を、直接リモコンを行う場合は#4#を、リモコンを終了する場合は#0#をどうぞ。」が聞こえる。

6 ＃①＃ を押す。

対話形式でのリモコン操作に設定されます。

7 聞こえてくる音声にしたがって、留守番電話をリモコン操作する。

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
✳0＃

はい（実行するとき）：＃①＃
いいえ（スキップ）　：＃③＃

8 リモコン操作を終了するときは、＃0＃を押して電話を切る。

お知らせ

- メニューガイダンスは、音声が聞こえてから約8秒間何も操作をしないと、再度同じガイダンスが聞こえて、さらに8秒間何も操作をしないと、自動的に電話が切れます。
- 対話形式のリモコン操作中は、音声が聞こえてから約6秒間何も操作をしないと、再度同じ音声が聞こえます。さらに約6秒間何も操作をしないと、次の音声が聞こえます。最後の「リモコンを終了しますか。」という音声が2回聞こえてから約6秒間何も操作しないと、自動的に電話が切れます。
- 対話形式またはダイレクトリモコンで用件を再生する場合は、アキュムレート録音（☛P123）の設定内容に関わらず、保存されている用件メッセージがすべて再生されます。

お願い

- 音声が聞こえている間に＃を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2～3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）
- 携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがあります。

ワンポイント

●対話形式で聞こえる音声の内容は
手順7で聞こえる音声は、次の順序です。

①「実行なら#、1、#を、スキップなら#、3、#をどうぞ。」
②「用件メッセージを消去しますか。」
③「用件メッセージを再生しますか。」
④「留守設定を解除しますか。」
⑤「留守設定にしますか。」
⑥「リモコンを終了しますか。」

- ⑥で ㊋ ③ ㊋を押すと、②へスキップします。
- ④、⑤は留守設定の状態によって聞こえます。

●対話式リモコン操作中に、メニューガイダンスへ戻るには
手順7で ㊋ ⑨ ㊋を押します。

●対話式リモコン操作中に、ダイレクトリモコン操作に変更するには
手順7で ㊋ ⑨ ㊋を押してメニューガイダンスに戻り、㊋ ④ ㊋を押します。ダイレクトリモコン操作ができるようになります。（☛P52）

●留守番電話をセットしていないときは（在宅自動応答）
留守番電話がセットされていないときでも、着信後約50秒経過すると応答専用メッセージが再生され、留守番電話をセットすることができます。（☛P48）

●リモコン操作を途中でやめるには
㊋ ⓪ ㊋を押して電話を切ります。

登録
▶ *リモート暗証番号を間違えたときは（☛P103）*
▶ *暗証スキップ電話番号が登録されているときは（☛P103）*
▶ *トールセイバが設定されているときは（☛P103）*

外出先から用件を聞くには

番号でリモコン操作をする（ダイレクトリモコン）

1 **ネットコミュニティシステム BXに電話をかける。**
電話がつながると、留守番電話の応答メッセージが聞こえます。

他の内線電話機からの場合には、主電話機を内線番号で呼び出します。

2 **応答メッセージが聞こえている間に、＃、リモート暗証番号、＃を押す。**

3 **ISDN回線ご利用時は「留守設定は#1#を、転送設定は#2#をどうぞ」、アナログ回線ご利用時は「留守設定は#1#をどうぞ」の音声ガイダンスが聞こえ、次に曜日、時刻が聞こえる。**

4 **＃①＃を押す。**
録音件数「…件です。」という音声のあと、用件が再生されます。

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
＊⓪＃

用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声のあと、メニューガイダンスが聞こえます。

5 **メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は#1#を、直接リモコンを行う場合は#4#を、リモコンを終了する場合は#0#をどうぞ。」が聞こえる。**

6 **＃④＃を押す。**
ダイレクトリモコン操作に設定されます。
「番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。

7 **リモコン操作番号（☛P53）を押す。**
留守番電話をリモコン操作します。

8 **リモコン操作を終了するときは、＃⓪＃を押して電話を切る。**

ワンポイント

- **番号でリモコン操作中に、メニューガイダンスへ戻るには**
  手順7で ＃⑨＃ を押します。手順5の音声に戻ります。
- **ダイレクトリモコン操作中に、対話形式リモコン操作に変更するには**
  手順7で ＃⑨＃ を押してメニューガイダンスに戻り、＃①＃を押します。対話形式でリモコン操作ができるようになります。（☛P50）
- **留守番電話をセットしていないときに自動応答にするには（在宅自動応答）（☛P48）**
- **リモコン操作を途中でやめるには**
  ＃⓪＃を押して電話を切ります。

お知らせ

- 手順6で音声が聞こえてから約8秒間何も操作をしないと、「番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。4回目の「番号をどうぞ。」という音声のあと、電話が切れます。
- 対話形式またはダイレクトリモコンで用件を再生する場合は、アキュムレート録音（☛P123）の設定内容に関わらず、保存されている用件メッセージがすべて再生されます。

お願い

- 音声が聞こえている間に＃を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2～3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）
- 携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがあります。

登録
▶ *リモート暗証番号を間違えたときは（☛P103）*
▶ *暗証スキップ電話番号が登録されているときは（☛P103）*
▶ *トールセイバが設定されているときは（☛P103）*

番号でできるリモコン操作（ダイレクトリモコン操作番号）

リモコン操作中に「番号をどうぞ。」という音声が聞こえたあと、次の操作が行えます。

① ＃ （用件再生中に押す） **用件戻し** 再生中の用件の先頭、または1件前の用件を再生します。先頭の用件のときは、再生中の用件をはじめから再生します。	② ＃ **用件再生** 用件が先頭から再生されます。	③ ＃ （用件再生中に押す） **用件送り** 次の用件を再生します。最後の用件の再生中に押したときは、「番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。	⑧ ＃ （用件再生中に押す） **再生中用件消去** 再生中の用件を消去します。
＊ ＃ **留守番電話解除** 留守番電話を解除します。	＃ （用件再生中に押す） **動作停止** 再生が停止します。続けて他のリモコン操作を行ってください。	＃ ⑨ ＃ **最初の音声に戻る** 「外出先から用件を聞くには」の手順5の「メニューガイダンス」に戻ります。	＃ ⓪ ＃ **リモコン操作終了** リモコン操作を終了し、電話が切れます。

ワンポイント

● **リモコン操作で留守番電話をセットするには**

留守番電話をセットしていないとき、在宅自動応答（☛P124）が「有り」に設定されていると、リモコン操作で留守番電話をセットすることができます。

①ネットコミュニティシステム BX に電話をかける。

②着信後約50秒経過すると、応答専用メッセージが聞こえる。

③応答専用メッセージが聞こえている間に ＃、リモート暗証番号、 ＃を押す。

④ISDN回線ご利用時は「留守設定は＃1＃を、転送設定は＃2＃をどうぞ」、アナログ回線ご利用時は「留守設定は#1#をどうぞ」のあとに、曜日、時刻が聞こえたあと、＃①＃を押す。

⑤設定されている応答メッセージが聞こえ、続けて聞こえる音声にしたがってリモコン操作をする。

⑥リモコン操作を終了する場合は ＃⓪＃を、対話形式でリモコン操作をする場合は ＃①＃を、直接リモコン操作を行う場合は ＃④＃を押す。

用件を外出先へ転送するには（留守転送）

留守転送とは、留守番電話に用件が録音されたことを自動的に外出先へ電話をかけて知らせる機能です。転送先を設定して、携帯電話に知らせることもできます。留守転送を行うには、あらかじめリモート暗証番号と転送先の電話番号の登録が必要です。

転送とは

留守転送の準備（主電話機）

リモート暗証番号を登録します。（☛P49）

↓

転送先の電話番号、転送に使う外線を設定します。（☛P55）

↓

留守転送をセットします。（☛P55）

↓

留守番電話をセットします。（☛P44）
リモコン操作で外出先や他の内線電話機からも留守番電話をセットできます。（☛P48）

↓

外出します。

外出中

用件が録音されると転送先へ自動的に電話をかけます。

↓

転送先で電話を受けます。（☛P56）

↓

リモート暗証番号を使って用件を聞きます。

帰宅したら

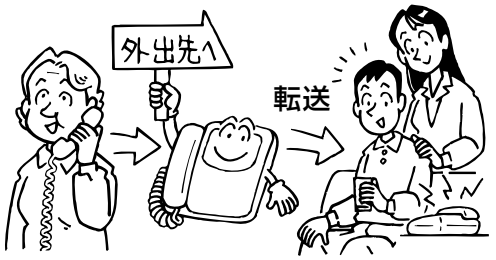
転送を解除します。
留守番電話を解除する（☛P45）と、留守転送も解除されます。

↓

留守転送を「無し」に設定します。（☛P55）

留守転送の利用例

外出先の電話機に転送
用件が録音されると、自動的に転送先へ電話をかけます。転送先で用件を聞くことができます。（☛P56）



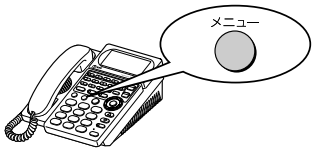
↓

（用件録音）

用件の転送先を登録してセットするには

留守転送をセットするときは、転送先の電話番号、転送に使う外線も同時に設定、登録します。電話番号は32桁まで登録することができます。留守転送をセットすると、用件が録音されたあと、転送先に自動的に電話をかけます。また、転送先で用件を聞くこともできます。(☛P56)
留守転送するときは、あらかじめ留守番電話をセットしておいてください。

1 メニューボタン、(3)(2)を押して「1:留守転送」を表示させる。



(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(*)(0)(#)

```
1:留守転送
2:留守ﾓﾆﾀ
3:ﾘﾓｰﾄ暗証番号
4:在宅自動応答
```

2 (1)を押す。

3 留守転送をセットする場合は(1)を押す。
留守転送を解除する場合は(0)を押します。

```
留守転送選択
0:無し
1:有り
```

4 転送先電話番号（32桁まで）をダイヤルボタンで押す。

(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(*)(0)(#)

```
留守転送
電話番号入力
          0312345678
```

入力した電話番号を修正する場合は(クリア)ボタンを押します。

5 (決定)ボタンを押す。

6 留守転送に使う外線の番号をダイヤルボタンで押す。

(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(*)(0)(#)

```
留守転送
外線ﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ入力
12
```

ダイヤルボタン（(1)、(2)）を押すと外線1、2を設定することができます。もう一度同じダイヤルボタンを押すと解除され、「-」と表示されます。

7 (決定)ボタンを押す。
留守転送に使う外線が設定されます。
(クリア)ボタンを押すとカレンダ・時計表示に戻ります。
留守番電話がセットされているときは、ディスプレイに「留守転送」と表示されます。

ワンポイント

- **留守転送を解除するには**
  留守転送がセットされているときに、手順3で(0)（0：無し）を押します。留守番電話がセットされているときは、ディスプレイの「留守転送」がカレンダ・時計表示に戻ります。
- **転送先の電話番号を変更するには**
  手順4で新たに転送先電話番号を入力し直してください。
- **転送先の電話番号を削除するには**
  手順4で(クリア)ボタンを押して入力した数字を削除して(決定)ボタンを押します。

お知らせ

- 手順6で、留守転送に使う外線の番号1、2をすべて「-」にしたとき（外線を設定していないとき）は、使用できる外線を自動的に使い転送します。
- アナログ回線をお使いのときは、手順4で(フック)ボタンを押すごとに約3秒のポーズが入ります。ディスプレイには「-」（ハイフン）が表示されます。
- 転送先の電話番号を誤って登録すると、用件が録音されるたび、誤った相手に繰り返し電話がかかりますのでご注意ください。
- 留守転送をセットしていても、留守番電話がセットされていないと転送されません。
- 用件録音時間が「0（応答専用）」に設定されているときは、転送されません。
- 録音可能時間が「満杯」で、用件が録音できなかったときは、転送されません。
- 相手の方が用件を録音しないで電話を切ったときや用件が短すぎるときは、転送されないことがあります。
- 留守転送は、用件メッセージ録音終了約1分後に開始します。転送先がお話し中などで応答しない場合、約3分後に再発信されます。
- 転送中は音量調節以外のボタン操作は行えません。ハンドセットを取りあげて置くと転送を中止します。

登録 ▶ *携帯電話番号を登録するには（☛P102）*

転送先で用件を受けるには

留守転送によって転送先に電話がかかってきたときは、リモート暗証番号を使って、録音されている用件を聞くことができます。

転送先で電話を受けたときに「ピッピッ、転送します。」という音声が聞こえたら…

1 音声が聞こえている間に、＃、リモート暗証番号、＃を押す。

2 ISDN回線ご利用時は「留守設定は#1#を、転送設定は#2#をどうぞ」、アナログ回線ご利用時は「留守設定は#1#をどうぞ」の音声ガイダンスが聞こえ、次に曜日、時刻が聞こえる。

3 ＃①＃を押す。

録音件数「…件です。」という音声のあと、用件が再生されます。

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
✳0＃

4 メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は#1#を、直接リモコンを行う場合は#4#を、リモコンを終了する場合は#0#をどうぞ。」が聞こえる。

5 ＃0＃を押して電話を切る。

ワンポイント

●**用件を受けることのできる電話機は**
必ずプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば用件を再生することができます。

●**操作を途中でやめるときは**
＃0＃を押して電話を切ります。

●**用件再生が終わったあとは**
「対話形式でリモコンを行う場合は＃1＃を、直接リモコンを行う場合は＃4＃を、リモコンを終了する場合は＃0＃をどうぞ」という音声が聞こえます。
＃①＃で対話形式リモコン（☛P50）
＃④＃でダイレクトリモコン（☛P52）
の操作ができます。

お知らせ

●留守転送は、用件録音終了約1分後に開始します。転送先がお話し中などで応答しない場合、約3分後に再発信します。
●転送できなかったときは、新しい用件が録音されるまで転送されません。
●手順1で、音声が聞こえてから約50秒以内にリモート暗証番号を入力しなかったときは、電話が切れます。この場合、再度通知されません。

お願い

●音声が聞こえている間に＃を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2～3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）
●携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがあります。

登録 ▶ *リモート暗証番号を間違えたときは（☛P103）*

かかってきた電話にかけ直すには（着信履歴）

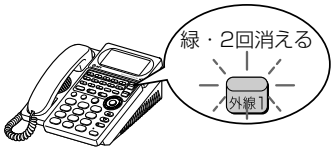
かかってきた相手の電話番号などをディスプレイに表示し、かけ直すことができます。
かかってきた電話番号は、最新のものから順に最大20件、1件につき最大32桁まで記憶されています。

1 ハンドセットを置いたまま、◁：着歴ボタンを押す。
最後にかかってきた相手の電話番号、日時などが表示されます。

2 ▽ボタンまたは△ボタンを押して、かけ直す電話番号を表示する。

20件前の電話番号が表示されているときに、▽ボタンを押すと、最後にかかってきた方の電話番号に戻ります。

3 外線ボタンまたは外線2ボタンを押す。
表示されている電話番号がダイヤルされます。



4 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しをする。

ワンポイント

●**着信履歴で表示されるアイコン**
- 不 … 電話がかかってきたが応答しなかった場合に表示されます。
- 応 … 電話がかかってきて応答した場合に表示されます。

●**着信履歴に記憶されている電話番号などを消去するには**
①手順2で、▽ボタンまたは△ボタンを押して、消去する電話番号を表示させる。
②メニューボタンで「4：1件削除」を表示させ④を押す。すべての着信履歴を消去するときは▽ボタンで「5：全件削除」を表示させ⑤を押す。
「全件削除しますか」というメッセージが表示されたら①を押して「1：はい」を選択します。

●**記憶した電話番号が20件を超えたときは**
新しい電話番号が受信されるたびに、最も古いものから順番に消去されます。

お知らせ

- ネーム・ディスプレイに契約されている場合、手順1で発信企業名（氏名）も表示されます。
- INSダイヤルインやモデムダイヤルイン、i・ナンバー、サブアドレスを利用している内線電話機にかかってきた電話の着信履歴は、その内線電話機でのみ表示されます。（☛P70）
- 転送電話機能を使用して転送された電話は、着信履歴には記憶されません。
- 着信履歴で「公衆電話」「非通知」「表示圏外」「受信エラー」などが表示されているときは、電話をかけ直すことはできません。
- 停電になったときも着信履歴の内容は消去されません。
- アナログコードレス電話機、ディジタルシステムコードレス電話機は、その電話機に着信した記録を着信履歴として持っています。

登録 ▶ *操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は（☛P102）*

かけてきた方の電話番号と名前を登録するには（ワンタッチダイヤル／電話帳ダイヤル）

かかってきた相手の電話番号などをディスプレイに表示し、ワンタッチダイヤルまたは電話帳ダイヤルに登録することができます。
かかってきた電話番号は、最新のものから順に最大20件、1件につき最大32桁まで記憶されています。

ワンタッチダイヤルに登録する

1 ハンドセットを置いたまま◁：着歴ボタンを押す。
最後にかかってきた相手の電話番号が表示されます。

```
着信履歴01
山田太郎
          0312345678
12/19 15:05
```

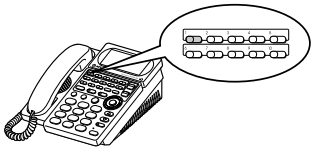
2 ▽ボタンまたは△ボタンを押して、登録する着信履歴を表示する。

20件前の着信履歴が表示されているとき、▽ボタンを押すと最後にかけてきた方の着信履歴に戻ります。

3 メニューボタンを押して「1：ワンタッチダイヤル登録」を表示させ、①を押す。

```
1:ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
2:個別電話帳登録
3:共通電話帳登録
4:1件削除
```

4 登録するフレキシブルキー（ワンタッチボタン）を押す。



5 決定ボタンを押して、登録内容を確認する。
手順2で選択した電話番号、日時などが表示されます。

```
着信履歴01
山田太郎
          0312345678
02/19 15:05
```

6 決定ボタンを押して、ワンタッチ名称登録画面を表示する。

7 名前を入力して、決定ボタンを押す。
名前を入力する。（☛P35）

8 決定ボタンを押し、登録画面を表示する。
約6秒後にカレンダ、時計表示に戻ります。

ワンポイント

- **記憶した電話番号が20件を超えたときは**
  新しい着信履歴が登録されるたびに、最も古いものから順番に消去されます。
- **登録しようとするフレキシブルキーを押して内容が表示されたら**
  すでにフレキシブルキーに登録されている場合は、手順4でその登録内容が表示されます。すでに登録されているフレキシブルキーの登録内容を消去して、着信履歴の電話番号を登録する場合は手順5以降の操作を行います。未登録のフレキシブルキーを検索するには、▽または△ボタンを押します。
- **かけた電話番号の中からワンタッチダイヤルに登録するには**
  かけた電話番号の履歴（再ダイヤル）からワンタッチダイヤルに登録するには、手順1で発歴ボタンを押して再ダイヤルを表示します。それ以降の手順は、着信履歴を登録する手順と同じです。
- **かけてきた方の電話番号と名前を電話帳に登録するには**
  個別電話帳に登録する場合は、手順3で②を押して「2:個別電話帳登録」を選択します。共通電話帳に登録する場合は、手順3で③を押して「3:共通電話帳登録」を選択します。
  名前を登録する画面が表示されます。それ以降の手順は、「電話帳に登録する」の手順3以降（☛P32）を参照してください。ただしこの場合は、続けて登録することはできません。
- **かけてきた方の電話番号を着信拒否に登録するには**
  手順3で⑥を押して「6:着信拒否登録」を選択します。「登録しますか」に対して①を押して「1:はい」を選択します。
- **履歴を削除するには**
  1件だけを削除するには、削除したい履歴の電話番号を表示して、手順3の画面で④を押して「4:1件削除」を選択します。履歴をすべて削除するには、手順3の画面で⑤を押して「5:全件削除」を選択します。
  「全件削除しますか」というメッセージが表示されたら、①を押して「1：はい」を選択します。

お知らせ

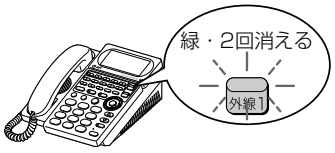
- INSダイヤルインやモデムダイヤルイン、i・ナンバー、サブアドレスを利用している内線電話機にかかってきた電話の着信履歴は、その内線電話機でのみ表示されます。（☛P70）
- 停電になったときも着信履歴の内容は消去されません。
- アナログコードレス電話機からは登録を行うことはできません。

登録 ▶ *操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は（☛P102）*

ハンドセットを置いたままで電話をかけるには　（ハンズフリー通話）

ハンドセットを置いたまま、外線通話、内線通話をすることができます。

1 ◎スピカ ボタンを押して点灯していることを確認して、外線1 ボタンまたは外線2 ボタンを押す。
「ツー」という音がスピーカから聞こえます。



2 電話番号をダイヤルボタンで押す。

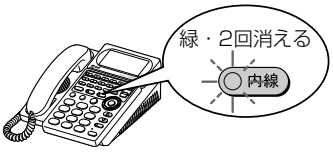
3 相手の方が出たら、◎マイク ボタンを押して内線電話機のマイクに向かってお話しをする。

4 お話しが終わったら、◎スピカ ボタンを押す。

ハンズフリーで内線に電話をかけるには

プラスα

1 ◎マイク ボタンを押して点灯していることを確認して、◎内線 ボタンを押す。
「プープープー…」という音がスピーカから聞こえます。



2 呼び出す内線電話機の内線番号（1）～（8）を押す。
フレキシブルキーに内線番号を登録している場合は、そのフレキシブルキーを押します。（☛P92）

3 呼出音が終わったら、電話機のマイクに向かって呼びかける。

4 呼び出しされた方が応答したら電話機のマイクに向かってお話しをする。

5 お話しが終わったら、◎スピカ ボタンを押す。

ワンポイント

- ワンタッチダイヤルで電話をかけるには（☛P31）
- フレキシブルキーで内線を呼び出すには（☛P92）

お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声や保留メロディが、一時途切れることがありますが、故障ではありません。
- アナログコードレス電話機は、ハンズフリーで電話をかけることはできません。

音量 ▶ *スピーカ音量を調節するには（スピーカ音量）（☛P99）*

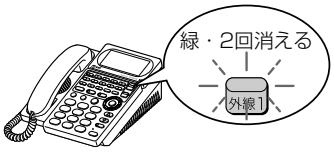
ハンズフリー ▶ *ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話にするには（☛P101）*
▶ *ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しするには（☛P101）*

ハンドセットを置いたままで電話を受けるには　（ハンズフリー通話）

ハンドセットを置いたまま、外線電話、内線電話を受けることができます。

着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅したら…

1 ランプが点滅している外線1ボタンまたは外線2ボタンを押す。



2 マイクボタンを押してマイクランプが点灯していることを確認し、内線電話機のマイクに向かって応答する。

3 お話しが終わったら、スピーカボタンを押す。

ハンズフリーで内線電話を受けるには（アンサートークバック）

プラスα

電話機のハンドセットに手を触れずにそのまま応対することができます。
アンサートークバックは、内線から音声呼出で電話がかかってきたときのみ、お使いになれます。

1 呼出音が鳴ったら、マイクボタンを押してマイクランプが点灯していることを確認し、電話機のマイクに向かってお話しをする。

2 お話しが終わり、相手の方が電話を切ると、自動的にこちらの電話も切れます。

お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声や保留メロディが、一時途切れることがありますが、故障ではありません。
- アナログコードレス電話機は、ハンズフリーで電話を受けることはできません。

音量 ▶ *スピーカ音量を調節するには（スピーカ音量）（☛P99）*

ハンズフリー ▶ *ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話にするには（☛P101）*
▶ *ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しをするには（☛P101）*

INSネットサービスの特長

INSネットサービスは、当社が提供するISDNサービスです。ISDN回線をお使いの場合、ネットコミュニティシステム BXでは、INSネットサービスを活用した様々な機能が利用できます。

■INSネットサービスを利用した機能（2006年12月現在）

機　能	説　明	参照ページ
INSナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号や非通知理由などがディスプレイに表示されます。 このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。	☛P67
INSネーム・ディスプレイ	INSナンバー・ディスプレイサービスのオプションサービスであり、着信時に発信電話番号情報とともに発信企業名（氏名）情報がディスプレイに表示されます。このサービスをご利用いただくには、それぞれ別途当社との利用契約が必要です。	☛P68
i・ナンバー	契約者回線番号に加えて1つまたは2つの追加番号を持つことができます。これらの番号を特定の電話機やファクスに割り当てることによって、特定の電話機専用あるいはファクス専用の電話番号を設けることができます。 このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。	☛P62
INSダイヤルイン	契約者回線番号に加えて、複数の追加番号（ダイヤルイン追加番号）を持つことができます。これらの番号を特定の電話機やファクスに割り当てることによって、担当者（または家族）ごとの電話番号やファクス専用の電話番号を設けることができます。このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。	☛P65
サブアドレス通知サービス	各内線電話機の内線番号をサブアドレスとして利用することができます。サブアドレスを利用すると、特定の内線電話機にだけ着信させることができます。	☛P70
INSメッセージ 到着お知らせサービス	当社のメッセージセンタにお客様へのメッセージが録音されたとき、その情報を電話機のディスプレイに表示させて、お客様にお知らせするサービスです。このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。	☛P72
INSボイスワープ	フレックスホンの着信転送にくらべて、高機能な着信転送サービスです。転送先の電話番号は、当社の交換機に登録します。このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。	☛P89
INSナンバー・リクエスト	INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を通知しない相手からは着信せず、電話番号を通知してかけ直すよう、相手に対し音声ガイダンスを送出します。このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。	―
INSマジックボックス	お話し中やご不在時など、かかってきた電話に出られないときに、センタがお客さまに代わって応答し、メッセージを録音するサービスです。お客さまが指定するセンタ以外の電話に転送することもできます。 外出先の携帯電話、公衆電話などからもメッセージの再生・消去が行えます。 このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。	☛P72

●INSネットサービスの詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ワンポイント

●発信者番号通知サービスをご利用いただくときは

発信者番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は以下のように異なります。

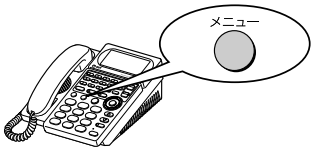
		発信者番号を通知する	発信者番号を通知しない
契約内容	通常通知 （通話ごと非通知）	相手の方の電話番号	1 8TUV 4GHI ＋相手の方の電話番号
	通常非通知 （回線ごと非通知）	1 8TUV 6MNO ＋相手の方の電話番号	相手の方の電話番号

i・ナンバーを利用するには

i・ナンバーサービス（有料）をご契約いただくと、契約者回線番号に加えて1つまたは2つの追加番号を持つことができます（ISDN回線のみ）。これらの番号を特定の電話機やファクスに割り当てることによって、特定の電話機専用あるいはファクス専用の電話番号を設けることができます。
このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。また、当社とご契約いただいたあと、i・ナンバーの利用の設定と各電話番号の着信先を設定することで、このサービスをご利用いただけます。なお、お買い求め時は設定されていません。（メニュー設定が必要です）

i・ナンバーの利用を設定する

1 メニューボタン、1 4を押したあと、▽ボタンを押して、「7:iナンバー設定」を表示させる。



1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

```
5:ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ設定
6:ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ設定
7:iﾅﾝﾊﾞｰ設定
8:DI着信先設定
```

2 7を押す。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

3 i・ナンバー選択を表示させ、1を押す。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

```
iﾅﾝﾊﾞｰ選択
0:無し
1:有り
```

i・ナンバーの利用が設定されます。クリアボタンを押すとカレンダ・時計表示に戻ります。

お知らせ

- i・ナンバーの設定は、主電話機以外の電話機ではできません。
- i・ナンバーの設定について詳しくは、「i・ナンバーの設定例」（☛P63）を参照してください。
- すべての電話機／ファクスで同時にご利用いただける回線は、2回線のままです。

i・ナンバーの設定例

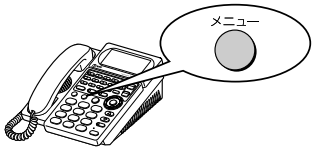
i・ナンバーの電話番号（最大3つ）を、各内線電話機に割り当てる手順は以下のとおりに行います。
また、最初に「i・ナンバーの利用を設定する」（☛P62）を参考に、i・ナンバー設定を「有り」に設定してください。

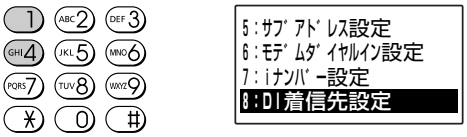
割り当ての設定例

ISDN回線とi・ナンバー着信先が次のような場合で説明します。

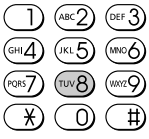
・ISDN回線
契約番号：03-1234-1111
追加番号1：03-1234-1112
追加番号2：03-1234-1113
・i・ナンバー着信先
契約番号（03-1234-1111）を内線番号1、2、3の電話機の外線1、2
追加番号1（03-1234-1112）を内線番号4、5の電話機の外線1、2
追加番号2（03-1234-1113）を内線番号6、7、8の電話機の外線1、2

1 メニューボタン、①④を押したあと、▽ボタンを押して、「8:DI着信先設定」を表示させる。

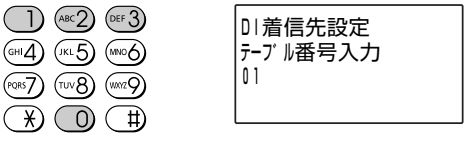




2 ⑧を押す。

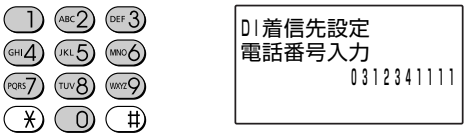


3 i・ナンバーのポート番号（テーブル番号）をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

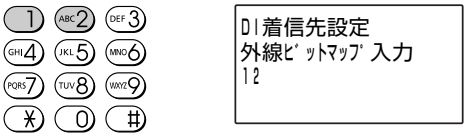


契約番号はテーブル番号「01」を、追加番号1はテーブル番号「02」を、追加番号2はテーブル番号「03」を入力してください。

4 i・ナンバーの電話番号を市外局番からダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

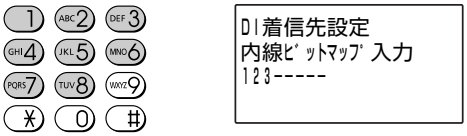


5 内線電話機で使用する外線をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。



設定例は、外線1、外線2に割り当てるため①、②を押して設定しています。

6 手順4で設定した電話番号に割り当てる内線番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。



設定例は、内線番号1、2、3に割り当てられていることを示しています。割り当てられていない他の内線番号は「-」で表示されます。ダイヤルボタンを間違えて押した場合、その同じ番号をもう一度押すと「-」で表示されます。

7 FAX/TEL切替設定の利用の有無をダイヤルボタンで押す。

i・ナンバーの番号ごとにFAX/TEL切替設定（☛P117）が設定できます。FAX/TEL切替の利用の有無を⓪または①で設定します。

i・ナンバーの設定例

8 **手順2からを繰り返す。**

手順1の画面が表示されるので、続けて、追加番号1、追加番号2を登録します。
登録を終了する場合は、クリアボタンを押します。

お知らせ

- 電話番号は必ず市外局番から正しく登録してください。
- i・ナンバーについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

INSダイヤルインの設定例

INSダイヤルイン（有料）をご契約いただくと、契約者回線番号に加えて複数の追加番号（ダイヤルイン追加番号）を持つことができます。これらの番号を特定の電話機やファクスに割り当てることによって、特定の電話機専用あるいはファクス専用の電話番号を設けることができます。
このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。また、当社とご契約いただいたあと、各電話番号の着信先を設定することでこのサービスがご利用いただけます。
なお、お買い求め時は設定されていません。（メニュー設定が必要です）

ダイヤルインの割り当て設定例

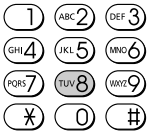
電話番号と着信先が次のような場合で説明します。

契約者回線番号：03-1234-1111…内線1～3（グローバル着信）
追加番号1：03-1234-1112…内線4（ファクス専用）
追加番号2：03-1234-1113…内線1
追加番号3：03-1234-1114…内線2
追加番号4：03-1234-1115…内線3

1 **メニューボタン、①④を押したあと、▽ボタンを押して、「8:DI着信先設定」を表示させる。**

```
5:ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ設定
6:ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ設定
7:iﾅﾝﾊﾞｰ設定
8:DI着信先設定
```

2 **⑧を押す。**

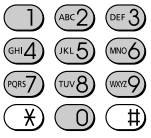


3 **テーブル番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

```
DI着信先設定
ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
01
```

テーブル番号は、設定する順に「01」、「02」、「03」、「04」、「05」を入力してください。

4 **電話番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**



```
DI着信先設定
電話番号入力
          0000000000
```

契約者回線番号は「00000000」（0が8つ）を入力してください。追加番号1～4（テーブル02～05）は、市外局番から「0312341112」のように入力します。

5 **内線電話機で使用する外線をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

```
DI着信先設定
外線ﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ入力
1-
```

設定例は、内線電話機1～3の外線1を契約者回線番号、外線2に追加番号2～4（テーブル03～05）を割り当てるため、ここでは①を押しています。割り当てられていない外線番号は「-」で表示されます。ダイヤルボタンを間違えて押した場合、その同じ番号をもう一度押すと「-」で表示されます。

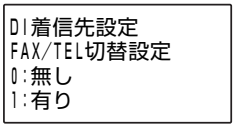
6 **手順4で設定した電話番号に内線番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

```
DI着信先設定
内線ﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ入力
123-----
```

設定例は、内線番号1、2、3に割り当てられていることを示しています。割り当てられていない内線番号は「-」で表示されます。ダイヤルボタンを間違えて押した場合、その同じ番号をもう一度押すと「-」で表示されます。

INSダイヤルインの設定例

7 **FAX/TEL切替設定の利用の有無をダイヤルボタンで押す。**



ダイヤルイン番号ごとにFAX/TEL切替設定（☛P117）が設定できます。FAX/TEL切替の利用の有無を0または1で設定します。

8 **手順2からを繰り返す。**

手順1の画面が表示されるので、追加番号1、追加番号2、追加番号3、追加番号4をそれぞれ、テーブル番号02～05に登録します。
登録を終了する場合は、クリアボタンを押します。

お知らせ

- 電話番号は、下桁から5桁以上登録してください。
- テーブル番号は01から10までご利用いただけます。（本システムでは、グローバル着信設定を含むと追加番号は最大で9つとなります。）
- すべての電話機／ファクスで同時にご利用いただける回線は、2回線のままです。
- INSダイヤルインについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所へお問い合わせください。
- 緊急番号登録（☛P114）に設定されている緊急電話からの着信を受けたときは、ダイヤルインの設定にかかわらず、全内線電話機が着信します。

ナンバー・ディスプレイを利用するには

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）とは、電話をかけた相手の方の電話番号が受信側のディスプレイに表示されるサービスです。このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約（有料）が必要です。また、オプションのネーム・ディスプレイをご利用いただくと、電話をかけた相手の方の発信企業名（氏名）も表示されます。（☛P68）
サービスをご契約いただいたときは、必ず発ID受信回線設定（☛P115）を設定してください。ISDN回線をご利用の場合は設定に関わらず、ご契約によりINSナンバー・ディスプレイを利用することができます。
発信電話番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は異なります。（☛P61）

電話がかかってくると

かけてきた相手の方の電話番号などをディスプレイに表示します。

外線ランプが赤く点灯する

相手の方の情報を受信しています。（アナログ回線の場合のみ）

着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅する

相手の方の電話番号などが表示されます。

ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しをする

通話時間が表示されます。

■相手の方の電話番号が表示されないとき

相手の方が電話番号を表示しない契約、または表示しないような発信操作を行った場合などは、発信電話番号は表示されません。ディスプレイには、電話番号が表示されない理由が表示されます。

ディスプレイ	理　由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が電話番号を表示しない操作をしたとき、または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	海外など発信電話番号通知サービスを提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため電話番号を通知できない場合に表示します。
受信エラー	一時的な回線の雑音などによりデータが正常に受信できなかったときに表示します。（アナログ回線のみ）

お知らせ

- アナログ回線用の主装置内蔵電話機で2回線ともナンバー・ディスプレイをご利用いただいている場合、2回線の両方に着信が入ってきたときは、先の着信のみを表示します。あとの着信は表示されません。（☛P129）
- 外線ランプが赤く点灯しているときは、電話を受けたりかけたりすることはできません。
- PBX（構内交換機）や他の通信機器などに接続されているときは、ナンバー・ディスプレイをご利用いただけないことがあります。
- 発信電話番号表示機能を利用中は着信音が聞こえるまでに時間がかかります。
- ISDN回線ご利用の場合は、ISDN回線ご利用のお客様からの着信時は、当社とINSナンバー・ディスプレイの契約がなくても相手の電話番号がディスプレイに表示されますが、非通知理由は表示されません。非通知理由を表示したり、非通知／公衆電話／表示圏外／指定番号着信拒否設定を行うときは、当社とINSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。発ID受信回線設定は不要です。

表示 ▶ *相手の方の名前と電話番号がワンタッチダイヤルまたは電話帳に登録されているときは（☛P105）*

ナンバー・ディスプレイを利用するには

ネーム・ディスプレイを利用するには

ネーム・ディスプレイ（発信企業名（氏名）情報通知サービス）とは、ナンバー・ディスプレイのオプションサービスで、電話をかけた方の発信企業名（氏名）が受信側のディスプレイに表示されるサービスです。このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約（有料）が必要です。（ネーム・ディスプレイのみの利用契約はできません。ナンバー・ディスプレイの利用契約が必要となります。）

■ネーム・ディスプレイサービスで電話がかかってくると

かけてきた相手の方の企業名（氏名）と電話番号などをディスプレイに表示します。

外線ランプが赤く点灯する

相手の方の情報を受信しています。（アナログ回線の場合のみ）

着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅する

相手の方の電話番号と発信企業名（氏名）などが表示されます。

ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しをする

通話時間が表示されます。

お知らせ

- 外線ランプが赤く点灯しているときは、電話を受けたりかけたりすることはできません。
- PBX（構内交換機）や他の通信機器などに接続されているときは、ネーム・ディスプレイをご利用いただけないことがあります。

▶ *相手の方の名前と電話番号がワンタッチダイヤルまたは電話帳に登録されているときは（☛P105）*

ワンポイント

- **電話機が表示できない文字を受信したときは**
  標準電話機で表示できる漢字の種類は、JIS第一水準およびJIS第二水準です。それ以外の漢字コードを受信した場合は、該当する文字を「※」と表示します。

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイを利用すると、いろいろと便利な機能を使うことができます。

■かけてきた方にこちらからかけ直す（着信履歴）

電話がかかってくると、自動的に相手の方の電話番号（最大32桁）を20件まで記憶します（着信履歴）。着信履歴は内線電話機ごとに記憶されます。記憶している着信履歴を表示させ、外線1ボタンまたは外線2ボタンを押すと、かけてきた方に簡単にかけ直すことができます。（☛P57）

■かけてきた方の名前と電話番号を電話帳やワンタッチダイヤルに登録する（発信者氏名登録機能）

着信履歴に記憶されている（相手の方の名前と）電話番号を電話帳やワンタッチダイヤルに登録できます。（☛P58）

■登録されている相手の方からの着信音を変える（発信電話番号着信音設定／識別着信）

あらかじめ登録した電話番号（最大10か所）から電話がかかってくると、CES/PBX着信音でお知らせします。ただし、着信音をメロディに設定しているときは設定したメロディが鳴ります。（☛P27）
電話番号は主電話機で登録します。（☛P115）

■かけてきた電話を別の電話に転送する（転送電話）

電話番号を登録して、その電話番号から電話がかかってきたときに、他の外線へ転送する設定を行うことができます。(☛P77)

■非通知理由によって着信を拒否する（着信拒否設定）

電話番号を通知せずにかかってきたとき、公衆電話からかかってきたとき、海外など発信者電話番号通知サービスの提供エリア外からかかってきたとき、の3つのケースごとに着信拒否設定（☛P115）が行えます。
相手の方に、「186を付けて、発信してください」（非通知着信拒否時）、「この電話はお受けできません」（公衆電話／表示圏外着信拒否時）のガイダンスを流してから、回線を切断することもできます。（着信拒否ガイダンス、☛P115）
ガイダンスなしの場合は、ISDN回線時はお話し中音、アナログ回線時は呼出音が聞こえたままになり、着信を拒否します。

■特定の相手からの電話を拒否する（指定番号着信拒否）

着信を拒否したい相手の電話番号を登録して、着信を拒否することができます。（着信拒否番号、☛P115）相手の方に、「この電話はお受けできません」のガイダンスを流してから回線を切断するか、ガイダンスなしに、ISDN回線時はお話し中音、アナログ回線時は呼出音が聞こえたままになり、着信を拒否するか設定できます。（着信拒否ガイダンス、☛P115）

ワンポイント

- **内線でお話し中に、発信電話番号着信音設定した相手の方から電話がかかってきたときは**
  スピーカから着信音が聞こえます。お話しを終えて応答してください。

お知らせ

- 停電時は、ナンバー・ディスプレイを利用したすべての機能はご利用いただけません。
- アナログ回線でナンバー・ディスプレイの契約をしていて、発ID受信回線設定をしていない、またはモデムダイヤルインサービスをご契約いただいていて、モデムダイヤルイン設定をしていないと、電話番号の表示が出ない、短い着信音が数回鳴ったあとに外線着信音が鳴る、通話ができない場合がある、正常に動作しないことがあるなどの事象が発生します。
- アナログ回線でナンバー・ディスプレイの契約をしないで、発ID受信回線設定をすると、電話機が正常に動作しないおそれがあります。
- アナログ回線で、ナンバー・ディスプレイやモデムダイヤルインサービスをご契約いただいている場合でも、モデム信号を受けられないときは、ナンバー・ディスプレイが表示されないことがあります。

外から特定の電話機を呼び出すには（ダイヤルインサービス／i・ナンバー／サブアドレス通知サービス）

特定の電話機を呼び出すには、以下の方法があります。

ISDN回線の場合

INSダイヤルインサービス（有料）を契約してダイヤルイン番号を指定する方法、i・ナンバー（有料）を契約してi・ナンバー情報を利用する方法、INSネット64の基本サービスの1つであるサブアドレス通知サービス（無料）を利用してサブアドレスを指定する方法があります。サブアドレス通知サービス以外のサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。

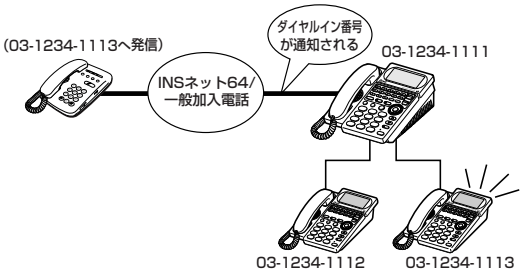
アナログ回線の場合

モデムダイヤルインサービス（有料）を契約してダイヤルイン番号を指定する方法があります。このサービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。

■モデムダイヤルインサービスを利用する

アナログ回線でモデムダイヤルインサービスをご契約いただくと、契約者回線番号とは別に複数の番号を持つことができます。ダイヤルイン番号ごとに、着信させる内線電話機を割り当てることができます。

●1つの回線に03-1234-1111、03-1234-1112、03-1234-1113のダイヤルイン番号を設定したとき



●必要な設定は

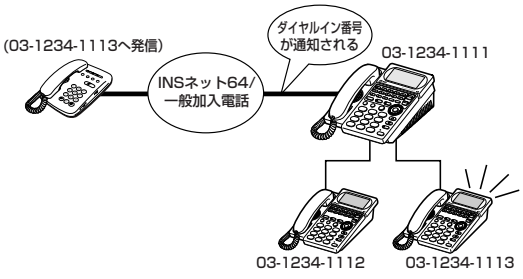
モデムダイヤルイン設定（☛P115）

DI着信先設定（☛P116）

■INSダイヤルインサービスを利用する

ISDN回線でINSダイヤルインサービスをご契約いただくと、契約者回線番号とは別に複数の番号を持つことができます。ダイヤルイン番号ごとに着信させる内線電話機を割り当てることができます。

●1つの回線に03-1234-1111、03-1234-1112、03-1234-1113のダイヤルイン番号を設定したとき



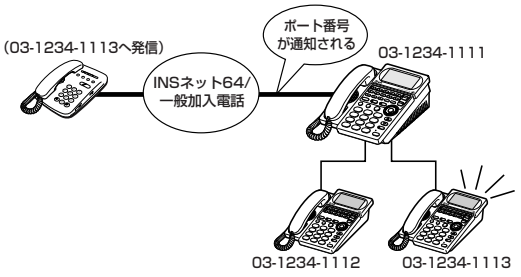
●必要な設定は

DI着信先設定（☛P65）

■i・ナンバーサービスを利用する

i・ナンバーサービスをご契約いただくと、契約者回線番号とは別に、1つまたは2つの追加番号を持つことができます。2つまたは3つの電話番号ごとに、着信させる内線電話機を割り当てることができます。

●1つの回線に契約回線番号：03-1234-1111、追加番号1：03-1234-1112、追加番号2：03-1234-1113を設定したとき



●必要な設定は

i・ナンバー設定（☛P62）

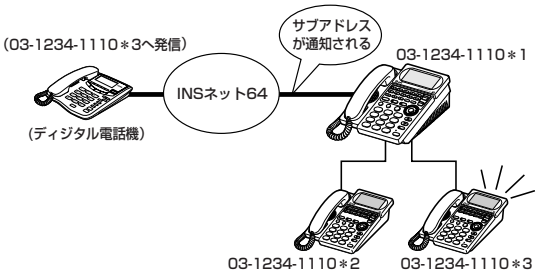
DI着信先設定（☛P63）

■サブアドレス通知サービスを利用する

サブアドレス通知サービスは、INSネットの基本サービス（無料）の1つで、INSネット相互間および、一部のPHS・携帯電話との通信時に、サブアドレス（＊内線番号）付きで通知するサービスです。この通知サービスを利用して、電話をかけるときに、電話番号のあとにサブアドレス（＊内線番号）をダイヤルしてもらうと、その内線番号の電話機を呼び出すようにできます。（サブアドレスダイヤルイン）

また、この機能を有効にすると、電話をかけるときは、相手の方に自分のサブアドレス（＊内線番号）まで通知されます。

●03-1234-1110の契約回線で内線番号が1～3のとき



●必要な設定は

サブアドレス設定（☛P115）

ワンポイント

●**ダイヤルイン番号で電話がかかってくると**
モデムダイヤルイン番号、INSダイヤルイン番号、i・ナンバー、サブアドレス付き番号で電話がかかってくると、その番号が登録されている内線電話機では着信音が鳴り、外線ランプが赤色に点滅します。その他の内線電話機では外線ランプが赤く点灯し、着信音は鳴らず、電話に出ることはできません。

お知らせ

●INSダイヤルインサービス、i・ナンバーサービス、サブアドレスダイヤルインで、同時にご利用できる回線数は2回線のままです。また、モデムダイヤルイン時は、元のご契約回線数が2回線の場合は同時に2回線、1回線の場合は1回線のみとなります。

登録 ▶ *1つのダイヤルイン番号に複数の内線電話機が登録されている場合は（☛P102）*

メッセージ到着お知らせサービスを利用するには

メッセージ到着お知らせサービスとは、当社のメッセージセンタにお客様へのメッセージが録音されたときなどに、その情報を受信しお客様にお知らせするサービスです。
このサービスをご利用いただくには、マジックボックス、Lモードなどを別途当社と契約する必要があります。

メッセージ到着お知らせサービスを利用する

ネットコミュニティシステム BX では、メッセージセンタ1（センタ1:マジックボックス）、メッセージセンタ2（センタ2:Lモードサービスのメール）をメッセージ到着お知らせサービスにてお客様に通知することができます。

ワンポイント

●**メッセージセンタ１、2をディスプレイに表示させるには**
メッセージセンタ1、2（センタ1:マジックボックス、センタ2:メール）をディスプレイに表示させるには、電話機アダプタ（オプション）に接続したLモード端末が必要となります。メッセージの表示方法に関しては、Lモード対応機器の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

●Lモード（メッセージ到着お知らせサービスの表示を含む）をご利用いただく場合は、対応する機器をご用意いただいたうえで、電話機アダプタ（オプション）と接続してお使いください。接続できる機種やオプションに関して、詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
●停電中は「メッセージ」の通知が表示されません。また、通知が表示されているときに停電になった場合は表示が消え、停電が終わっても再度、表示はされません。
●マジックボックス、Ｌモードサービスの詳細については、局番なしの116または当社の営業所等へお問い合わせください。

メッセージ到着お知らせサービスをご利用いただくには、「収容回線番号設定」（☛P113）、「発アドレス設定」（☛P113）、「メ有り通知先設定」（☛P118）を設定する必要があります。Lモードご利用時は「オフフック外線捕捉」（☛P113）も設定する必要があります。また、モデムダイヤルイン、INSダイヤルイン、i・ナンバーを利用した個別着信でメッセージ到着お知らせサービスをご利用いただくには、「DI着信先設定」（☛P116）を設定し、「メ有り通知先設定」でその追加番号を入力します。

■収容回線番号設定

1 メニューボタン、①②①を押す。

2 外線番号（①、②）を押して決定ボタンを押す。

3 収容している電話番号をダイヤルボタンで押して決定ボタンを押す。

■発アドレス設定

1 メニューボタン、①②②を押す。

2 Lモード対応の電話機の内線番号（①～⑧）を押して決定ボタンを押す。

3 外線番号（①、②）を押して決定ボタンを押す。

4 発アドレス番号をダイヤルボタンで押して決定ボタンを押す。

■DI着信先設定

1 メニューボタン、①④⑧を押す。

2 登録するテーブル番号（01～10）をダイヤルボタンで押して決定ボタンを押す。

3 登録するダイヤルイン番号を市外局番からダイヤルボタンで押して決定ボタンを押す。

4 外線番号（①、②）を押して決定ボタンを押す。

5 内線番号（①～⑧）を押して決定ボタンを押す。

6 FAX/TEL切替設定の有無をダイヤルボタンで押す。

■メ有り通知先設定

1 メニューボタン、①⑦⑦を押す。

2 テーブル番号（①～⑤）を押して決定ボタンを押す。

3 マジックボックスやLモードの契約をした電話番号をダイヤルボタンで押して決定ボタンを押す。

4 通知先の内線番号（①～⑧）を押して決定ボタンを押す。

■オフフック外線捕捉

1 メニューボタン、①②③を押す。

2 Lモード対応の電話機の内線番号を押して決定ボタンを押す。

3 Lモード契約した回線の外線番号①、②を押して決定ボタンを押す。

メッセージ到着お知らせサービスを利用するには

メッセージ到着お知らせサービスの設定例

設定例）

●回線

契約番号：03−○○○○−1111（マジックボックス契約、Lモード契約有り）

●内線電話機にメッセージ到着お知らせサービスを通知させる

・契約番号：03−○○○○−1111がマジックボックス契約を行っているため、Lモード対応機器を接続した電話機アダプタ（オプション）を着信先とした場合は、メッセージ到着お知らせサービスを通知させることができます。また、契約番号03−○○○○−1111がLモード契約を行っているため、Lモード対応機器を接続した電話機アダプタ（オプション）を着信先とした場合には、メッセージ到着お知らせサービスの通知（センタ2）を表示させることができます。

メッセージ到着お知らせサービス設定（メ有り通知先設定）

①登録テーブル番号	②電話番号	③内線番号
1	03○○○○1111	−2345678

（注）電話番号は必ず市外局番から正しく登録してください。

収容回線番号設定

①外線番号	②電話番号
1	03○○○○1111
2	03○○○○1111

ワンポイント

●マジックボックスをご利用いただいている場合は

メッセージセンタ1（センタ1:マジックボックス）にお客様へのメッセージが到着したときには特定の内線電話機（電話機アダプタ（オプション）に接続したLモード対応機器にはディスプレイ表示可能）に通知してお知らせすることができます。

●Lモードをご利用いただいている場合は

Lモードをご利用いただく場合は、対応する機器をご用意し、電話機アダプタ（オプション）と接続し「オフフック外線捕捉」（☛P113）を設定してお使いください。メッセージセンタ2（センタ2:メール）にお客様へのメッセージが到着したときには、Lモード対応機器のディスプレイに表示させてお知らせすることができます。

●マジックボックス、Lモードを両方ご利用されている場合は

メッセージセンタ1（センタ1:マジックボックス）にお客様へのメッセージが到着したときには、特定の内線電話機（電話機アダプタ（オプション）に接続したLモード対応機器にはディスプレイ表示可能）に通知してお知らせすることができて、メッセージセンタ2（センタ2:メール）にお客様のメッセージが到着したときには、Lモード対応機器のディスプレイに表示させてお知らせすることができます。

お知らせ

●Lモードをご利用いただく場合は、対応する機器をご用意いただいたうえで、電話機アダプタ（オプション）と接続してお使いください。電話機アダプタ（オプション）と接続したLモード対応機器には、メッセージ到着お知らせサービスを表示することができます。接続できる機種やオプションに関して、詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

●メッセージ到着お知らせサービスについては、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

i・ナンバーサービスを利用している場合の設定例

i・ナンバーの登録・設定については62ページを参照してください。

設定例）

●ISDN回線

契約番号：03−○○○○−1111（INSマジックボックス契約有り）
追加番号：03−○○○○−1112（Lモード契約有り）
追加番号：03−○○○○−1113

●i・ナンバー着信先

契約番号03−○○○○−1111を内線番号1，2，3の電話機の外線1，2
追加番号03−○○○○−1112を内線番号4，5の電話機の外線1，2
追加番号03−○○○○−1113を内線番号6，7，8の電話機の外線1，2

i・ナンバーサービス設定（DI着信先設定）

①登録テーブル番号	②電話番号	③外線番号	④内線番号
01	03○○○○1111	1−	123−−−−−
02	03○○○○1112	−2	−−−45−−−
03	03○○○○1113	12	−−−−−678
04			
05			

●内線電話機にINSメッセージ到着お知らせサービスを通知させる

- 契約番号03−○○○○−1111がINSマジックボックス契約を行っているため、その着信先である内線番号2、3の電話機にINSメッセージ到着お知らせサービスを通知させることができます。電話機アダプタ（オプション）と接続したLモード対応機器には、ディスプレイに表示（センタ1）させることができます。

INSメッセージ到着お知らせサービス設定（メ有り通知先設定）

①テーブル番号	②電話番号	③内線番号
1	03○○○○1111	−23−−−−−

（注）電話番号は必ず市外局番から正しく登録してください。

収容回線番号設定

①外線番号	②電話番号
1	03○○○○1111

- 追加番号03−○○○○−1112がLモード契約を行っているため、その着信先である内線番号4，5の電話機にINSメッセージ到着お知らせサービスの通知（センタ2）を表示させることができます。ただし、内線番号4、5の電話機は電話機アダプタ（オプション）と接続したLモード対応機器が必要となります。

INSメッセージ到着お知らせサービス設定（メ有り通知先設定）

①テーブル番号	②電話番号	③内線番号
2	03○○○○1112	−−−45−−−

（注）電話番号は必ず市外局番から正しく登録してください。

収容回線番号設定

①外線番号	②電話番号
2	03○○○○1112

メッセージ到着お知らせサービスを利用するには

ワンポイント

●マジックボックスをご利用いただいている場合は
メッセージセンタ1（センタ1:マジックボックス）にお客様へのメッセージが到着したときには特定の内線電話機（電話機アダプタ（オプション）に接続したLモード対応機器にはディスプレイ表示可能）に通知してお知らせすることができます。

●Lモードをご利用いただいている場合は
Lモードをご利用いただく場合は、対応する機器をご用意いただいたうえで、電話機アダプタ（オプション）と接続し「オフフック外線捕捉」（☛113）を設定してお使いください。メッセージセンタ2（センタ2:メール）にお客様へのメッセージが到着したときは、Lモード対応機器のディスプレイに表示させてお知らせすることができます。

●マジックボックス、Lモードを両方ご利用されている場合は
メッセージセンタ1（センタ1:マジックボックス）にお客様へのメッセージが到着したときには、特定の内線電話機（電話機アダプタ（オプション）に接続したLモード対応機器にはディスプレイ表示可能）に通知してお知らせすることができて、メッセージセンタ2（センタ2:メール）にお客様のメッセージが到着したときには、Lモード対応機器のディスプレイに表示させてお知らせすることができます。

お知らせ

●Lモードをご利用いただく場合は、対応する機器をご用意いただいたうえで、電話機アダプタ（オプション）と接続してお使いください。電話機アダプタ（オプション）と接続したLモード対応機器には、メッセージ到着お知らせサービスを表示することができます。接続できる機種やオプションに関して、詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
●メッセージ到着お知らせサービスをご利用いただく場合、「収容回線番号設定」（☛P113）「発アドレス設定」（☛P113）「DI着信先設定」（☛P116）「メ有り通知先設定」（☛P118）を契約内容にしたがって設定してください。
●メッセージ到着お知らせサービスは、FAX/TEL切替、転送電話の対象にはなりません。
●i・ナンバーサービスをご利用いただくには「ｉナンバー設定」（☛P116）「DI着信先設定」（☛P116）が必要です。あらかじめ「ｉナンバー設定」「DI着信先設定」がされていない場合はi・ナンバー設定を行っても特定の内線電話機の呼び出しは行えません。
●着信させたい内線電話機の設定は、表示されている番号が指定された内線番号で、指定されていない内線番号は「−」で表示されます。（例．内線番号1，2，3，4の電話機有り、内線番号5，6，7，8の電話機無し「1234−−−−」）
●Sメールはネットコミュニティシステム BX の電話機ではご利用いただけません。
●メッセージ到着お知らせサービスについては、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

かかってきた電話を他の外線へ転送するには(転送電話) IRMタイプのみ

転送電話とは、かかってきた電話をあらかじめ設定しておいた電話番号に転送する機能で、ISDN回線のみご利用可能です。携帯電話やIP電話に転送することもできます。転送電話を行うには、転送先の電話番号の登録、転送電話のセットなどが必要です。

転送電話とは

転送電話の準備（主電話機）

転送先の電話番号を「転送先リスト」に登録します。(☛P78)

↓

かかってきた電話番号で転送を行う場合、「発信者電話番号リスト」に登録します。(☛P78)

↓

転送設定で転送する条件を詳しく設定します。(☛P79)

着信の条件や転送に使う外線、転送先リスト、発信者電話番号リストなどを設定します。
その他に転送の開始時間、転送先の呼び出し時間などを設定します。

転送電話のセット(各内線電話機)

転送電話をセットします。* (☛P81)

↓

主電話機で登録した「転送設定」のテーブル番号を選択します。*

↓

リモコン操作で外出先や他の内線電話機からも転送電話をセットできます。

↓

外出します。

外出中

電話がかかってくると、転送設定に設定された条件で転送先に電話がかかってきます。

↓

転送先で電話を受けます。

帰宅したら

転送電話を解除します。

↓

内線電話機の「個別設定」で転送を「無し」に設定します。*

* フレキシブルキーに登録する(☛P103)と、フレキシブルキーで操作できます。

転送電話の利用例

① かかってきた電話をすべて転送する（☛P83）
電話がかかってくると、自動的に転送先へ電話をかけます。相手の方とお話しができます。

② 特定の相手先からの電話を転送する
登録した電話番号から電話がかかってきたら、自動的に転送先へ電話をかけます。登録していない電話番号からの電話は転送されません。

③ 特定のダイヤルイン番号にかかってきた電話のみ転送する
INSダイヤルインやi・ナンバーをご利用の場合、登録したダイヤルイン番号に電話がかかってきたら、自動的に転送先へ電話をかけます。登録していないダイヤルイン番号にかかってきた電話は、それぞれの着信先を呼び出します。

④ 特定の相手から特定のダイヤルイン番号にかかってきた電話のみ転送する（☛P86）
INSダイヤルインやi・ナンバーをご利用の場合、登録した電話番号から登録したダイヤルイン番号に電話がかかってきたら、自動的に転送先へ電話をかけます。それ以外の電話は、それぞれの着信先を呼び出します。

お知らせ

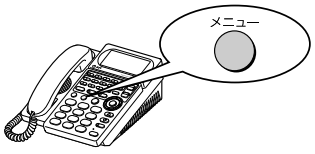
●留守番電話をセットしている場合、留守応答着信回数（☛P123）の設定で応答します。(1回：約3秒～9回：約27秒）また、留守番電話をセットしていない場合でも在宅自動応答（☛P124）が「有り」に設定されていると、着信後、約50秒で応答します。そのため外線転送開始タイマ（☛P118）を応答時間より短い時間に設定してください。また、転送時内線呼出(☛P79)を「無し」に設定してください。

転送電話を設定するには

転送電話の転送先を「転送先リスト」に登録します。転送先リストは5つの登録テーブル（登録番号）に各3件まで登録できます。また、かかってきた電話の電話番号を確認してその外線を転送することもできます（発信者電話番号リスト）。転送電話をセットするときに、各リストの登録テーブルは複数設定することができます。

転送先リストを登録する

1 メニューボタン、①⑧を押して「1:転送先リスト」を表示させる。



①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊0＃

```
1:転送先ﾘｽﾄ
2:発信者電話番号ﾘｽﾄ
3:転送設定
4:外線転送開始ﾀｲﾏ
```

2 ①を押す。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊0＃

3 転送先リストのテーブル番号（登録番号）をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊0＃

```
転送先ﾘｽﾄ
ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
```

テーブル番号は1～5の5つまで登録できます。
各テーブル番号に登録できる転送先は3件までです。

4 転送先の電話番号（32桁まで）をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊0＃

```
転送先ﾘｽﾄ
電話番号入力[1]
```

続けて同じテーブル番号に転送先をあと2件登録できます。続けて登録しない場合は、未入力のままメニューボタンを押します。

発信者の電話番号を登録する

1 メニューボタン、①⑧を押して「2:発信者電話番号リスト」を表示させる。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊0＃

```
1:転送先ﾘｽﾄ
2:発信者電話番号ﾘｽﾄ
3:転送設定
4:外線転送開始ﾀｲﾏ
```

2 ②を押す。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊0＃

3 発信者電話番号リストのテーブル番号（登録番号）をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊0＃

```
発信者電話番号ﾘｽﾄ
ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
```

テーブル番号は1～5の5つまで登録できます。
各テーブル番号に登録できる発信元は10件までです。

4 発信者の電話番号（32桁まで）をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊0＃

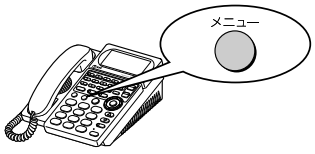
```
発信者電話番号ﾘｽﾄ
電話番号入力[01]
```

続けて同じテーブル番号に発信元をあと9件登録できます。続けて登録しない場合は、メニューボタンを押します。

転送先リスト、発信者電話番号リストの設定が終わったら、次は転送の条件を設定します。転送設定の条件もテーブル番号に5つまで登録でき、転送電話設定時に複数の選択をすることができます。

転送の条件を設定する

1 メニューボタン、①⑧を押して「3:転送設定」を表示させる。



①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊ 0 ＃

```
1:転送先ﾘｽﾄ
2:発信者電話番号ﾘｽﾄ
3:転送設定
4:外線転送開始ﾀｲﾏ
```

2 ③DEFを押す。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊ 0 ＃

3 転送設定の登録番号（テーブル番号）をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊ 0 ＃

```
転送設定
ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
```

テーブル番号は1～5の5つまで登録できます。

4 転送条件を選択する。

着信の回線で転送を行う場合は①を、ダイヤルイン番号で転送を行う場合は②ABCを押します。

```
転送条件選択
1:着信回線指定
2:着信DI指定
```

5 着信回線指定を選択した場合は、転送する着信外線をダイヤルボタン（①、②ABC）で押す。着信DI指定を選択した場合は、転送するダイヤルイン番号（32桁まで）をダイヤルボタンで押す。

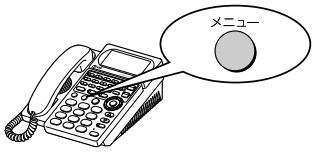
（着信回線指定を選択した場合）

```
転送設定
着信外線ﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ入力
12
```

（着信DI指定を選択した場合）

```
転送設定
着信ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号入力
0312345678
```

6 決定ボタンを押す。



7 「発信者電話番号リスト」で設定した発信者テーブル番号1～5をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊ 0 ＃

```
転送設定
発信者ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
```

発信者電話番号リストを登録していない場合は、何も入力せずに決定ボタンを押します。

8 「転送先リスト」で設定した転送先テーブル番号1～5をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊ 0 ＃

```
転送設定
転送先ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
```

9 外線を転送するときに発信する外線番号をダイヤルボタンで押し決定ボタンを押す。

①②ABC③DEF
④GHI⑤JKL⑥MNO
⑦PQRS⑧TUV⑨WXYZ
＊ 0 ＃

```
転送設定
転送発信外線ﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ
12
```

10 外線に転送すると同時に、内線電話機も呼び続けるかどうかを選択する。

内線電話機を呼び出さない場合は⓪を、呼び続ける場合は①を押します。

```
転送時内線呼出選択
0:無し
1:有り
```

転送を行う条件が設定され、手順1の画面に戻ります。

転送電話を設定するには

ワンポイント

●着信DI指定で登録する番号
手順5で「2:着信DI指定」に登録するダイヤルイン番号は、DI着信先設定（☛P116）で登録した番号を入力します。

●転送先リスト、発信者電話番号リストの電話番号を消去するには
78ページの各リストの登録の手順と同様に操作を行い、手順4で表示される電話番号を(クリア)ボタンを押して消去し、(決定)ボタンを押します。複数のテーブル番号に登録している場合は、そのテーブル番号ごとに消去してください。

●転送の開始時間を設定するには
外線がかかってきて転送するまでの時間を設定することができます。時間を「0」に設定すると無条件で転送します。
外線転送開始タイマ(☛P118)。

●転送設定を消去するには
79ページの手順5で着信回線、または着信ダイヤルイン番号を設定せずに、(決定)ボタンを押します。

●転送先の呼び出し時間を設定するには
転送先の外線を呼び出す時間を設定することができます。外線転送呼出時間(☛P119)。設定した時間で転送先が応答しない場合、「転送先リスト」に登録している次の電話番号へ発信されます。また、「転送先リスト」に転送先が登録されていない場合は、自動的に回線が切れます。

●転送先がお話中のときは
「転送先リスト」（☛P78）の同じテーブルに登録されている次の電話番号にすぐに発信されます。「転送先リスト」の同じテーブルに次の転送先が登録されていない場合は、転送を終了します。

●「転送先リスト」に登録している電話番号から電話がかかってきた場合
かかってきた電話番号と「転送先リスト」に登録されている電話番号と一致した場合、転送電話は起動しないで通常の着信として着信します。

お知らせ

●転送先の電話番号を誤って登録すると、外線電話がかかってくるたび、誤った相手に繰り返し電話がかかりますのでご注意ください。

●お買い求め時には、転送先で転送電話を通話できる時間を255分に設定してあります。この設定を変更することができます。回線強制切断時間（☛P119）。回線強制切断時間を「0」に設定すると、回線は切断されません。

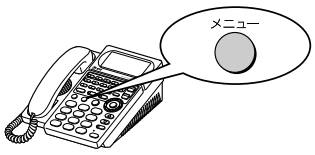
(登録) ▶ *携帯電話番号を登録するには（☛P102）*

転送電話をセットするには

転送をセットすると、転送条件に設定した条件で外線電話が転送されます。

転送電話をセットする

1 メニューボタン、②ABC ④GHI を押して「1:外線転送登録設定」を表示させる。



1 2ABC 3DEF
4GHI 5JKL 6MNO
7PQRS 8TUV 9WXYZ
＊ 0 ＃

```
1:外線転送登録設定
2:外線転送利用
```

2 1を押す。

1 2ABC 3DEF
4GHI 5JKL 6MNO
7PQRS 8TUV 9WXYZ
＊ 0 ＃

3 転送設定のテーブル番号をダイヤルボタンで押す。

1 2ABC 3DEF
4GHI 5JKL 6MNO
7PQRS 8TUV 9WXYZ
＊ 0 ＃

```
外線転送登録設定
ﾃｰﾌﾞﾙﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ入力
123--
```

4 決定ボタンを押して「2:外線転送利用」を表示させ、②ABCを押す。

```
外線転送利用選択
0:無し
1:有り
```

5 外線へ転送する場合は1を押す。

外線への転送電話が設定されました。クリアボタンを押すとカレンダ・時計表示に戻ります。
転送電話がセットされると、ディスプレイに「転」のアイコンが表示されます。

```
12月19日(火)  午後 3:05
 1 内線1
                    転
```

プラスα リモコン操作で転送電話をセットする

転送電話をセットするのを忘れたとき、在宅自動応答が「有り」に設定されており（☛P124）、リモート暗証番号を登録（☛P49）しているとリモコン操作で転送電話をセットすることができます。

1 ネットコミュニティシステム BXに電話をかける。

2 着信後約50秒経過すると、応答専用メッセージが聞こえる。

3 応答専用メッセージが聞こえている間に、＃、リモート暗証番号、＃を押す。

4 「留守設定は#1#を、転送設定は#2#をどうぞ」のあとに、曜日、時刻が聞こえます。そのあとに、＃ 2 ＃を押す。

5 「転送を開始するときは#1#を、停止するときは#2#を入力してください」のあとに＃ 1 ＃を押す。
「設定しました。」というメッセージが聞こえる。

6 「リモコンを終了しますか」というメッセージが聞こえる。リモコン操作を終了する場合は＃ 0 ＃を押す。手順5へ戻る場合は＃ 9 ＃を押す。解除する場合は手順5でのメッセージのあと＃ 2 ＃を押す。

ワンポイント

●フレキシブルキーで転送電話をセットするには
フレキシブルキーに転送セットの機能を登録することができます。(☛P103)
転送電話をセットするには、外線転送利用と転送設定をセットします。

●転送電話を解除するには
転送電話がセットされているとき、解除するには転送電話のセットと同じ操作を行います。ただし、手順5で0を押して「0:無し」を選択します。転送電話が解除されるとディスプレイのアイコンが消えます。

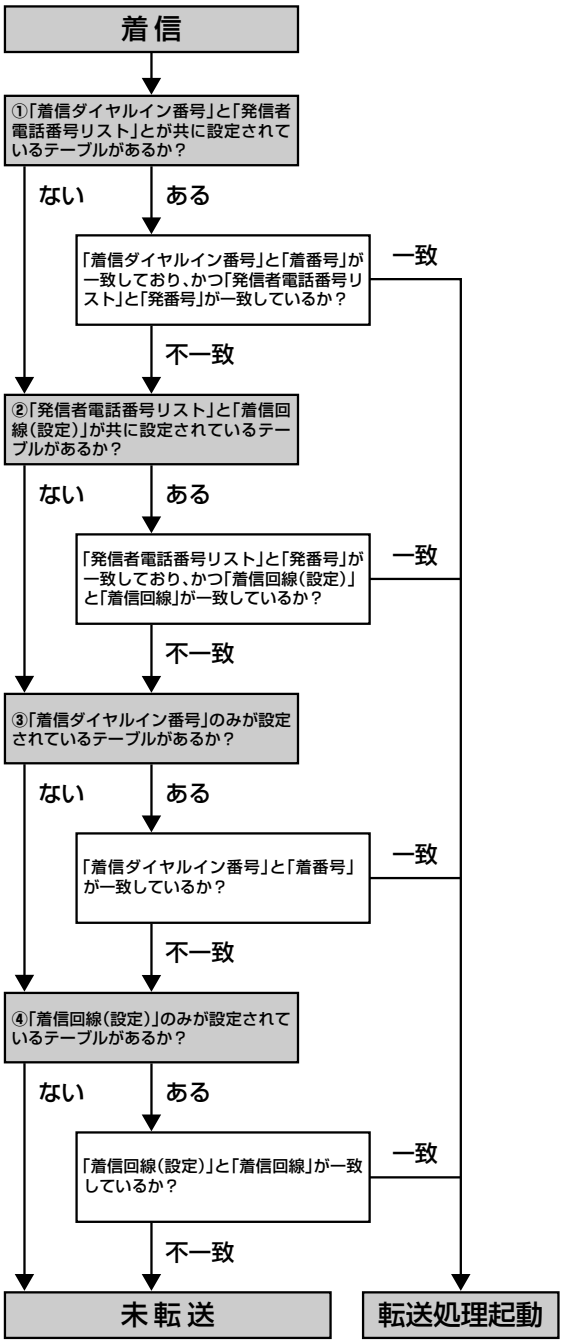
お知らせ

- 転送先への発信は、発信規制の対象とはなりません。
- G2、G3FAXは転送電話の対象とはなりません。G4FAX着信呼は転送電話の対象とならず、着信を拒否します。非制限ディジタルでの着信呼については転送電話の対象とはなりません。

転送電話をセットするには

■転送電話の検索順位

外線電話がかかってくると、転送設定に設定されている有効な設定テーブル（☛P78）を検索して転送します。その検索順位は、次のとおりです。



【用語説明】

- 着信ダイヤルイン番号：特定のダイヤルイン番号にかかってきた電話を転送するための設定（☛P79）
- 発信者電話番号リスト：特定の相手からかかってきた電話を転送するための設定（☛P78）
- 着信回線（設定）：特定の回線に着信した電話を転送するための設定（☛P79）
- 発番号：発信者側の電話番号
- 着番号：発信者がかけた電話番号
- 着信回線：着信があった回線

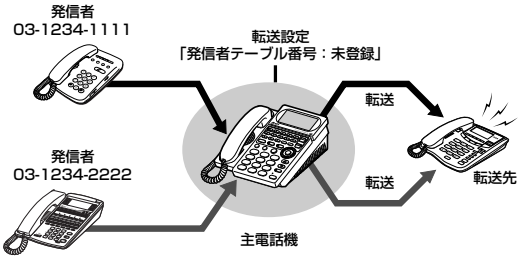
■転送電話を設定したときにリモコン操作をする場合

転送電話を設定して、外出先からリモコン操作を行いたい場合は、次の2点に注意してください。

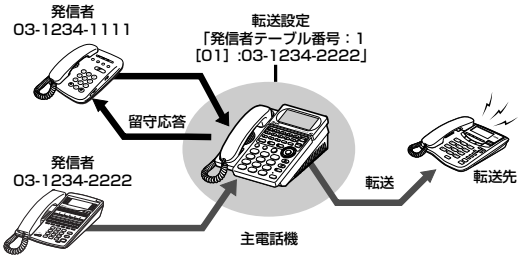
- 外出先からリモコン操作を行う場合、「転送設定」で「発信者電話番号リスト」を未登録にしない。
- リモコン操作を行う電話番号は、「発信者電話番号リスト」に登録しない。

「転送設定」で「発信者電話番号リスト」のテーブル番号を設定していないとき（未登録のとき）は、外出先からかかった「転送先リスト」に登録されている電話以外はすべて転送先に転送されます。電話をかけてリモコン操作しようとしても、その電話も転送されてしまいます。そのため、外出先からリモコン操作を行う場合は、リモコン操作を行う電話を「転送先リスト」に登録するか、「発信者電話番号リスト」に、リモコン操作を行う電話番号以外の番号を登録してください。どちらも未登録のままでは、リモコン操作をすることができません。

●転送設定で発信者テーブル番号が未登録のとき



●転送設定で発信者テーブル番号を登録しているとき



お知らせ

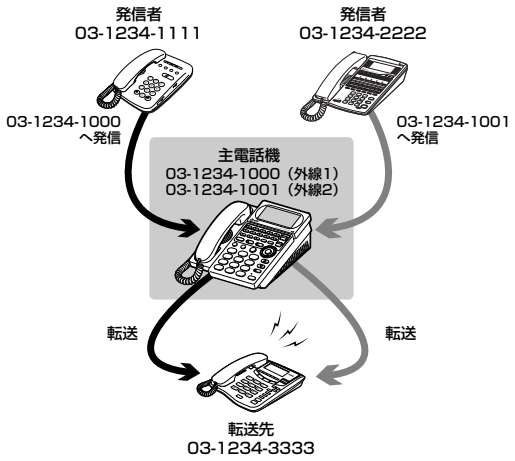
●ナンバー・ディスプレイ契約のない回線では、リモコン操作で転送設定を停止することができない場合があります。

転送電話の設定例

転送電話の設定を、次の2つの例で説明します。
・かかってきた電話をすべて転送する（このページ）
・特定の相手先からの電話を転送する（☛P86）

かかってきた電話をすべて転送する

外線にかかってきた電話をすべて（ただし、転送先リストに登録されている電話は除く）転送する設定例を説明します。
ここでは、次のように設定する場合で説明します。
・転送する外線：外線1、外線2（どちらにかかってきても転送する）
・転送先電話番号：03−1234−3333
また、転送先リストと転送設定のテーブル番号を、ここでは「1」とする設定で説明します。テーブル番号は、任意に設定できます。



■作業の流れ

1 転送先リストに登録する
・テーブル番号「1」として登録
・転送先電話番号を設定する

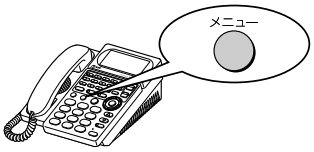
2 転送の条件を転送設定に登録する
・テーブル番号「1」として登録
・転送される外線を設定する
・転送先リストのテーブル番号を設定する
・転送に使う外線を設定する

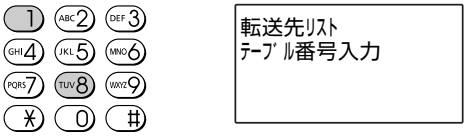
3 転送電話をセットする
・転送設定のテーブル番号を選択する
・外線転送利用選択で「有り」を選択する

4 転送を解除する
・外線転送利用選択で「無し」を選択する

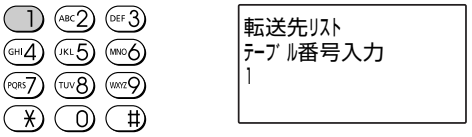
転送先リストに登録する

1 メニューボタン、①⑧①を押す。
転送先リストのテーブル番号入力の画面が表示されます。

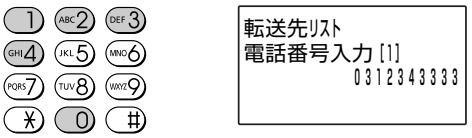




2 転送先リストのテーブル番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。
設定例は、テーブル番号を「1」と設定するため①を押します。



3 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。
設定例では、「0312343333」と設定します。



続けて、転送先をあと2件登録できます。ただし、ここでは転送先を1件と設定するため、メニューボタンを押します。
次に転送設定を行います。

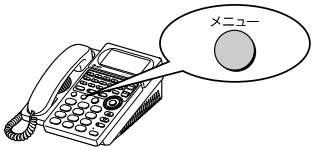
登録 ▶ *携帯電話番号を登録するには（☛P102）*

転送電話の設定例

転送の条件を転送設定に登録する

1 **メニューボタン、1 8 3を押す。**

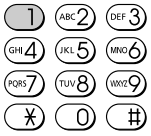
転送設定のテーブル番号入力の画面が表示されます。



```
転送設定
ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
```

2 **転送設定のテーブル番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

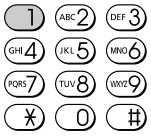
設定例は、テーブル番号を「1」と設定するため1を押します。



```
転送設定
ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
1
```

3 **着信する回線の転送条件を選択します。**

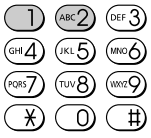
設定例は、着信回線に外線を設定するため1を押します。



```
転送条件選択
1:着信回線指定
2:着信DI指定
```

4 **着信する外線を選択し、決定ボタンを押す。**

設定例は、外線1、外線2を設定するので、1とABC2を押します。



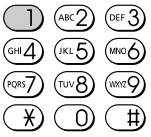
```
転送設定
着信外線ﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ入力
1 2
```

5 **発信者テーブル番号入力では、何も入力せずに決定ボタンを押す。**

```
転送設定
発信者ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
```

6 **「転送先リスト」で設定したテーブル番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

設定例では、「転送先リストに登録する」で登録した転送先リストのテーブル番号が「1」なので1を押します。



```
転送設定
転送先ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
1
```

7 **外線を転送するときに発信する外線番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

設定例では、外線1にかかってきたときは外線2、外線2にかかってきたときは外線1を使うため1とABC2を押します。

```
転送設定
転送発信外線ﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ
1 2
```

8 **転送時内線呼出選択では、0（0：無し）を押す。**

外線に転送すると同時に内線電話機も呼び出すかどうかの設定ですが、ここでは呼び出さない（0：無し）と設定します。

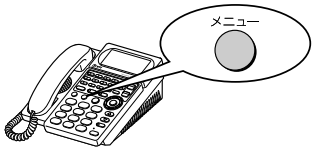
```
転送時内線呼出選択
0:無し
1:有り
```

次に転送電話をセットします。

転送電話をセットする

1 **メニューボタン、②④①を押す。**

「外線転送登録設定」が表示されます。



```
外線転送登録設定
ﾃｰﾌﾞﾙﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ入力
-----
```

2 **転送設定（☛P84）のテーブル番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

設定例では、「転送設定に登録する」で登録した転送設定のテーブル番号が「1」なので①を押します。

```
外線転送登録設定
ﾃｰﾌﾞﾙﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ入力
1-----
```

3 **②を押して「外線転送利用選択」を表示させ、①（1：有り）を押す。**

```
外線転送利用選択
0:無し
1:有り
```

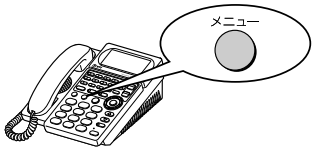
外線への転送が設定されました。クリアボタンを押すとカレンダ・時計表示に戻ります。

転送電話が設定されると、ディスプレイに「転」のアイコンが表示されます。

```
12月19日(火) 午後 3:05
 1 内線1
                  転
```

転送電話を解除する

1 **メニューボタン、②④②を押す。**



```
外線転送利用選択
0:無し
1:有り
```

2 **「外線転送利用選択」が表示されたら、⓪（0：無し）を押す。**

外線への転送が解除されました。クリアボタンを押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。転送電話が解除されると、ディスプレイの「転」のアイコンが消えます。

ワンポイント

●解除した転送電話を、もう一度設定するには

解除した転送電話を、再び同じ転送先に設定するには、「転送電話を解除する」の手順1の操作を行い、手順2で①を押して「1：有り」を選択します。ディスプレイに「転」のアイコンが表示されます。異なった転送先に設定する場合は、「転送先リストに登録する」からの操作を行います。

●転送先を複数登録するには

「転送先リスト」の1つのテーブルには転送先を合計3件登録することができます。1件目に登録した転送先に転送が行われなかったときに2件目、3件目に登録した転送先に転送することができます。

●転送の詳細な設定をするには

- 外線がかかってきて転送するまでの時間を設定することができます。外線転送開始タイマ（☛P118）
- 転送先の呼出時間を設定することができます。外線転送呼出時間（☛P119）
- 転送先で通話できる時間を設定することができます。回線強制切断時間（☛P119）

お知らせ

●この設定例では、外出先などからリモコン操作を行う電話をかけると、その電話も転送されてしまいます。リモコン操作を行う場合、「発信者電話番号リスト」にリモコン操作を行う以外の電話番号を登録するか、リモコン操作を行う電話番号を「転送先リスト」に登録してください。詳しくは78ページを参照してください。

●この設定例のように、かかってきた電話をすべて転送する場合は、外線転送開始タイマ（☛P118）を在宅自動応答（☛P124）の応答時間の50秒より短い時間に設定してください。また、外線転送開始タイマを設定したときは、転送時内線呼出（☛P79）を「無し」に設定してください。

●留守番電話の設定と在宅自動応答を「無し」に設定した場合、リモコン操作を行うことができません。

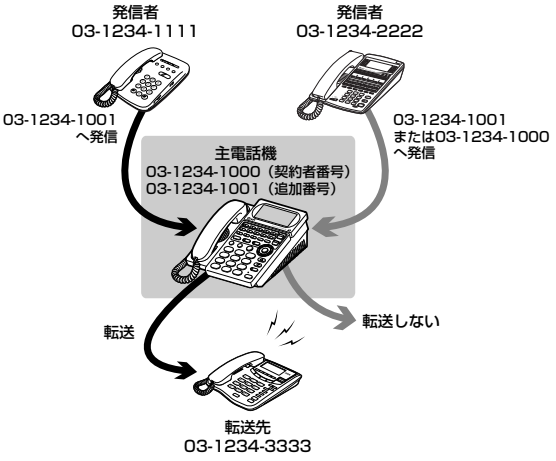
転送電話の設定例

特定の相手先から特定のダイヤルイン番号にかかってきた電話を転送する

特定の相手先からINSダイヤルインや i・ナンバーを利用した特定の番号にかかってきた電話を転送する設定例を説明します。ここでは、次のように設定する場合で説明します。

・使用している外線：外線1、外線2
・転送する外線：i・ナンバー追加番号 03−1234−1001
・相手先電話番号：03−1234−1111
・転送先電話番号：03−1234−3333

また、転送先リスト、発信者電話番号リストのテーブル番号を「1」、転送設定のテーブル番号を「2」とする設定で説明します。テーブル番号は、任意に設定できます。



■作業の流れ

1　転送先リストに登録する

・テーブル番号「1」として登録
・転送先電話番号を設定する

2　発信者の電話番号を登録する

・テーブル番号「1」として登録
・相手先電話番号を設定する

3　転送の条件を転送設定に登録する

・テーブル番号「2」として登録
・転送される外線を設定する
・発信者電話番号リスト、転送先リストのテーブル番号を設定する
・転送に使う外線を設定する

4　転送電話をセットする

・転送設定のテーブル番号を選択する
・外線転送利用選択で「有り」を選択する

5　転送電話を解除する

・外線転送利用選択で「無し」を選択する

転送先リストに登録する

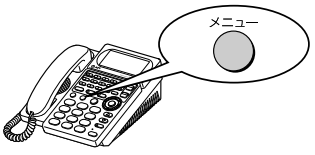
1　「かかってきた電話をすべて転送する」の「転送先リストに登録する」（☛P83）の手順にしたがって、転送先リストにテーブル番号と転送先の電話番号を設定します。

次に発信者番号リストに相手先電話番号を登録します。

発信者の電話番号を登録する

1　メニューボタン、①⑧②を押す。

発信者電話番号リストのテーブル番号入力の画面が表示されます。



発信者電話番号ﾘｽﾄ
ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力

2　発信者電話番号リストのテーブル番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

設定例は、テーブル番号を「1」と設定するため①を押します。

発信者電話番号ﾘｽﾄ
ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
1

3　発信者（相手先）の電話番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

設定例では、「0312341111」と設定します。

発信者電話番号ﾘｽﾄ
電話番号入力[01]
0312341111

続けて、発信者をあと9件登録できます。ただし、ここでは発信者を1件と設定するため、メニューボタンを押します。
次に転送設定を行います。

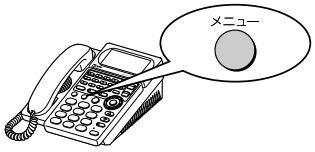
ワンポイント

●i・ナンバーを利用するには（☛P62）

転送の条件を転送設定に登録する

1 **メニューボタン、1 8 3を押す。**

転送設定のテーブル番号入力の画面が表示されます。



1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

```
転送設定
ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
```

2 **転送設定のテーブル番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

設定例は、テーブル番号を「2」と設定するため2を押します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

```
転送設定
ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
2
```

3 **転送条件を回線にするかダイヤルイン番号にするか選択します。**

設定例は、i・ナンバーの追加番号にかかってきた電話を転送するため2を押します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

```
転送条件選択
1:着信回線指定
2:着信DI指定
```

4 **転送したいダイヤルイン番号を入力して、決定ボタンを押す。**

設定例は、「0312341001」をダイヤルボタンで押します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

```
転送設定
着信ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号入力
0312341001
```

5 **発信者電話番号リストのテーブル番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

設定例では、「発信者電話番号リストに登録する」で設定した発信者電話番号リストのテーブル番号が「1」なので1を押します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

```
転送設定
発信者ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
1
```

6 **「転送先リスト」で設定したテーブル番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

設定例では、「転送先リストに登録する」で設定した転送先リストのテーブル番号が「1」なので1を押します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

```
転送設定
転送先ﾃｰﾌﾞﾙ番号入力
1
```

7 **外線を転送するときに発信する外線番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

外線1にかかってきたときは外線2、外線2にかかってきたときは外線1を使うため1と2を押します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

```
転送設定
転送発信外線ﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ
12
```

8 **転送時内線呼出選択では、0（0：無し）を押す。**

外線に転送すると同時に内線電話機も呼び出すかどうかの設定ですが、ここでは呼び出さない（0：無し）と設定します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

```
転送時内線呼出選択
0:無し
1:有り
```

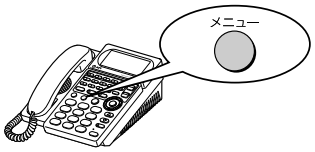
次に転送電話をセットします。

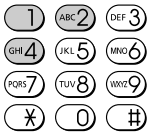
転送電話の設定例

転送電話をセットする

1 **メニューボタン、②④①を押す。**

「外線転送登録設定」が表示されます。





```
外線転送登録設定
ﾃｰﾌﾞﾙﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ入力
-----
```

2 **転送設定のテーブル番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。**

設定例では、「転送設定に登録する」で登録した転送設定のテーブル番号が「2」なので②を押します。

```
外線転送登録設定
ﾃｰﾌﾞﾙﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟ入力
-2---
```

3 **②を押して「外線転送利用選択」を表示させ、①（1：有り）を押す。**

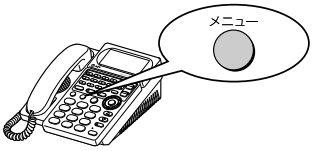
```
外線転送利用選択
0:無し
1:有り
```

外線への転送電話が設定されました。クリアボタンを押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。
転送電話が設定されると、ディスプレイに「転」のアイコンが表示されます。

```
12月19日(火)  午後 3:05
 1 内線1
                    転
```

転送電話を解除する

1 **メニューボタン、②④②を押す。**



```
外線転送利用選択
0:無し
1:有り
```

2 **「外線転送利用選択」が表示されたら、0（0：無し）を押す。**

外線への転送電話が解除されました。クリアボタンを押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。転送電話が解除されると、ディスプレイの「転」のアイコンが消えます。

ワンポイント

●**解除した転送電話を、もう一度設定するには**
解除した転送電話を、再び同じ転送先に設定するには、「転送電話を解除する」の手順1の操作を行い、手順2で①を押して「1：有り」を選択します。転送電話が設定されるとディスプレイに「転」のアイコンが表示されます。
異なった転送先に設定する場合は、「転送先リストに登録する」からの操作を行います。

●**相手先の電話番号を複数登録するには**
「発信者電話番号リスト」の1つのテーブルには、相手先を合計10件登録することができます。

●**転送電話の詳細な設定をするには**
・外線がかかってきて転送するまでの時間を設定することができます。外線転送開始タイマ（☛P118）
・転送先の呼出時間を設定することができます。外線転送呼出時間（☛P119）
・転送先で通話できる時間を設定することができます。回線強制切断時間（☛P119）

お知らせ

●この設定例で、特定の相手先以外からの電話を留守番電話で対応する場合は、留守番電話を設定してください。また、留守番電話をセットしていない場合でも在宅自動応答（☛P124）が「有り」に設定されていると、着信後、約50秒で応答します。

INSボイスワープを利用するには

INSボイスワープをご利用いただくときに、次のすべてについて利用者の方が直接設定することができます。

①転送サービスの開始（転送方法の選択）／停止
②転送先電話番号の登録
③転送先リストの選択（転送先の選択）
④無応答時の転送の起動時間（転送待ち時間）の設定
⑤リモートコントロール機能の設定（暗証番号の設定）
⑥転送トーキの設定
⑦転送元電話番号通知の設定

なお、INSボイスワープをご利用いただくには、別途当社との利用契約（有料）が必要です。

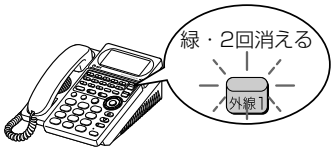
転送先電話番号を登録する

〈例〉転送先リスト0へ登録する場合

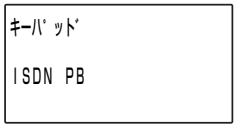
外線ランプが消えていることを確認して…

1 ハンドセットを取りあげる。
「プープープー…」という音を確認してください。

2 外線1ボタンまたは外線2ボタンを押す。
「ツー」という発信音を確認してください。



3 1 4 2 2 #を押す。



4 転送先電話番号を押す。
約6秒で登録が終わります。

5 ハンドセットを置く。

お知らせ

- INSボイスワープをご利用いただく場合は「発アドレス設定」または「収容回線番号設定」を設定する必要があります。（☛P113）
- 転送先電話番号は、当社の交換機に登録されますので、転送サービスをセット中に停電になっても、電話は転送されます。
- 手順4で押す電話番号はあらかじめフレキシブルキーに登録しておき、フレキシブルキーを押すことでも入力できます。
- 手順3で#を押さなくても、約5秒後に自動的に発信します。
- 登録や設定を行うための番号を押すときは、ディスプレイに「キーパッド」と表示されているときのみ有効です。表示されていない場合は、機能ボタン、キーパッド送出モード切替用の番号(¥¥)を押してから、登録や設定を行うための番号を押してください。
- 転送先リスト1～4への登録や転送先の選択など左記以外の操作を行うときは、INSボイスワープの特番、#を押したあと、音声ガイダンスにしたがって、登録や設定を行うための番号を押してください。
  ＜例＞転送先リスト1～4へ登録する場合
  ①ハンドセットを取りあげる。
  ②外線1ボタンまたは外線2ボタンを押す。
  ③1 4 2 4 #を押す。
  ④音声ガイダンスにしたがって、0を押す。
  ⑤転送先リスト（1～4）を押す。
  ⑥転送先電話番号を押し、登録が終わります。
  ⑦ハンドセットを置く。
- INSボイスワープの特番、登録や設定を行うための番号など、INSボイスワープについて、詳しくは局番なしの116番（無料）または当社の営業所等へお問い合わせください。

お待たせメッセージを利用するには

外からの電話にすぐに出られないときなどに、お待たせメッセージ「まもなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、のちほどおかけ直しください」を流し、出られるようになるまで相手の方に待っていただくことができます。

お待たせメッセージを利用するための準備

■お待たせボタンを登録する

お待たせメッセージを流すときに使用するボタンを、フレキシブルキー1～10のいずれかに登録しておきます。登録のしかたは、「外線機能を登録する」（☛P93）を参照してください。手順4で「4:お待たせ」を選択します。

■お待たせ中着信音を設定する

お待たせメッセージを流している間に鳴らす着信音を設定できます。通常の外線着信音と別の着信音を設定して、お待たせメッセージ機能が起動していることがわかるようにします。
設定は「お待たせ中着信音」（☛P116）で行います。

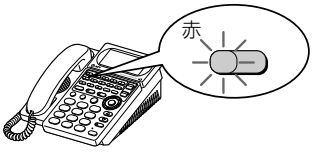
■長時間出られないときは切断できるようにする

「保留警報音送出タイマ」（☛P116）と「保留切断タイマ登録」（☛P129）を設定してください。設定した時間が経過すると、「おつなぎできませんでした。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」のメッセージを流して、回線を切断します。
アナログ回線ご利用の場合は、「お待たせ呼出回数」（☛P116）で設定した時間が経過するか、「保留警報音送出タイマ」（☛P116）と「保留切断タイマ登録」（☛P129）で設定した時間が経過すると回線を切断します。

お待たせメッセージを使う

1 **着信音が鳴り、外線ランプが点滅する。**

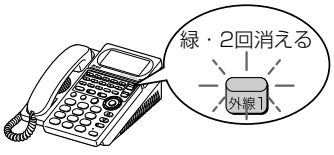
2 **お待たせボタンを押す。**
お待たせランプが赤点灯します。



3 **6秒以内に赤点滅している外線ボタンを押す。**
相手の方にお待たせメッセージが流れます。その後、保留メロディが流れます。

着信音が変わり、相手の方をお待たせしていることがわかります。
お待たせランプは消灯します。

4 **電話に出られるようになったら、保留中の外線ボタンを押す。**



5 **ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しする。**

6 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

- **お待たせメッセージを流す回数を変えるには**
  「お待たせメッセージ回数」（☛P116）で1～5回に設定できます。（初期値は2回）
- **お待たせボタンを押した内線電話機以外の内線電話で出るには**
  どの内線電話機からでも、保留中の外線ボタンまたは外線2ボタンを押してハンドセットを取りあげると、電話に出ることができます。

お知らせ

- お待たせボタンを押してから、着信中の外線ボタン以外のボタンを押したり、6秒以上着信中の外線ボタンが押されなかったときは、お待たせメッセージ機能は起動しません。お待たせランプは消灯します。
- お待たせメッセージは、データ設定中以外（待機中、外線通話中、内線通話中など）であれば起動可能です。データ設定は、クリアボタンを押すか、◁：戻るボタンを2秒以上押すと、中断できます。
- お待たせメッセージ機能が起動しない場合
  ・留守番電話が起動中
  ・ファクス／電話切替にてガイダンス再生中
  ・主電話機にてメニュー操作中
  などがあります。
- 転送電話機能が起動中の回線にお待たせ機能が起動した場合、転送電話機能は終了します。
- ファクス／電話切替機能が起動中の場合、ファクス着信を検出すると、お待たせメッセージは終了します。
- お待たせメッセージ機能が起動中に留守応答した場合は、お待たせメッセージ機能は終了します。

フレキシブルキーに内線番号や機能を登録するには

フレキシブルキーには、電話番号のほか、内線番号やいろいろな機能を登録することができます。内線番号を登録すると、フレキシブルキーを押すだけで、特定の内線電話機の呼び出しが行えます。また、機能を登録することにより、複数の操作をフレキシブルキーで行うことができます。1つのフレキシブルキーには、電話番号、内線番号、機能のどれか1つを登録できます。登録は各内線電話機ごとに行います。

内線番号を登録する

1 メニューボタン、(ABC2)(JKL5)を押して「2:ワンタッチ内線機能登録」を表示させる。

(1) (ABC2) (DEF3)
(GHI4) (JKL5) (MNO6)
(PQRS7) (TUV8) (WXYZ9)
(＊) (0) (＃)

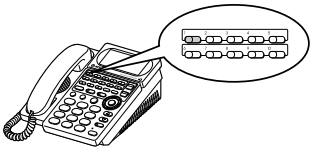
```
1:ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
2:ﾜﾝﾀｯﾁ内線機能登録
3:ﾜﾝﾀｯﾁ外線機能登録
```

2 (ABC2)を押す。

(1) (ABC2) (DEF3)
(GHI4) (JKL5) (MNO6)
(PQRS7) (TUV8) (WXYZ9)
(＊) (0) (＃)

```
登録するﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝを
押してください
```

3 内線番号を登録するフレキシブルキー（ワンタッチボタン）を押す。



4 「1：内線呼出」を表示させ、(1)を押す。

(1) (ABC2) (DEF3)
(GHI4) (JKL5) (MNO6)
(PQRS7) (TUV8) (WXYZ9)
(＊) (0) (＃)

```
機能選択
1:内線呼出
2:ﾄﾞｱﾎﾝ呼出
3:一斉呼出
```

```
機能選択
4:受話増
```

5 内線番号（1～8）をダイヤルボタンで押し、(決定)ボタンを押す。

(1) (ABC2) (DEF3)
(GHI4) (JKL5) (MNO6)
(PQRS7) (TUV8) (WXYZ9)
(＊) (0) (＃)

```
ﾜﾝﾀｯﾁ内線機能登録
内線番号入力
```

内線番号がフレキシブルキーに登録されます。
続けてフレキシブルキーに内線番号を登録する場合は、手順2からの操作を繰り返します。
登録を終了する場合は、(クリア)ボタンを押します。

ワンポイント

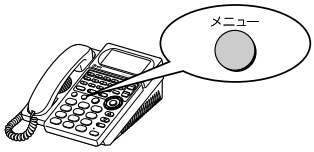
- **内線番号を登録したフレキシブルキーを押して内線電話機を呼び出すには**
  ハンドセットを取りあげてからかける場合も、ハンドセットを置いたままかける場合も、フレキシブルキーを押します。
- **内線の一斉呼出を設定するには**
  ① 手順3で一斉呼出を登録するフレキシブルキーを押す。
  ② 手順4で(DEF3)（3:一斉呼出）を押す。
- **ドアホン呼出を設定するには**
  ① 手順3でドアホン呼出を登録するフレキシブルキーを押す。
  ② 手順4で(ABC2)（2:ﾄﾞｱﾎﾝ呼出）を押す。
  ③ 手順5でドアホン番号（(1)または(ABC2)）を押す。

お知らせ

- 内線番号をフレキシブルキーに登録した場合、フレキシブルキーを押したときにディスプレイには内線の名称と内線番号が表示されます。
- 同一電話機で、複数のフレキシブルキーに同じ機能を登録することはできません。

外線機能を登録する

1 メニューボタン、(ABC2)(JKL5)を押して「3:ワンタッチ外線機能登録」を表示させる。



(1)(ABC2)(DEF3)
(GHI4)(JKL5)(MNO6)
(PQRS7)(TUV8)(WXYZ9)
(*)(0)(#)

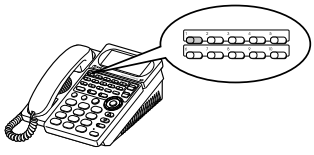
```
1:ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
2:ﾜﾝﾀｯﾁ内線機能登録
3:ﾜﾝﾀｯﾁ外線機能登録
```

2 (DEF3)を押す。

(1)(ABC2)(DEF3)
(GHI4)(JKL5)(MNO6)
(PQRS7)(TUV8)(WXYZ9)
(*)(0)(#)

```
登録するﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝを
押してください
```

3 機能を登録するフレキシブルキー(ワンタッチボタン)を押す。



4 登録する機能を▽ボタンまたは△ボタンで選択する。

```
機能選択
1:ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ送出
2:外線転送利用
3:転送設定
```

```
機能選択
4:お待たせ
```

「3:転送設定」を選択した場合は、(決定)ボタンを押したあと、転送設定（☛P87）の手順2のテーブル番号1～5をダイヤルボタンの(1)～(JKL5)で押します。

5 (決定)ボタンを押す。

機能がフレキシブルキーに登録されます。
続けてフレキシブルキーに機能を登録する場合は、手順2からの操作を繰り返します。
登録を終了する場合は、(クリア)ボタンを押します。

ワンポイント

●フレキシブルキーに機能を登録したときは
電話機用シールをフレキシブルキーの上に貼ってお使いください。（☛P128）

お知らせ

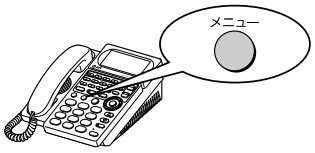
- フレキシブルキーに内線番号や機能を登録していない場合、フレキシブルキーを押したときにディスプレイにはそのフレキシブルキーの番号と「未登録」と表示されます。
- すでにワンタッチダイヤルを登録しているフレキシブルキーに内線番号や機能を登録すると、もとの登録内容は消えてしまいます。
- 停電になったときでも登録内容は消去されません。
- 同一電話機で、複数のフレキシブルキーに同じ機能を登録することはできません。
- アナログ回線時は、外線転送利用と転送設定は登録できません。

(登録) ▶ *フレキシブルキーに登録できる機能は（☛P103）*

電話機ごとに名前を登録するには（内線ネーム登録）

内線電話機を使っている人の名前や部屋名などを登録することができます。名前を登録しておくと、内線で呼び出されたときにどの内線電話機から呼ばれているかがわかりやすくなり便利です。名前の登録は、主電話機で行います。

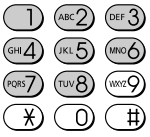
1 メニューボタン、①(PQRS7)を押して「1:内線ネーム登録」を表示させる。




```
1:内線ﾈｰﾑ登録
2:ﾄﾞｱﾎﾝﾈｰﾑ登録
3:内線呼出音設定
4:通話中呼出設定
```

2 ①を押す。

3 名前を登録する内線の番号（①～(TUV8)）を押し、決定ボタンを押す。



```
内線ﾈｰﾑ登録
内線番号入力
```

4 名前を入力する。（全角8文字、半角16文字）

名前を入力する。（☛P35）

```
内線ﾈｰﾑ登録
鈴木
[かな]
```

5 決定ボタンを押す。

名前が登録されます。
続けて内線番号を登録する場合は、手順2からの操作を繰り返します。
登録を終了する場合は、クリアボタンを押します。

ワンポイント

●内線ネームを登録すると

内線で呼び出されたときに、ディスプレイの上段に登録した名前が表示されます。
お買い求め時は、「内線1」～「内線8」が登録されています。すでに登録されている名前を変更する場合、手順4でクリアボタンを押して1文字ずつ削除したあとに新しい名前を登録します。

```
鈴木
                1
```

● ドアホンに名前を登録するには

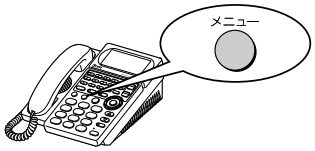
①手順2で(ABC2)（2：ドアホンネーム登録）を押す。
②手順3でドアホン番号（①、(ABC2)）を押し、決定ボタンを押す。
③名前を入力して決定ボタンを押す。
お買い求め時は、「ドアホン1」「ドアホン2」が登録されています。

登録 ▶ *主電話機以外の内線ネームを変更したときは（☛P102）*

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用するには（事業者識別番号付与）

システム設定で、携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号をダイヤルした携帯電話番号の前に自動付与する設定（事業者識別番号設定、事業者識別番号自動付与回線）ができます。この事業者識別番号付与を有効にするかどうかを、各内線電話機で設定することができます。

1 メニューボタン、(ABC2)(ABC2)を押して「1：事業者識別番号付与」を表示させる。



(1) (ABC2) (DEF3)
(GHI4) (JKL5) (MNO6)
(PQRS7) (TUV8) (WXYZ9)
(＊) (0) (＃)

```
1:事業者識別番号付与
```

2 (1)を押す。

(1) (ABC2) (DEF3)
(GHI4) (JKL5) (MNO6)
(PQRS7) (TUV8) (WXYZ9)
(＊) (0) (＃)

3 事業者識別番号付与を設定する外線番号をダイヤルボタンで押し、(決定)ボタンを押す。

(1) (ABC2) (DEF3)
(GHI4) (JKL5) (MNO6)
(PQRS7) (TUV8) (WXYZ9)
(＊) (0) (＃)

```
事業者識別番号付与
外線番号入力(1～2)
```

4 システム設定で登録した事業者識別番号を自動付与するには、(1)を押す。

「1：」に表示されている数字が、システム設定でその回線に登録されている事業者識別番号です。
システム設定に登録した事業者識別番号を自動付与しないときは、(0)（0：無し）を押します。

(1) (ABC2) (DEF3)
(GHI4) (JKL5) (MNO6)
(PQRS7) (TUV8) (WXYZ9)
(＊) (0) (＃)

```
事業者識別番号付与
0:無し
1:00XX*1
```

「1：未登録」と表示されているときは、システム設定でその回線に事業者識別番号が設定されていません。事業者識別番号の設定については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

＊1　システム設定で設定している事業者識別番号

続けてもう一方の外線番号を設定する場合は、手順2からの操作を繰り返します。設定を終了する場合は、(クリア)ボタンを押すとカレンダ・時計表示に戻ります。
システム設定で登録した事業者識別番号を自動付与する設定を選択したときは、携帯電話のアイコンがディスプレイに表示されます。

```
12月19日(火)  午後 3:05
 1 内線1
```

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用するには（事業者識別番号付与）

ワンポイント

●**事業者識別番号付与時の電話のかけかた**

・事業者識別番号付与を有効にしているとき
（事業者識別番号：**00XX**）

ダイヤルした番号	発信される番号
090-1234-5678	→**00XX**-090-1234-5678
184-090-1234-5678	→184-**00XX**-090-1234-5678
00XX-090-1234-5678	→**00XX**-090-1234-5678

※自動付与される事業者識別番号は、ディスプレイの1行目に表示されます。

・事業者識別番号付与を「0：無し」にしているとき
（事業者識別番号：**00XX**）

ダイヤルした番号	発信される番号
090-1234-5678	→090-1234-5678
184-090-1234-5678	→184-090-1234-5678
00XX-090-1234-5678	→**00XX**-090-1234-5678

●**事業者識別番号付与を有効にしているときに、事業者識別番号を付加しないで発信するには**

携帯電話番号の前に「0000」（事業者識別番号付与解除番号）をダイヤルします。この場合、従来どおり各携帯電話会社が設定する料金でのご利用となります。事業者識別番号付与を「0：無し」にしている場合、携帯電話番号の前に「0000」をダイヤルしたときは、携帯電話に通話することはできません。

お知らせ

●事業者識別番号付与は、PHSへの通話にはご利用いただけません。また、携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など一部ご利用いただけない番号があります。留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話などには「0000」（事業者識別番号付与解除番号）を付けてダイヤルしてください。

●PBXやCESの内線に接続されているときは、事業者識別番号は付加されません。

●お買い求め時は、事業者識別番号を自動付与する携帯電話番号の範囲（事業者識別番号設定）がすでに設定されています。事業者識別番号設定は最初の4桁で設定しており、「0801～0809、0901～0909」が設定されています。事業者識別番号設定が変更、追加された場合、変更、追加することができます。（☛P114）ただし、2006年12月現在、この操作を行う必要はありません。また、お買い求め時に設定されている事業者識別番号設定を、追加・変更・削除すると、正常に携帯電話へ発信できない場合があります。

●事業者識別番号付与を有効にしている場合、53桁（事業者識別番号を含む）を超えてダイヤルした場合、先頭から53桁までのダイヤルで発信されます。

●事業者識別番号付与を有効にしている場合、システム設定でその回線の事業者識別番号を変更したときは、事業者識別番号付与の番号が変更されるだけで、事業者識別番号付与の設定はそのまま有効となります。
また、事業者識別番号付与を有効にしている場合、システム設定でその回線の事業者識別番号をクリアしたときは、事業者識別番号付与は強制的に「0：無し」と設定されます。

●通話中または発信中にフックボタンの操作を行ったあと、ダイヤル操作では事業者識別番号の自動付与は行われません。（トリオホンなどをご利用の場合）

●上位にIP電話用アダプタを使用している場合は、事業者識別番号付与を「0：無し」に設定してください。

より便利に使うには

この電話機のその他の機能を利用した、便利な使い方をご紹介します。用途に応じてお使いください。

■主電話機だけの便利な機能

	機　能	こんなときに	このように操作します
1	**外の相手の方とのお話しを録音するには（通話中録音）**	外の相手の方とのお話し中に、覚えておきたい用件をメモ代わりに録音しておきたい	お話し中に 留守操作 → 10 録音 → 録音を止めるときは 9 停止
2	**相手を確かめてから電話に出るには（居留守応答）**	かかってきた電話に、留守番電話で応答し、相手を確かめてから電話に出たい	電話がかかってくると留守番電話が応答する 相手の方の声を確認する → 電話を切ったあとも留守番電話はセットされています ※居留守応答は「留守モニタ」（☛P124）の設定を「有り」にしないと行えません。

お知らせ

- お話し中に留守操作ボタンを押すと、録音可能時間の目安がディスプレイに表示されます。録音できる時間がないときは、ディスプレイに「録音エリア満杯」と表示され、通話中録音はできません。
- 留守操作表示ランプが点灯中に留守操作ボタンを押すと、ランプが消え、操作できません。このときは、もう一度、留守操作ボタンを押して留守操作表示ランプの点灯を確認し、操作してください。
- 録音中に電話を切る、他の空いている外線ボタンを押すか、または保留にすると録音は終了します。
- アキュムレート録音が「無し」に設定されているときに（☛P123）、留守番電話をセットすると通話中録音した内容は消去されます。
- 居留守応答で留守転送を「有り」に設定していても（☛P124）、録音後、外出先への自動転送は行われません。
- 音楽等は原音どおりに録音されないことがあります。
- 相手の方に無断で通話を録音すると、個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。相手の方にお断りのうえ、録音してください。
- 1件の通話中に録音ボタン、停止ボタンを繰り返して押すことで、複数個の通話録音ができます。ただし、約1秒以内の録音は登録されません。
- ハンドセットを置いたままお話ししているときは（ハンズフリー通話）、自分の声がうまく録音されないことがあります。会話を録音するときはハンドセット通話でお使いください。
- 居留守応答で電話に出るまでに録音された内容は、1件分の用件として数えられます。

ワンポイント

- **通話中録音した内容を消去するには（☛P46）**
- **通話中録音で会話を録音できる時間は**
  最大で約15分（応答メッセージ録音、用件録音を含みます）です。録音が「満杯」になると、録音が止まります。
- **通話中録音を聞きたい場合は**
  電話を切ったあと、留守操作ボタン、再生ボタンを押してください。再生を停止する場合は停止ボタン、留守操作ボタンを押してください。

より便利に使うには

■主電話機と標準電話機の便利な機能

	機　能	こんなときに	このように操作します
3	**キャッチホンサービスを利用する（アナログ回線をご利用の場合）**	お話し中にかかってきた別の電話にも出たい（当社の「キャッチホン」（有料）を契約する必要があります）	お話し中に「キャッチホン」の信号音が聞こえたら → フック → あとからかけてきた相手の方とお話しする → はじめにお話ししていた方とのお話しに戻るときはもう一度 フック
4	**プッシュホンサービスを利用する（DP→PB切替）（アナログ回線をご利用の場合）**	ダイヤル回線に接続しているが、各種プッシュホンサービスを利用したい	電話をかけ、つながったら ＃ → 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 ＃

お知らせ

- アナログ回線でキャッチホンサービスおよびトリオホンサービスを契約していない回線で、お話し中にフックボタンを押すと、電話が切れてしまいますのでご注意ください。
  ISDN回線で、お話し中にフックボタンを押しても電話は切れません。
- INSキャッチホンおよびキャッチホン・ディスプレイには対応しておりません。
- 銀行ANSERサービスなどの一部システムでは、サービスを利用できない場合があります。
- ダイヤル回線をご使用の場合、保留する、または電話を切るとダイヤル信号に戻ります。
- ＃8300番、＃8501番など1桁目が＊や＃の番号を利用するときは、プッシュ回線またはISDN回線の契約が必要です。
- フレキシブルキーにワンタッチダイヤルを登録すると、簡単にプッシュホンサービスをご利用いただけます。登録を行う場合は、＃ボタンのあとにポーズ時間を入れるためのフックボタンを押してください。相手の方が応答するまでの時間に合わせて、フックボタンを追加してください。

ワンポイント

- **プッシュホンサービスの種類**
  - クレジット通話サービス
  - 銀行ANSERサービス
  - ホームテレホンによるテレコントロール
  - 留守番電話へのリモコン操作　など

Q&A

「こんなことがしたい」などといった場合で、お役にたつ便利な操作や操作中の注意点などを、テーマ別に質問形式でまとめています。本文中から、アイコンを目印にして簡単に参照できるようになっています。

いろいろな音量を調節する

音　量

Q *着信音の音量を切り替えるには？（着信音量）*

A **ハンドセットを置いたまま、音量▽ボタン、または音量△ボタンを押して調節します。**

音量△ボタンを押すごとに音量が1段階ずつ大きく、音量▽ボタンを押すごとに音量が1段階ずつ小さくなります。着信音を切り替えると、内線呼出音量やドアホンチャイム音量も同時に切り替わります。表示と音量は下の表のようになります。

表示と押すボタン	外線着信音	内線呼出音	ドアホンチャイム
着信音〈〈〈	大	大	大
着信音〈〈	中	中	中
着信音〈	小	小	小
外線着信音ミュート	切	小	切

（2秒以上押す）

音量が最大のとき音量△ボタンを、最小のとき音量▽ボタンを押すと確認音が鳴りますが、音量およびディスプレイの表示は変わりません。

◆ハンドセットを置いたまま音量▽ボタンを2秒以上押すと、音量が「切」になります。

◆音量が「切」になっているとき、外線着信音やドアホンチャイム音は鳴りません。内線から呼び出しがあったときは、内線呼出音（音量レベルは「小」）が鳴ります。

◆音量が「切」になっているとき、音量△ボタンを押して音量を「切」から解除した場合、必ず音量レベルは「小」になります。音量を「切」にする前の音量レベルには戻りません。

Q *スピーカ音量を調節するには？（スピーカ音量）*

A **スピーカ受話中に音量▽ボタンまたは音量△ボタンを押して調節します。**

電話機ごとに、スピーカ音量を8段階に切り替えることができます。

音量△ボタンを押すと大きく、音量▽ボタンを押すと小さくなります。

スピーカ音〈〈〈〈〈〈〈〈
スピーカ音〈

◆調節したスピーカ音量は、スピーカ受話での通話終了後も、もとに戻りません（変更後のレベルを保持）。

Q *ハンドセットでのお話し中、相手の方の声が聞きとりにくいときは？（受話音量）*

A **お話し中に音量▽ボタンまたは音量△ボタンを押して調節します。**

受話音量は、「標準」、「中」、「大」、「特大」の4段階に調整できます。

大きくするときは、お話し中に音量△ボタンを、小さくするときは、音量▽ボタンを押します。

受話音〈〈〈〈　特大
受話音〈〈〈　大
受話音〈〈　中
受話音〈　標準

お買い求め時は、通話終了後も調節した受話音量を保持するように設定されています。

受話音保持設定により、保持する/保持しないを変えることができます。（☛P121）

Q&A

いろいろな音量を調節する

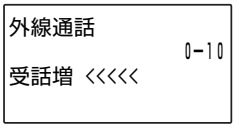
音　量

Q *受話音量を調整しても相手の声が聞き取りにくいときは*

A **受話増機能を使ってさらに大きな音量にすることができます。**

受話増機能で相手の方の声を7段階に調節することができます。
受話増機能は以下の手順で調節してください。
①ハンドセットを耳から離し、音量△ボタンを2秒以上押す。

相手の方の声が大きくなり、設定した音量レベルがディスプレイに表示されます。
<例>レベル5の場合



②音量△ボタン、または音量▽ボタンを押して、適当な音量にしてお話しをする。

お買い求め時は、受話増機能を保持しないように設定されています。
受話増保持設定により、保持する/保持しないを変えることができます。(☛P122)

◆受話音量レベルが「大」のときと受話増機能を使って音量レベルを1にしたときの音量は同じです。
◆受話増機能で大きくした受話音量を通常に戻すには、音量▽ボタンを2秒以上押してください。

⚠注意

音量レベルを大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。受話増機能を使うときは、ハンドセットを耳から少し離し、必ずディスプレイで音量のレベルを確認してからご利用ください。

お知らせ

●受話増機能を使用した場合、「ピー」という音（ハウリング）が聞こえることがあります。

Q *留守番電話の用件録音や通話中録音の録音レベルを調整するには*

A **録音レベルの設定を変更することができます。**

①メニューボタン、DEF3 1 PQRS7を押して、録音レベル選択画面を表示させる。
②録音レベル（0…標準、1…中、ABC2…大）をダイヤルボタンを使って押す。

保留/保留転送する

保留/保留転送

Q *保留/保留転送中に電話機のスピーカから警報音が鳴ったら?*

A **保留している回線の外線1ボタンまたは外線2ボタンを押します。**

Q *保留中の外線を他の外線電話へ転送するには?(ISDN回線のみ)*

A **保留ボタンを押して、転送先へ外線電話をかけて決定ボタンを押します。**

①保留ボタンを押して、かかってきた外線電話を保留にする。
②保留にした外線以外の外線ボタンを押して、転送先の電話番号をダイヤルボタンで押す。
③転送先の電話が応答したら決定ボタンを押す。
転送されると、かかってきた電話と転送先の電話とがつながり、回線強制切断時間(☛P119)の設定にしたがって回線が自動的に切断されます。
なお、アナログ回線からアナログ回線への転送はできません。

その他の機能を使う

ハンズフリー通話

Q *ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話にするには?*

A **お話し中に、マイクボタンとスピカボタンを押します。**
ハンズフリー通話に切り替わり、そのままハンドセットを置いても電話は切れません。
マイクランプが点灯していればマイクはオンの状態です。

Q *ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しをするには?*

A **ハンドセットを取りあげます。**
ハンズフリー通話中にハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話しができるようになります。

Q&A

その他の機能を使う

登録・設定操作

Q *電話番号にポーズ(待ち時間)を入れて登録するには?*

A **ポーズを入れたいところでフックボタンを押します。**

ワンタッチダイヤルや電話帳を登録する場合など、ポーズを入れたいときにはフックボタンを押します。

フックボタンを1回押すごとに約3秒のポーズが入ります。ポーズも1桁と数えられ、ディスプレイには「-(ハイフン)」と表示されます。

Q *登録中に「ピピピピピ」という音が鳴ったら?*

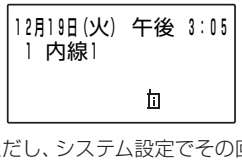
A **登録されません。もう一度はじめから登録し直してください。**

ワンタッチダイヤル、電話帳ダイヤルの登録桁数が32桁を超えると、「ピピピピピ」という登録エラー音が鳴り、登録されません。

Q *携帯電話番号を登録するには?*

A **システム設定で事業者識別番号を設定(☛P114)しており、事業者識別番号付与(☛P95)を有効にしているときは、携帯電話番号だけを登録してください。**

システム設定で使用する回線に事業者識別番号を設定しており、事業者識別番号付与を有効にしているときは、携帯電話番号の前に事業者識別番号を付けずに登録しても、事業者識別番号が自動的に付加されて発信されます(PBXやCESの内線に接続されているときは、自動的に付加されません)。事業者識別番号付与が有効のときは、ディスプレイに次のように表示されます。



ただし、システム設定でその回線に事業者識別番号を設定しているかどうかにかかわらず、事業者識別番号を携帯電話番号の前に付けて登録することができます。しかし、電話帳やワンタッチダイヤルに事業者識別番号を前に付けて登録した携帯電話番号から着信したときは、ナンバーディスプレイで名前などが正しく表示されないことがあります。

Q *電話帳に相手のサブアドレスを登録するには?(ISDN回線のみ)*

A **相手の方の電話番号(アドレス)を押したあとに＊を押し、サブアドレスの番号を押します。**

アドレス、サブアドレスは合わせて32桁まで登録できます。ただし、サブアドレスは19桁以内(0～9の数字)で登録してください。

<例>

0312345678 ＊ 1234

↑ アドレス　↑ サブアドレス

アドレス、サブアドレスを区切る「＊」も1桁として数えられます。

Q *操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は?*

A **何もボタンを押さずに約30秒たつと、自動的にカレンダ・時計表示に戻り、操作が終了します。**

Q *すでにフレキシブルキーに電話番号が登録されている場合は?*

A **電話番号がすでに登録されている場合は、登録操作をしたときにその番号が表示されます。変更したい場合は、電話番号の登録をやり直してください。**

Q *1つのダイヤルイン番号に複数の内線電話機が登録されている場合は?*

A **電話がかかってくると、その番号に登録されている複数の内線電話機が同時に呼び出されます。**

Q *操作を間違えたときには?*

A *決定ボタンを押すまでは、何度でも入力し直すことができます。(電話番号や名前の登録は除きます)*

クリアボタンを押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。

Q *主電話機以外の内線ネームを変更したときは?*

A **変更した内線ネームは待機中の表示にすぐには反映されませんが、変更した内線電話機で操作を行うと反映されます。**

登録・設定操作

Q *フレキシブルキーに登録できる機能は？*

A **内線呼出以外に以下のような機能が登録できます。**

機　能	内　容
ドアホン呼出	ドアホンを呼び出す(☛P92)
一斉呼出	すべての内線電話機を一斉に呼び出す(☛P40)
受話増	受話音量を大にしても聞き取りにくい場合、受話音をさらに大きな音量にする(☛P100)
キーパッド送出	ダイヤルボタンやフレキシブルキーを押すことで、対応するキーパッドをDチャンネルに送出する
外線転送利用	転送電話をセット／解除する(☛P81)
転送設定	転送電話セット時、利用する条件（登録済みの転送設定のテーブル）を指定する。
お待たせ	電話にすぐに出られないときに、お待たせメッセージを送出して保留にする。

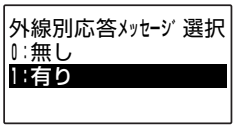
Q *外線別に応答メッセージを分けるには？*

A **留守設定で外線別応答メッセージを設定します。**

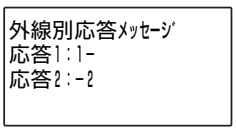
①メニューボタン、(3 DEF)(1)を押す。

②▽ボタンを押して「5：外線別応答メッセージ」を表示させ、(5 JKL)を押す。

③外線別応答メッセージの選択画面を表示させ、(1)を押す。



④外線ごとに応答メッセージ1、2を設定する。
お買い求め時は、応答メッセージ1が外線1、2に設定されています。ダイヤルボタン（(1)、(2 ABC)）を押すと、応答メッセージ2に外線1、2が設定されます。もう一度同じダイヤルボタンを押すと応答メッセージ1に外線1、2が設定されます。設定されていない外線は「-」で表示されます。



⑤設定内容を確認し、(決定)ボタンを押す。
外線別応答メッセージが設定され、②の画面が表示されます。解除する場合は、③で(0)を押します。

Q *リモート暗証番号を間違えたときは？*

A **「もう一度入力してください。番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。もう一度、(#)、リモート暗証番号、(#)の順に押してください。**
リモート暗証番号を3回間違えると自動的に電話が切れ、次からは1回間違えると電話が切れます（暗証破りガード）。暗証破りガードは、留守番電話をセット/解除するまで継続されます。また、停電すると解除されます。

Q *暗証スキップ電話番号が登録されているときは？*

A **暗証番号を入力しなくても、リモコン操作できるように設定することができます。（暗証スキップ）(☛P124)**
あらかじめ留守番電話機に登録されている電話番号（暗証スキップ電話番号）の電話機から電話をかけたときは、暗証番号を入力しなくてもリモコン操作できるように設定することができます（暗証スキップ）。(☛P124) ただし、発信電話番号を通知しないときや電話番号の登録操作をしないときは、暗証スキップはできません。

Q *トールセイバが設定されているときは？*

A **留守番電話に電話をかけたとき、呼出音の回数が次のように変わります。**
呼出音が3回鳴っても留守応答しないときは、用件は録音されていません。または、すべての用件は再生済みです。

呼出音回数	留守番電話の状態
約2回（約6秒）で留守応答したとき	未再生の用件が１件以上録音されています
約6回（約18秒）で留守応答したとき	用件は録音されていません。または、すべての用件は再生済です

Q&A

その他の機能を使う

登録・設定操作

Q *共通禁止番号を設定するときは、1つの番号でも184／186付き、事業者番号付きなど、複数登録するのか？*

A **削除番号（☛P114）を利用してください。**

共通禁止番号に登録すると、その番号へはすべての内線電話機（クラス0を除く）から電話をかけられなくすることができます。（☛P114）ただし、共通禁止番号に登録された電話番号の先頭に184、186、122などをつけて電話をかけると、共通禁止番号と一致しないため、電話がかけられるようになります。そこで、184、186、122などを削除番号として登録しておくと、共通禁止番号の先頭に184、186、122などをつけても電話をかけることはできません。お買い求め時は、184、186、122は削除番号として登録されています。

〈例〉

184　0312345 → 電話をかけることはできません。

0312345 → 共通禁止番号として登録

184 → 削除番号として登録

詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

Q *ビットマップ入力で設定を登録するには？*

A **設定したい番号をダイヤルボタンで押して数字を表示させます。**

設定を解除する場合はダイヤルボタンを押し、「－」を表示させます。

〈例〉

内線ビットマップ入力

12－－－－－－

内線1と2を設定し、内線3～8を設定しない場合。

Q *非通知着信拒否時や、着信拒否番号に登録した相手からかかってきたときは、どのように着信を拒否するのか？*

A **着信拒否ガイダンス（☛P115）の設定により、異なります。**

着信拒否ガイダンスを「有り」にすると、「186を付けて、発信してください」または「この電話はお受けできません」のガイダンスを流して回線を切断します。着信拒否ガイダンスを「無し」にすると、ISDN回線をご利用時は相手にお話し中音が聞こえ、アナログ回線時は相手に呼出音が鳴り続け、着信を拒否します。着信拒否ガイダンスのお買い求め時の値は、非通知拒否、指定番号拒否ともの「有り」に設定されています。非通知着信拒否、公衆電話着信拒否、表示圏外着信拒否は「無し」に設定されています。

着信拒否設定または着信拒否番号の登録	着信拒否ガイダンスの設定			
	非通知拒否		指定番号拒否	
	無し	有り	無し	有り
非通知着信拒否	ISDN回線：お話し中音が聞こえる アナログ回線：相手には呼出音が鳴り続ける	「186を付けて、発信してください」のガイダンスを相手に流して回線を切断	－	－
公衆電話着信拒否		「この電話はお受けできません」のガイダンスを相手に流してから回線を切断	－	－
表示圏外着信拒否			－	－
指定番号着信拒否	－	－	ISDN回線：お話し中音が聞こえる アナログ回線：相手には呼出音が鳴り続ける	「この電話はお受けできません」のガイダンスを相手に流してから回線を切断

表　示

Q *ディスプレイの表示は?*

A **電話番号は20桁まで、通話時間は最大9時間59分59秒まで表示されます。**

20桁以上の電話番号の場合、21桁目以降は右から左へ順次表示されます。

通話時間が9時間59分59秒「9-59-59」を越えても表示はそのままになります。

通話時間の表示は実際の通話時間と異なる場合もありますので、目安としてご利用ください。

Q *録音可能時間を確認するには?*

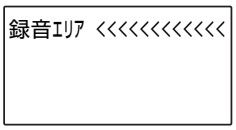
A **留守ボタンを押します。**

留守ボタンを押すと、応答メッセージが流れている間、ディスプレイに残りの録音可能時間が表示されます。

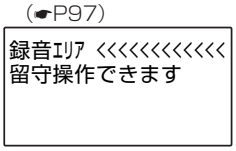
録音可能時間の表示は実際の録音可能時間と異なる場合もありますので、目安としてお使いください。

<残りの録音可能時間があるとき>

- 留守ボタンを押したとき



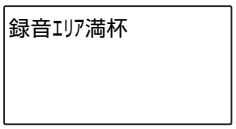
- 通話中に留守操作ボタンを押したとき（☛P97）



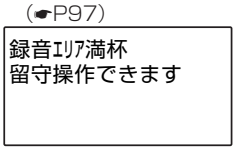
残りの録音可能時間は12段階でディスプレイに表示されます。残り時間は録音内容によって変わりますので、目安としてお使いください。

<残りの録音可能時間がないとき>

- 留守ボタンを押したとき



- 通話中に留守操作ボタンを押したとき（☛P97）

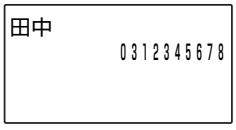


Q *相手の方の名前と電話番号がワンタッチダイヤルまたは電話帳に登録されているときは?*

A **着信時に相手の方の名前も表示されます。**

電話帳識別着信設定を「有り」にしているときは（☛P115）、着信時に相手の方の名前も表示されます。ただし、登録内容と受信された情報が完全に一致しない場合（例えば、電話帳に電話番号だけが登録されている方が、サブアドレスを利用して電話をかけてきた場合など）は、相手の方の名前がディスプレイに表示されないことがあります。なお、電話帳識別着信設定を「無し」にしている場合でも、ネーム・ディスプレイの契約が有るときには、発信者氏名表示の方の名前が表示されます。

ワンタッチダイヤル/電話帳ダイヤル



電話帳やワンタッチダイヤルで、携帯電話番号に事業者識別番号を付けて登録している場合、登録した携帯電話番号から着信したときは、登録した相手の方の名前が表示されないことがあります。システム設定で事業者識別番号設定と事業者識別番号自動付与回線を設定しており、事業者識別番号付与（☛P95）を有効にしているときは、電話帳やワンタッチダイヤルには携帯電話番号だけを登録してください。

お知らせ

- ディジタルシステムコードレス電話機（オプション）をご使用になる場合は、ワンタッチダイヤルまたは電話帳に登録されたデータが、全角文字と半角文字が混ざって登録されていると、正しく表示されないことがあります。全角文字と半角文字は混ぜないで登録してください。

Q&A

その他の機能を使う

通　話

Q *長い電話番号をかけるときには？（ミックスダイヤル）*

A **ミックスダイヤルでかけると便利です。**
ワンタッチダイヤル（☛P31）、再ダイヤル（☛P29）中にダイヤルボタンやワンタッチダイヤルを押して番号を追加することができます。

Q *お話しをスピーカで聞くには？（スピーカ受話）*

A **ハンドセットでお話し中に◎スピーカボタンを押します。**
◎スピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。◎マイクボタンがオフの時、こちらの声は相手の方に聞こえませんが、オンの時はハンズフリー状態となり聞こえることになります。また、スピーカ受話のときハンドセットを置いても電話は切れません。ハンドセットを取りあげるとハンドセットでのお話しに戻ります。

Q *オンフックダイヤルでお話ししないで電話を切るには？（スピーカ受話）*

A **時報（117）や天気予報（177）、プッシュホンサービスなどは、オンフックダイヤルで電話をかけたあと、ハンドセットを取りあげずにそのままお聞きになると便利です。**
電話を切るときは、使用中の◎スピーカボタンを押します。

Q *内線またはドアホンでお話し中に外からの電話に応答するには？*

A **内線またはドアホンの方とのお話しを終え、外線ボタンまたは外線2ボタンを押すと外からの電話に応答できます。**
内線またはドアホンでお話し中に外から電話がかかってくると、スピーカから着信音が聞こえます。
（スピーカ受話、ハンズフリー通話の時は、聞こえません）

Q *内線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには？*

A **お話しを終えてハンドセットを置き、もう一度ハンドセットを取りあげると応答できます。**
内線でお話し中にドアホンからの呼び出しがあると、スピーカから「ピーンポーン」というチャイム音が聞こえます。

Q *外線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには？*

A **以下の操作をすると、ドアホンからの呼び出しに応答できます。**
<お話しを保留するとき>
①お話し中にスピーカから「ピーンポーン」というチャイム音が聞こえたら、保留ボタンを押す。
②ハンドセットを置くとドアホンからのチャイムが鳴る。
③ハンドセットを取りあげて、ドアホンの方とお話しをする。
④外の相手の方とのお話しに戻るときは外線ボタンまたは外線2ボタンを押す。
<お話しを終えてから応答する>
①お話し中にスピーカから「ピーンポーン」というチャイム音が聞こえたら、お話しを終えてハンドセットを置く。
②もう一度ハンドセットを取りあげて、ドアホンの方とお話しをする。

Q *録音された用件の再生中や応答メッセージの録音または再生中に、外からの電話に応答するには？*

A **応答する外線ボタンまたは外線2ボタンを押したあと、ハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてから外線ボタンまたは外線2ボタンを押して、ハンドセットを取りあげてください。**
<録音された用件の再生中の場合は>
ディスプレイには「外線着信」と表示されますが、着信音は鳴りません。
<応答メッセージの録音または再生中の場合は>
外線ランプが点滅しますが、着信音は鳴りません。

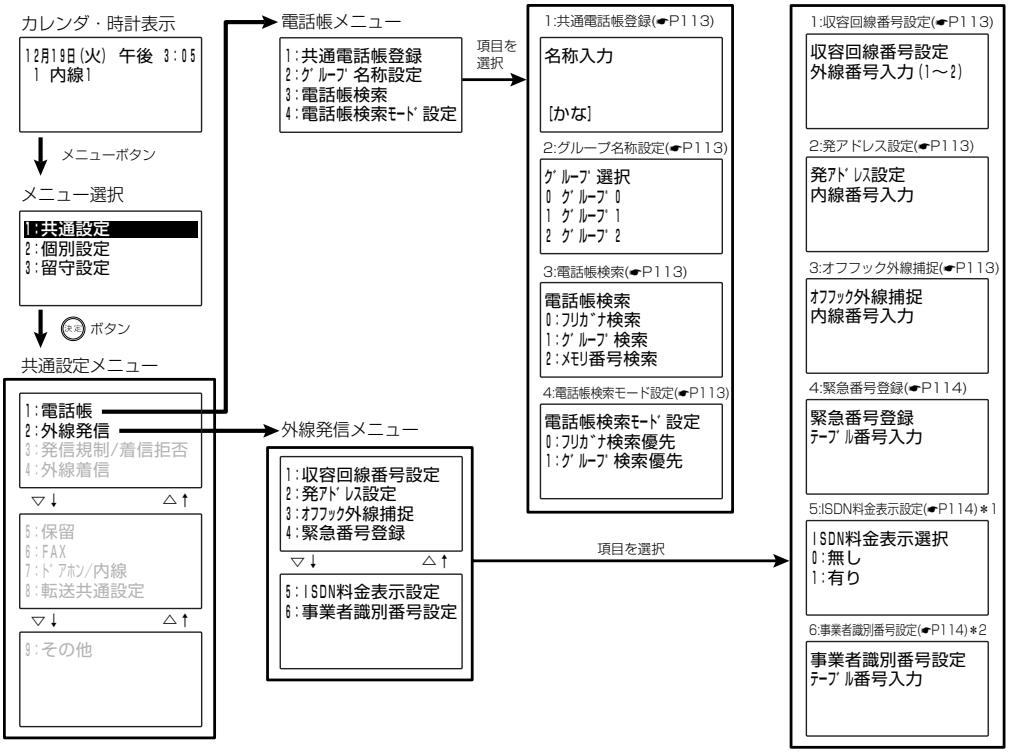
Q *録音された用件の再生中や応答メッセージの録音または再生中に、内線からの電話に応答するには？*

A **◎内線ボタンを押したあと、ハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてからハンドセットを取りあげてください。**
<録音された用件の再生中の場合は>
ディスプレイには内線の相手番号が表示されますが、着信音は鳴りません。
<応答メッセージの録音または再生中の場合は>
内線ランプが点滅しますが、着信音は鳴りません。

メニューの流れ（共通設定）

登録・設定はメニュー設定で行います。登録・設定の操作については、それぞれの解説ページまたは「いろいろな機能を登録・設定するには」（☛P113）を参照してください。共通設定メニューは、主電話機で行います。他の内線電話機から登録・設定はできません。メニューの操作について（☛P23）

■共通設定メニュー（1）



*1 ISDN回線ご利用時のみ有効です。
*2 システム設定で事業者識別番号設定と事業者識別番号自動付与回線を設定している場合に有効です。

ワンポイント

●メニュー画面での操作

・メニュー画面で続きのメニューを表示させるには
▽ボタンを押します。前ページのメニューを表示させるには△ボタンを押します。
・各画面の途中で設定・登録内容をすべてキャンセルするには
クリアボタンを押します。電話番号や文字の入力中は、◁:戻るボタンを2秒以上押します。カレンダ・時計表示の画面に戻ります。
・設定・登録画面で操作中に前の画面に戻るには
◁:戻るボタンを押します。文字の入力中は、文字確定後、◁:戻るボタンでカーソルを一番左端に移動させてからもう一度◁:戻るボタンを押します。
・設定内容を変更せずに次の画面に進むには
決定ボタンを押します。
・メニューの項目を選択するには
各項目の番号の数字をダイヤルボタンで押すか、▽ボタンと△ボタンで各項目を選択した状態で、決定ボタンを押します。

お知らせ

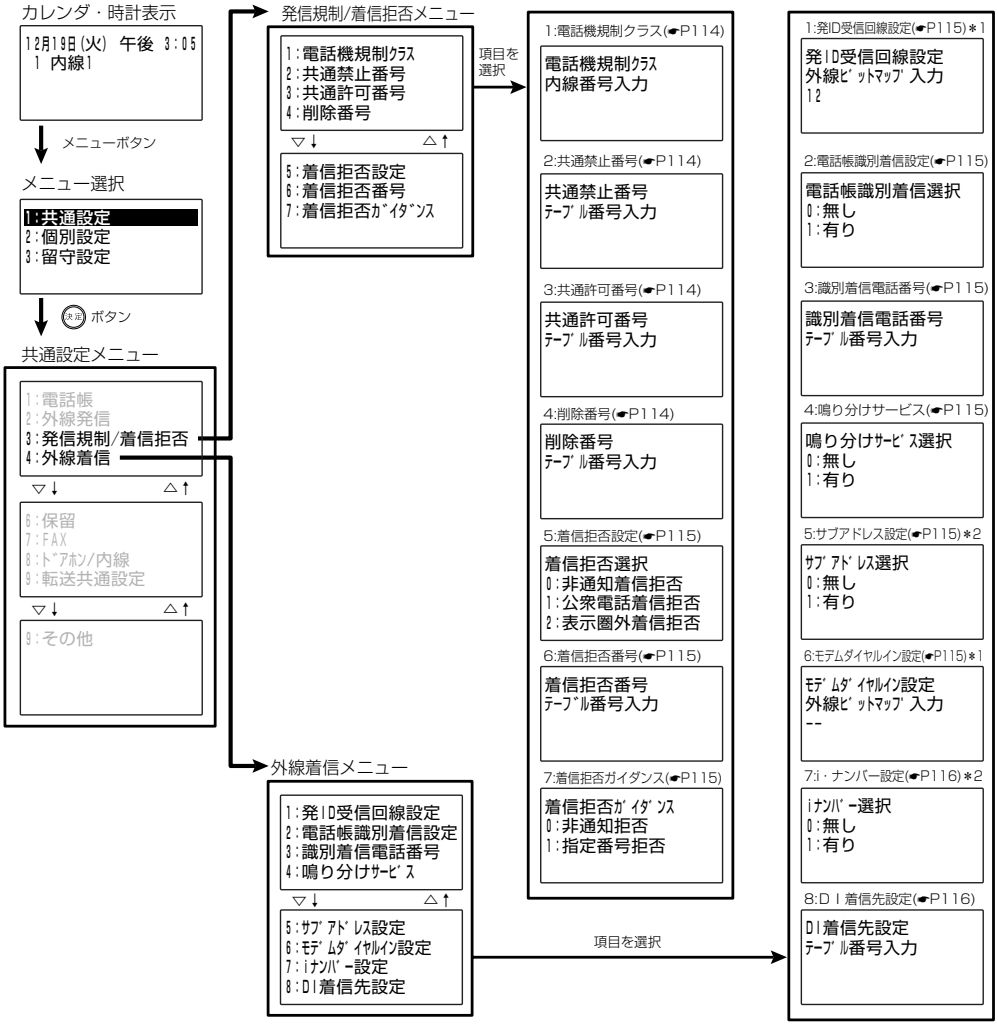
●設定中に外から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずにランプで表示されます。メニュー登録を終了するか、◁:戻るボタンを2秒以上押して設定内容をキャンセルしてから応答してください。
●操作を間違えたときは、◁:戻るボタンを2秒以上押してカレンダ・時計表示に戻し、再度メニューボタンを押して始めてください。

登録

▶ *操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は（☛P102）*
▶ *ビットマップ入力で設定を登録するには（☛P104）*

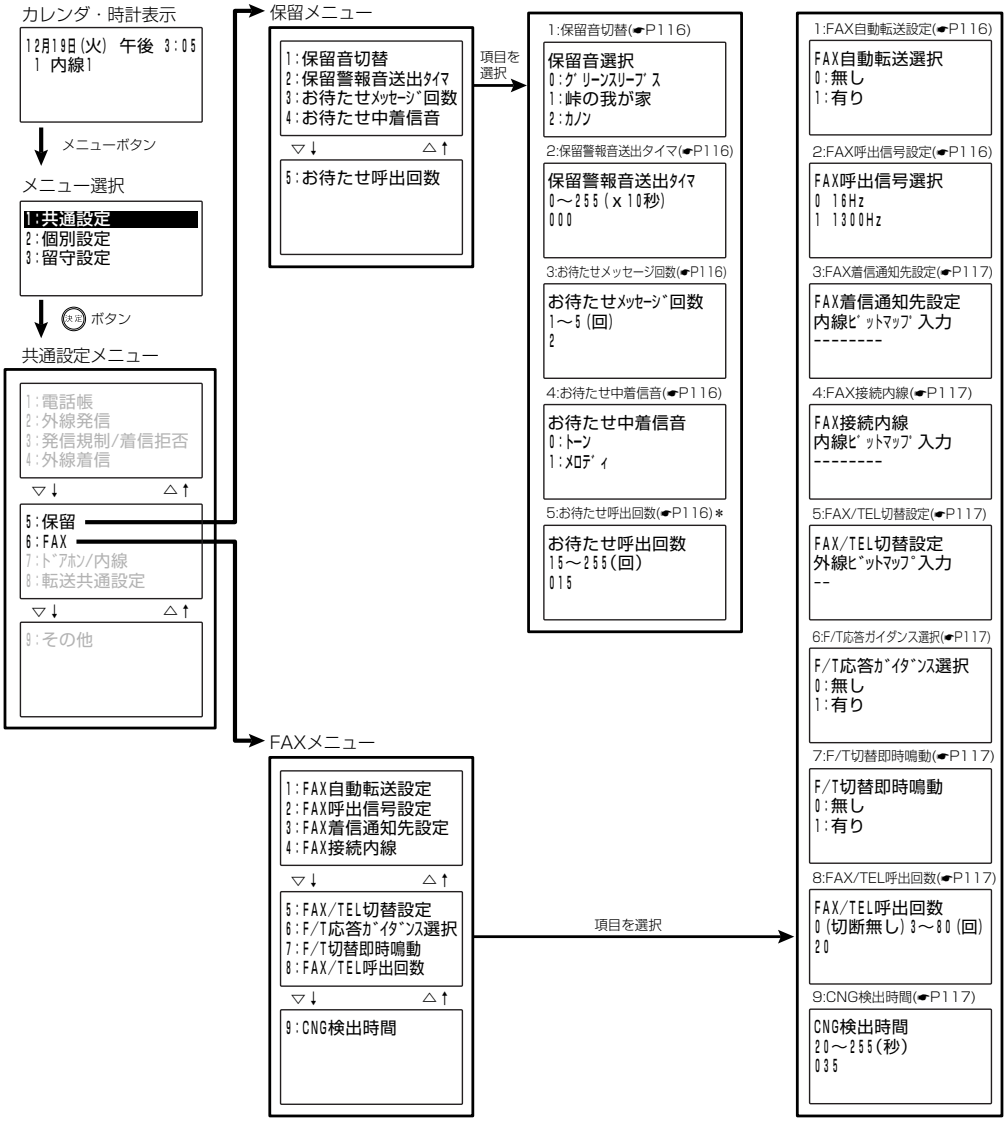
メニューの流れ（共通設定）

■共通設定メニュー（2）



*1 アナログ回線ご利用時のみ設定できます。
*2 ISDN回線ご利用時のみ設定できます。

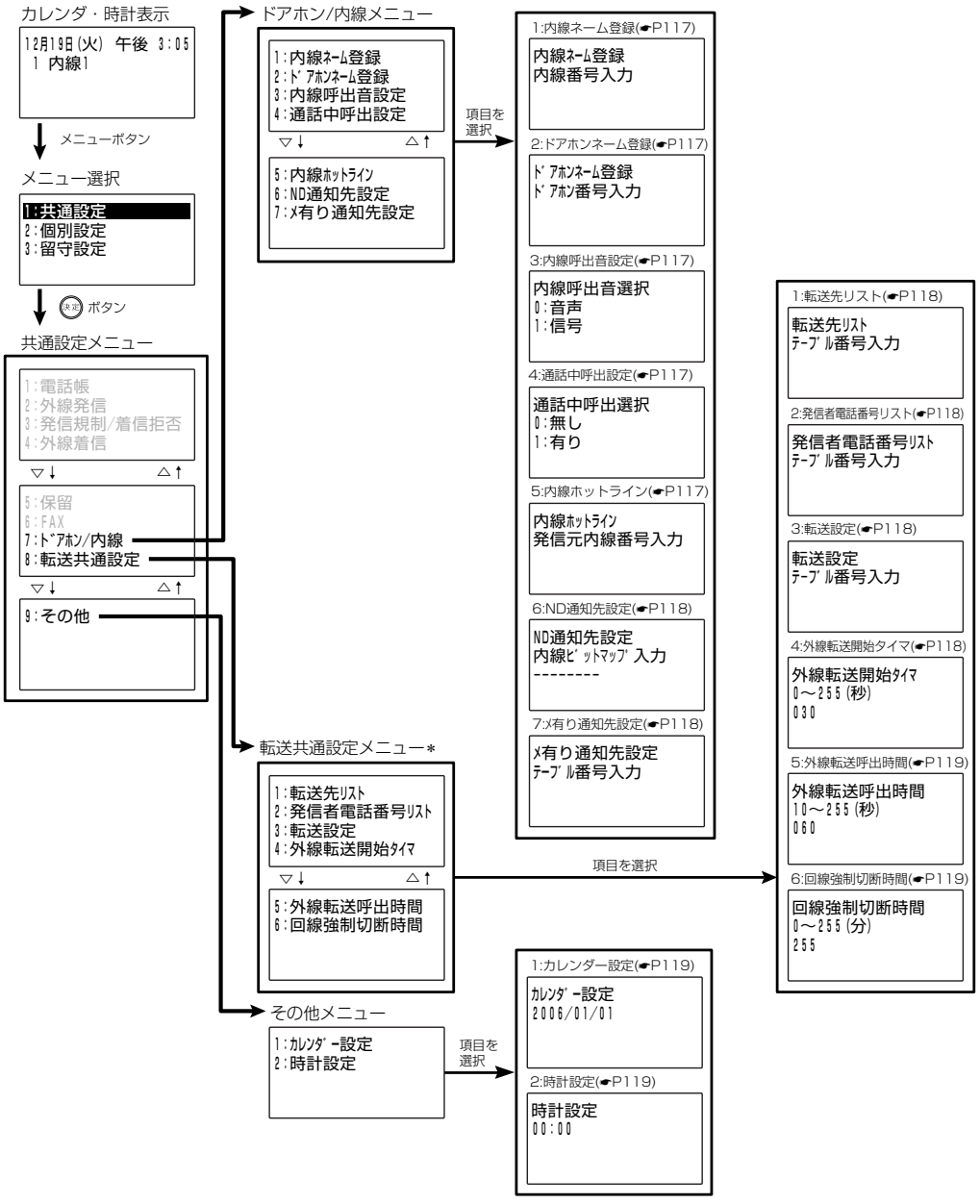
■共通設定メニュー（3）



＊ アナログ回線ご利用時のみ設定できます。

メニューの流れ（共通設定）

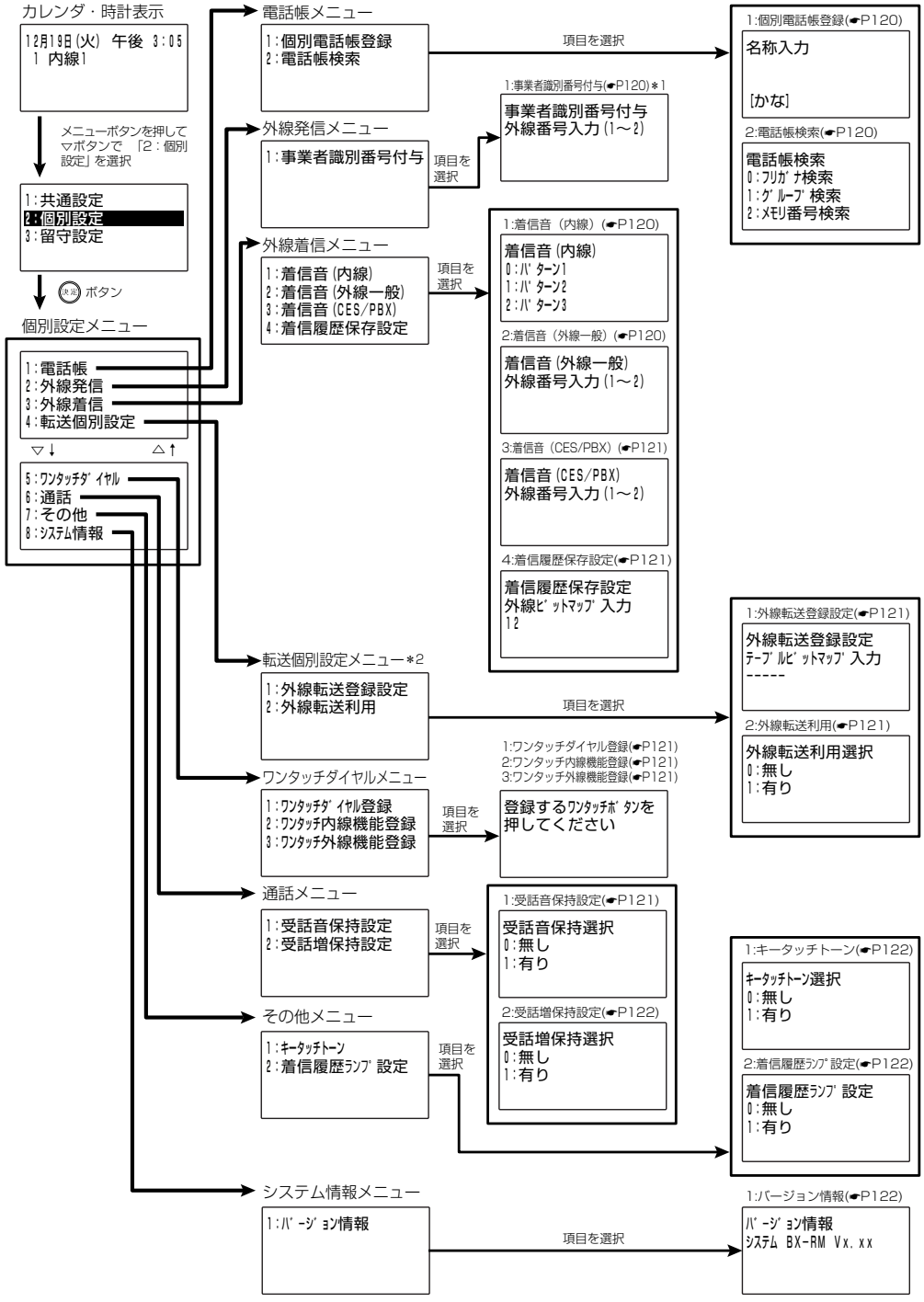
■共通設定メニュー（4）



＊ ISDN回線ご利用時のみ設定できます。

メニューの流れ（個別設定）

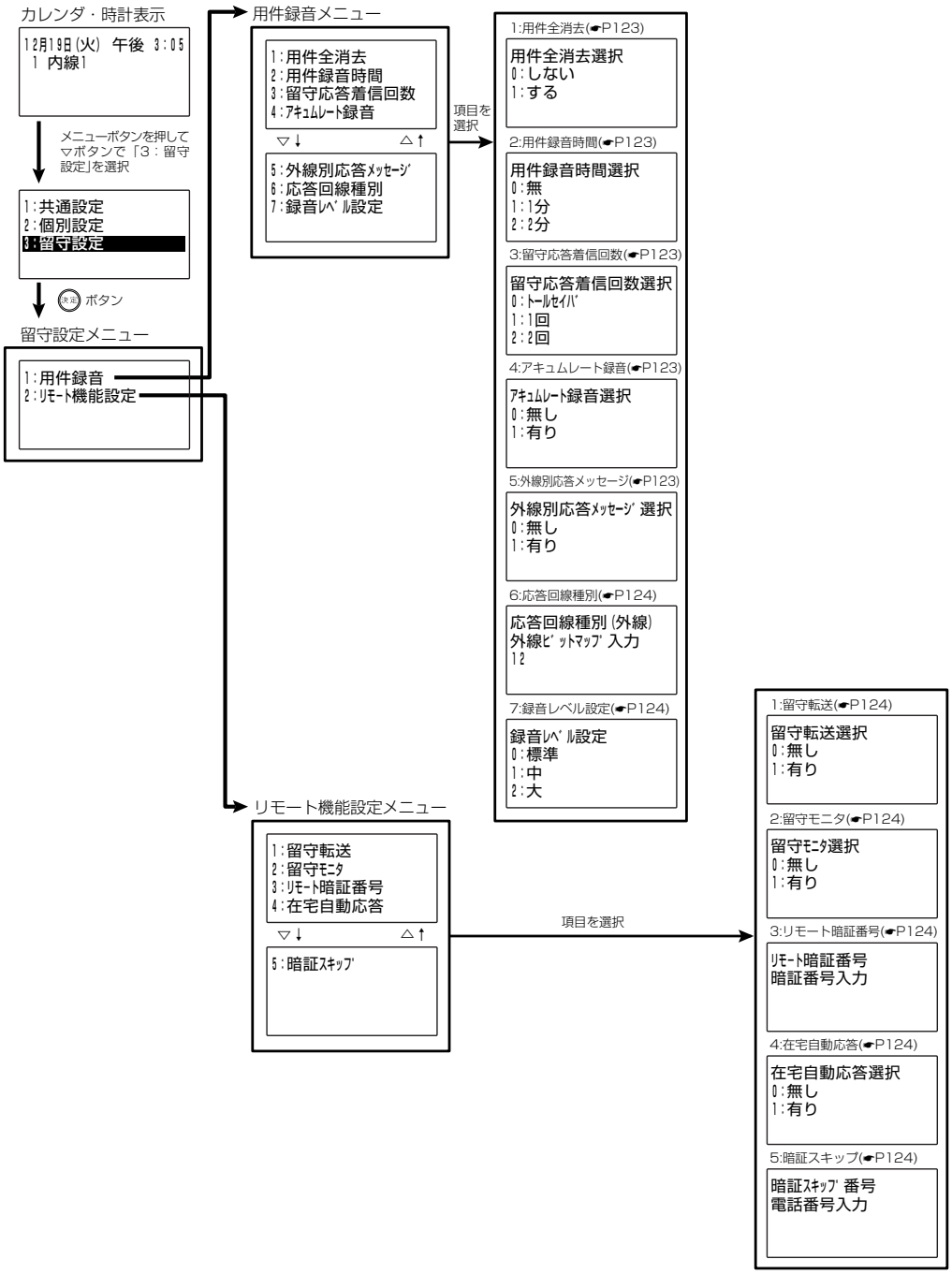
登録・設定はメニュー設定で行います。登録・設定の操作については、それぞれの解説ページまたは「いろいろな機能を登録・設定するには」（☛P120）を参照してください。個別設定メニューへの登録・設定は、各内線電話機で行います。



＊1 システム設定で事業者識別番号設定と事業者識別番号自動付与回線を設定している場合に有効
＊2 ISDN回線ご利用時のみ設定できます。

メニューの流れ（留守設定）

留守設定はメニュー設定で行います。登録・設定の操作については、それぞれの解説ページまたは「いろいろな機能を登録・設定するには」（☛P123）を参照してください。留守設定メニューへの登録・設定は、主電話機で行います。他の内線電話機から登録・設定はできません。



いろいろな機能を登録・設定するには（共通設定）

主電話機では「共通設定」の登録・設定ができます。登録・設定が完了すると、登録確認音が鳴ります。

■主電話機から登録・設定できる機能（共通設定）

1 カレンダ･時計表示を確認し、ハンドセットを置いたままメニューボタンを押す。

2 メニューを表示して、1を押す。

1:共通設定
2:個別設定
3:留守設定

3 登録・設定内容に対応したダイヤルボタンを押す。

4 登録・設定を行う。

5 決定ボタンを押す。

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
共通電話帳登録（☛P32） 主電話機および各内線電話機で使える電話帳に名前、電話番号を登録します。	1→1	①名前を入力→決定ボタン ②フリガナを入力→決定ボタン ③電話番号を入力→決定ボタン ④グループに登録→決定ボタン ⑤アイコンを選択→決定ボタン ⑥メモリ番号の登録（000～299）	－
グループ名称設定 共通電話帳、個別電話帳で使うグループの名称を設定します。	1→ABC2	①グループを選択（0…グループ0～WXYZ9…グループ9） ②グループ名を入力	0～9:グループ0～9
電話帳検索（☛P37） 共通電話帳、個別電話帳から電話番号を検索します。	1→DEF3	①0…フリガナで検索　1…グループで検索　ABC2…メモリ番号で検索 ②フリガナの一部またはグループ番号、メモリ番号をダイヤルボタンで押す（省略可） ③▽や△を押して検索	－
電話帳検索モード設定 電話帳ボタンで共通電話帳、個別電話帳を検索する場合、最初に表示される検索モードを設定します。	1→GHI4	0…フリガナ検索優先 1…グループ検索優先	0:フリガナ検索優先
収容回線番号設定 外線番号を登録します。	ABC2→1	①外線番号をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②収容回線電話番号をダイヤルボタンで押す（32桁まで）*	－
発アドレス設定 発アドレスを設定します。	ABC2→ABC2	①ダイヤルボタンで内線番号を押す→決定ボタン ②ダイヤルボタンで外線番号を押す→決定ボタン ③ダイヤルボタンで発アドレス番号を押す（32桁まで）*	－
オフフック外線捕捉 外線ボタンを押さずに、ハンドセットを取りあげただけで外線をかけられるように設定します。内線電話機を呼び出す場合は内線ボタンを押します。	ABC2→DEF3	①内線番号をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②対応する外線番号をダイヤルボタンで押す	－

＊ 消去するには、クリアボタンを押します。

いろいろな機能を登録・設定するには（共通設定）

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
緊急番号登録 ある特定の電話番号を緊急番号として登録します。緊急番号に電話をかけて、いったん電話を切ったあと、緊急番号から電話がかかってきたときすべての電話で着信音が鳴ります。	②→④	①登録するテーブル番号（01～10）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②登録する番号をダイヤルボタンで押す（6桁まで）*1	01=110 02=119 03=118
ISDN料金表示設定 （ISDN回線ご利用時のみ有効） ISDN回線ご利用時、通話終了時の通話料金が通知されるサービスを利用して、料金を表示させるかどうかを設定します。	②→⑤	0…無し　1…有り	1:有り
事業者識別番号設定*2 （システム設定で事業者識別番号および事業者識別番号自動付与回線を設定している場合に有効） 事業者識別番号を適用する携帯電話番号の最初の4桁の数字を設定します。 2006年12月現在、お買い求め時の設定を変更する必要はありません。	②→⑥	①登録するテーブル番号（01～50）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②登録する携帯番号の最初の4桁をダイヤルボタンで押す（4桁まで）*1	01:0801～09:0809、10:0901～18:0909
電話機規制クラス 電話機ごとに、外へかけられる範囲を、共通禁止番号、共通許可番号を使って制限することができます。	③→1	①規制する電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②0…クラス0（共通禁止番号の規制を受けない） 1…クラス1（共通禁止番号の規制を受ける） 2…クラス2（内線のみだが、共通許可番号に設定されている番号は発信可能）	1:クラス1
共通禁止番号 特定の電話番号への発信を規制します。ダイヤルQ2や遠距離市外局番など特定の電話番号を登録し、その番号へは内線電話機から電話をかけられないように設定できます。	③→②	①登録するテーブル番号（01～10）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②登録する番号を市外局番からダイヤルボタンで押す（32桁まで）*1	－
共通許可番号 特定の電話番号への発信を許可します。	③→③	①登録するテーブル番号（01～10）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②登録する番号をダイヤルボタンで押す（32桁まで）*1	－
削除番号 184、186、122は削除番号として登録されています。削除番号を登録しているとき、削除番号のあとに共通禁止番号をダイヤルしても、共通禁止番号には電話をかけられません。（☛P104）	③→④	①登録するテーブル番号（01～10）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②登録する番号をダイヤルボタンで押す（6桁まで）*1	01=184 02=186 03=122

＊1 消去するには、クリアボタンを押します。

＊2 事業者識別番号が追加・変更されたとき以外は、操作しないでください。すでに設定されている事業者識別番号を追加・変更・消去すると、正常に携帯電話へ発信できなくなる場合があります。

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
着信拒否設定 （ナンバー・ディスプレイ／INSナンバー・ディスプレイご利用時のみ有効） 非通知でかけてきた電話、公衆電話からかけてきた電話、表示圏外の電話の着信を拒否するか設定します。	3→5	①0…非通知着信拒否　1…公衆電話着信拒否　2…表示圏外着信拒否 ②0…無し　1…有り	非通知着信拒否 0:無し 公衆電話着信拒否 0:無し 表示圏外着信拒否 0:無し
着信拒否番号 着信を拒否したい相手の電話番号を登録します。10件まで登録できます。	3→6	①登録するテーブル番号（01～10）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②拒否する相手の電話番号を市外局番からダイヤルボタンで押す（32桁まで）*1 <例>0312345678	－
着信拒否ガイダンス 非通知着信拒否時は「186を付けて、発信してください」、公衆電話／表示圏外／指定番号拒否時は「この電話はお受けできません」のガイダンスを相手に流してから回線を切断するか、ガイダンスなしに着信を拒否するかを設定します。	3→7	①0…非通知拒否　1…指定番号拒否 ②0…無し　1…有り	非通知拒否 1:有り 指定番号拒否 1:有り
発ID受信回線設定 （アナログ回線ご利用時のみ有効） ナンバー・ディスプレイを利用する外線を設定します。	4→1	1～2で外線番号を設定	外線1・2
電話帳識別着信設定 外線が着信すると電話帳との照合を行い、電話帳に登録されている電話番号からの着信であれば、電話帳に登録されている情報（名前など）を表示するかどうかを設定します。	4→2	0…無し　1…有り	1:有り
識別着信電話番号*2 識別着信機能を使う相手の番号を登録します。	4→3	①登録するテーブル番号（01～10）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②登録する相手方の電話番号を市外局番からダイヤルボタンで押す（32桁まで）*1 <例>0312345678	－
鳴り分けサービス なりわけサービスの有無を設定します。	4→4	0…無し　1…有り	0:無し
サブアドレス設定*3 INSネットのサブアドレス通知サービスの利用の有無を設定します。「有り」に設定すると、発信時にサブアドレス（内線番号）を付けて発信し、サブアドレス付きで着信したときは、その内線番号の電話機のみで受けることができます。	4→5	0…無し　1…有り	0:無し
モデムダイヤルイン設定 （アナログ回線ご利用時のみ有効） モデムダイヤルインの契約の有無を設定します。	4→6	1、2で外線番号を設定	－

＊1 消去するには、クリアボタンを押します。

＊2 識別着信電話番号に登録した電話番号を削除する場合は、手順②で入力した電話番号をクリアボタンを押して削除し、決定ボタンを押します。削除は各テーブル番号ごとに行ってください。

＊3 ISDN回線ご利用時のみ設定できます。

いろいろな機能を登録・設定するには（共通設定）

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
ｉナンバー設定 （ISDN回線ご利用時のみ有効） INSネットサービスのi・ナンバーサービス（有料）をご契約されているときに設定します。	GHI 4 → PQRS 7	0…無し　1…有り	0:無し
DI着信先設定 i・ナンバーサービス、INSダイヤルイン、モデムダイヤルインを使って、着信させたい特定の内線番号の内線電話機を設定します。	GHI 4 → TUV 8	①登録するテーブル番号（01～10）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②登録するダイヤルイン番号を市外局番からダイヤルボタンで押す（32桁まで）*→決定ボタン ③外線番号をダイヤルボタンで設定→決定ボタン ④内線番号をダイヤルボタンで設定→決定ボタン ⑤FAX/TEL切替機能の利用が 0…無し　1…有り	－
保留音切替 保留のときに流れる音楽を設定します。	JKL 5 → 1	0…グリーンスリーブス 1…峠の我が家 ABC 2…カノン DEF 3…Supercalifragilistic expialidocious GHI 4…TO LOVE YOU MORE JKL 5…春の歌 MNO 6…主よ人の望みの喜びよ PQRS 7…メヌエット	0:グリーンスリーブス
保留警報音送出タイマ 保留の状態を長時間続けている場合、警報音をスピーカから鳴らすことができます。警報音を鳴らすまでの保留時間を設定します。	JKL 5 → ABC 2	秒数をダイヤルボタンで押す（10秒単位） <例>240	000 （×10秒）
お待たせメッセージ回数 お待たせモード中、「まもなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、のちほどおかけ直しください」のメッセージを相手に何回流すか設定します。	JKL 5 → DEF 3	1～5をダイヤルボタンで押す	2
お待たせ中着信音 お待たせモード中の着信音を設定します。	JKL 5 → GHI 4	①0…トーン　1…メロディ ②トーンパターン1～8、またはメロディ1～8をダイヤルボタン（0～7）で押す	トーン パターン7
お待たせ呼出回数 （アナログ回線ご利用時のみ有効） お待たせモードを起動したあと、回線が自動的に切断される時間（×3秒）を設定します。	JKL 5 → JKL 5	呼出回数（15～255）をダイヤルボタンで押す	015回 （45秒）
FAX自動転送設定 外線ファクス着信に電話機が応答したとき、自動で電話機アダプタに接続されているファクス（内線ファクス）を呼び出すかどうかを設定します。	MNO 6 → 1	0…無し　1…有り	0:無し
FAX呼出信号設定 電話機アダプタに接続されているファクス（内線ファクス）への呼出信号を設定します（16Hzまたは1300Hz）。	MNO 6 → ABC 2	0…16Hz　1…1300Hz	0:16Hz

＊消去するには、クリアボタンを押します。

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
FAX着信通知先設定 電話機アダプタに接続されているファクス（内線ファクス）に、受信したことを通知する内線電話機を設定します。	6→3	対応する内線番号をダイヤルボタンで押す。	−
FAX接続内線 ファクスが接続されている電話機アダプタの内線番号を設定します。	6→4	ファクスが接続されている電話機アダプタの内線番号をダイヤルボタンで押す。	−
FAX/TEL切替設定 外線着信のとき「ファクシミリの方は送信してください。電話の方は、しばらくお待ちください」のガイダンスを自動送出し、ファクスのポーポー音を検出すると、FAX接続内線で設定されたファクスを呼び出します。一定時間ポーポー音がないときは、内線電話機を呼び出します。	6→5	FAX/TEL切替機能を設定する外線番号をダイヤルボタン（1、2）で押す。	−
F/T応答ガイダンス選択 FAX/TEL切替モード時、「ファクシミリの方は送信してください。電話の方は、しばらくお待ちください」のガイダンスを送出するかしないかを設定します。	6→6	0…無し　1…有り	1:有り
F/T切替即時鳴動 FAX/TEL切替モード時、一定時間待たずに内線電話機の呼出音を鳴らすかどうか設定します。	6→7	0…無し　1…有り	0:無し
FAX/TEL呼出回数 FAX/TEL切替モード時、内線電話機を呼び出す回数（時間）を設定します。時間内にポーポー音の検出も内線電話の応答もない場合は、「おつなぎできませんでした。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」のメッセージを送出して切断します。	6→8	0（切断無し）、3〜80（回）をダイヤルボタンで押す アナログ回線ご利用時は0に設定しないでください。	20回 （60秒）
CNG検出時間 FAX/TEL切替モード時、ポーポー音を検出する時間を設定します。	6→9	20〜255（秒）をダイヤルボタンで押す	035秒
内線ネーム登録（☛P94） 内線電話機の名称を登録します。	7→1	①内線番号をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②名前を入力する	内線1〜8
ドアホンネーム登録（☛P94） ドアホンの名称を登録します。	7→2	①ドアホン番号を押す→決定ボタン ②名前を入力する	ドアホン 1〜2
内線呼出音設定 内線電話機の呼出音を音声、トーン信号のどちらにするかを設定します。	7→3	0…音声　1…信号	0:音声
通話中呼出設定 内線電話機が内線通話中でも着信音を鳴らすかどうかを設定します。	7→4	0…無し　1…有り	1:有り
内線ホットライン ハンドセットを取りあげるか、スピーカボタンを押すだけで呼び出すことができる内線電話機を設定します。	7→5	①発信元の内線番号をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②発信先の内線番号をダイヤルボタンで押す	−

いろいろな機能を登録・設定するには（共通設定）

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
ND通知先設定 ナンバー・ディスプレイを表示する内線電話機を設定します。	PQRS 7 → MNO 6	ナンバー・ディスプレイを表示する電話機アダプタに接続された内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。	−
メ有り通知先設定 メッセージ到着お知らせサービスを通知する内線電話機を設定します。	PQRS 7 → PQRS 7	①登録するテーブル番号（1～5）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②INSメッセージ到着お知らせサービスを通知する電話番号をダイヤルボタンで押す（32桁まで）*→決定ボタン ③通知先に使う内線電話機の番号をダイヤルボタンで押す	−
転送先リスト（☛P78） （ISDN回線ご利用時のみ有効） 外線転送先の電話番号を登録します。	TUV 8 → 1	①登録するテーブル番号（1～5）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②電話番号入力[1]に登録する転送先電話番号を市外局番からダイヤルボタンで押す（32桁まで）*→決定ボタン ③電話番号入力[2]に登録する転送先電話番号を市外局番からダイヤルボタンで押す（32桁まで）*→決定ボタン ④電話番号入力[3]に登録する転送先電話番号を市外局番からダイヤルボタンで押す（32桁まで）*	−
発信者電話番号リスト（☛P78） （ISDN回線ご利用時のみ有効） かけてきた相手の電話番号により転送を行う場合の電話番号を入力します。10件まで登録できます。	TUV 8 → ABC 2	①登録するテーブル番号（1～5）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②電話番号入力[1]に登録する発信者電話番号を市外局番からダイヤルボタンで押す（32桁まで）*→決定ボタン	−
転送設定（☛P79） （ISDN回線ご利用時のみ有効） 転送設定の登録テーブル番号を設定します。そのテーブル番号で着信する回線、発信者の電話番号、ダイヤルイン番号で転送をされる着信を設定し、転送先リストから転送先を設定し、転送を発信する内線電話機を設定します。転送発信時に、内線を同時に呼び出す設定もできます。	TUV 8 → DEF 3	①登録するテーブル番号（1～5）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ② 1 …着信回線指定 ABC 2 …着信DI指定 ③着信回線指定の場合：着信外線（1、2）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン 着信DI指定の場合：ダイヤルイン番号をダイヤルボタンで押す（32桁まで）*→決定ボタン ④発信者電話番号リストのテーブル番号（1～5）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ⑤転送先リストのテーブル番号（1～5）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ⑥転送発信外線（1、2）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ⑦転送時に内線を呼び出すかをどうかを設定 0 …無し　1 …有り	−
外線転送開始タイマ （ISDN回線ご利用時のみ有効） 未応答時の転送開始時間を設定します。	TUV 8 → GHI 4	外線転送開始時間をダイヤルボタンで押す（0～255秒）	30秒

＊消去するには、クリアボタンを押します。

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
外線転送呼出時間 (ISDN回線ご利用時のみ有効) 外線転送先の呼出時間を設定します。この時間を超えた場合は「外線転送先リスト」に登録している次の転送先電話番号へ発信されます。	8→5	外線転送呼出時間をダイヤルボタンで押す(10〜255秒)	60秒
回線強制切断時間 (ISDN回線ご利用時のみ有効) 転送開始後、設定した時間を経過すると回線を切断します。「0」の場合は、回線は切断されません。	8→6	回線切断時間をダイヤルボタンで押す(0〜255分)	255分
カレンダー設定(☛P24) 現在の日付を西暦・月・日で設定します。	9→1	西暦年月日をダイヤルボタンで押す <例>2006/12/19	2006/01/01
時計設定(☛P24) 現在の時刻を24時間制で設定します。	9→2	時刻(24時間制)をダイヤルボタンで押す <例>15:30	00:00

いろいろな機能を登録・設定するには（個別設定）

各内線電話機では「個別設定」の登録・設定ができます。登録・設定が完了すると、登録確認音が鳴ります。

■各内線電話機から登録・設定できる機能（個別設定）

1 カレンダ・時計表示を確認し、ハンドセットを置いたままメニューボタンを押す。

2 メニューを表示して、ABC2を押す。

1：共通設定
2：個別設定
3：留守設定

3 登録・設定内容に対応したダイヤルボタンを押す。

4 登録・設定を行う。

5 決定ボタンを押す。

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
個別電話帳登録（☛P32） 各内線電話機別で使える電話帳に名前、フリガナ、電話番号を登録します。	1→1	①名前を入力→決定ボタン ②フリガナを入力→決定ボタン ③電話番号を入力（32桁まで）*→決定ボタン ④グループに登録→決定ボタン ⑤アイコンを選択→決定ボタン ⑥メモリ番号の登録（300～309で指定）	－
電話帳検索（☛P37） 共通電話帳、個別電話帳から電話番号を検索します。	1→ABC2	①0…フリガナで検索　1…グループで検索　ABC2…メモリ番号で検索 ②フリガナの一部またはグループ番号、メモリ番号をダイヤルボタンで押す（省略可） ③▽や△を押して検索	－
事業者識別番号付与（☛P95） （システム設定で事業者識別番号設定と事業者識別番号自動付与回線を設定している場合に有効） 事業者識別番号を設定している場合、携帯電話番号へ発信するときに事業者識別番号を自動付与するかどうかを選択します。	ABC2→1	①外線番号（1、2）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン ②0…無し 1…システム設定で設定している事業者識別番号 （システム設定で設定していない場合は「未登録」と表示されます）	0:無し
着信音（内線） 内線がかかってきたときの着信音を設定します。	DEF3→1	パターン1～8（0～7）をダイヤルボタンで押す	1:パターン2
着信音（外線一般） 外線がかかってきたときの着信音を設定します。	DEF3→ABC2	①外線番号（1、2）をダイヤルボタンで押す ②0…トーン　1…メロディ ③パターン1～8（0～7）またはメロディ1～8（0～7）をダイヤルボタンで押す 0パターン1またはメロディ1（花） 1パターン2またはメロディ2（我は海の子） ABC2パターン3またはメロディ3（村まつり） DEF3パターン4またはメロディ4（むしのこえ） GHI4パターン5またはメロディ5（ジングルベル） JKL5パターン6またはメロディ6（ゆき） MNO6パターン7またはメロディ7（華麗なる大円舞曲） PQRS7パターン8またはメロディ8（カノン）	外線1 0:パターン1 外線2 0:パターン1

＊消去するには、クリアボタンを押します。

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
着信音（CES/PBX） CES/PBXを通して外線がかかってきたときの着信音を設定します。	DEF3→DEF3	①外線番号（1、2）をダイヤルボタンで押す ②0…トーン　1…メロディ ③パターン1～8（0～7）またはメロディ1～8（0～7）をダイヤルボタンで押す 0パターン1またはメロディ1（花） 1パターン2またはメロディ2（我は海の子） ABC2パターン3またはメロディ3（村まつり） DEF3パターン4またはメロディ4（むしのこえ） GHI4パターン5またはメロディ5（ジングルベル） JKL5パターン6またはメロディ6（ゆき） MNO6パターン7またはメロディ7（華麗なる大円舞曲） PQRS7パターン8またはメロディ8（カノン）	外線1 0:パターン1 外線2 0:パターン1
着信履歴保存設定 （ISDN回線またはナンバー・ディスプレイ契約時に有効） 着信履歴を保存するかどうかを設定します。	DEF3→GHI4	着信履歴を保存する外線番号（1、2）をダイヤルボタンで押す	12
外線転送登録設定（☛P81）* 主電話機の「共通設定」の「転送設定」で設定した転送設定のテーブル番号を選択します。	GHI4→1	セットする転送設定のテーブル番号（1～5）をダイヤルボタンで押す	－
外線転送利用（☛P81）* 外線への転送を行うかどうかを設定します。	GHI4→ABC2	0…無し　1…有り	0:無し
ワンタッチダイヤル登録（☛P30） 各電話機別で使用できるフレキシブルキーに外線電話番号を登録します。	JKL5→1	①登録するフレキシブルキーを押す ②名前を入力する→決定ボタン ③登録する電話番号をダイヤルボタンで押す	－
ワンタッチ内線機能登録（☛P92） 各電話機別に使用できるフレキシブルキーに内線番号やドアホン呼び出しなどの内線に関する機能を登録します。（☛P94）	JKL5→ABC2	①登録するフレキシブルキーを押す ②登録する機能を選択する 1…内線呼出→登録する内線番号をダイヤルボタンで押す（1～TUV8） ABC2…ドアホン呼出→登録するドアホン番号をダイヤルボタンで押す（1、ABC2） DEF3…一斉呼出 GHI4…受話増	－
ワンタッチ外線機能登録（☛P93） 各電話機別に使用できるフレキシブルキーにお待たせメッセージ機能（☛P90）や転送設定などの外線に関する機能を登録します。（☛P81）	JKL5→DEF3	①登録するフレキシブルキーを押す ②登録する機能を選択する 1…キーパッド送出 ABC2…外線転送利用* DEF3…転送設定→転送テーブル（1～5）をダイヤルボタンで押す* GHI4…お待たせ	－
受話音保持設定 受話音量（☛P99）を調節したとき、お話しが終わっても調節後の音量レベルのままにするかどうかを設定します。	MNO6→1	0…無し　1…有り	1:有り

＊ISDN回線ご利用時のみ有効

いろいろな機能を登録・設定するには（個別設定）

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
受話増保持設定 受話増機能（☛P100）で受話音量を調節したとき、お話しが終わっても調整後の音量レベルのままにするかどうかを設定します。	MNO 6 → ABC 2	0…無し　1…有り	0:無し
キータッチトーン 内線電話機のボタン操作時、短い発信音をスピーカから鳴らすかどうかを設定します。	PQRS 7 → 1	0…無し　1…有り	1:有り
着信履歴ランプ設定（☛P20） 確認していない新しい着信履歴があるときに、着歴ボタンのランプを赤く点滅させるかどうかを設定します。	PQRS 7 → ABC 2	0…無し　1…有り	1:有り
バージョン情報 主装置のバージョン情報を表示します。	TUV 8 → 1	（バージョン情報を表示します。設定・登録はできません）	―

いろいろな機能を登録・設定するには（留守設定）

主電話機では「留守設定」の登録・設定ができます。登録・設定が完了すると、登録確認音が鳴ります。

■各内線電話機から登録・設定できる機能（留守設定）

1 カレンダ・時計表示を確認し、ハンドセットを置いたままメニューボタンを押す。

2 メニューを表示して、DEF 3を押す。

1:共通設定
2:個別設定
3:留守設定

3 登録・設定内容に対応したダイヤルボタンを押す。

4 登録・設定を行う。

5 決定 ボタンを押す。

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
用件全消去 録音されている用件をすべて消去します。	1→1	0…（消去）しない 1…（消去）する	−
用件録音時間（☛P42） 1件あたりの用件録音時間を設定します。「無」に設定すると応答専用メッセージで応答します。	1→ABC 2	0…応答専用（無） 1…1件の録音時間（1分） ABC 2…1件の録音時間（2分） DEF 3…1件の録音時間（3分） GHI 4…1件の録音時間（4分） JKL 5…1件の録音時間（5分）	1:1分
留守応答着信回数（☛P42） 留守番電話が応答するまでの呼出音の回数を設定します。	1→DEF 3	0…トールセイバ 1～WXY 9…呼出音の回数（1～9回）	0:トールセイバ
アキュムレート録音（☛P43） 一度、留守番電話を解除して聞いた用件を消さずに留守番電話をセットできる機能です。	1→GHI 4	0…無し　1…有り	0:無し
外線別応答メッセージ（☛P103） 外線別に留守応答メッセージ1、2を使うかどうかを設定します。	1→JKL 5	①0…無し　1…有り ②「有り」の場合、外線ごとに応答メッセージ1、2を選択（お買い求め時は、応答メッセージ1が外線1、2に設定されています。ダイヤルボタン（1、ABC 2）を押すと、その外線が応答メッセージ2に設定されます。もう一度同じダイヤルボタンを押すと、その外線が応答メッセージ1に設定されます。設定されていない外線は「-」で表示されます。）	0:無し

いろいろな機能を登録・設定するには（留守設定）

登録・設定内容	手順3で押すダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の設定
応答回線種別（☛P44） 留守番電話が応答する回線を、外線着信、ダイヤルイン着信、内線着信それぞれに設定します。	1→6	①留守応答する外線をダイヤルボタンで押す。お買い求め時は、留守応答する外線が外線1、2に設定されています。ダイヤルボタン（1、2）を押すと、押した番号の外線の設定が解除され、「-」で表示されます。もう一度同じダイヤルボタンを押すと留守応答する外線が設定されます。→決定ボタン ②ダイヤルイン着信で留守応答をするかどうかを選択)*1 0…無し　1…有り ③内線着信で留守応答するかどうかを選択 0…無し　1…有り	①留守応答する外線 12 ②1:有り ③1:有り
録音レベル設定 用件録音および通話録音時の音量レベルを調整します。	1→7	0…標準　1…中　2…大	0:標準
留守転送（☛P55） 留守転送を行うかどうか、留守用件の転送先の登録、転送に使う外線の設定を行います。	2→1	①留守転送選択 0…無し　1…有り ②留守転送先の電話番号（32桁まで）をダイヤルボタンで押す→決定ボタン*2 ③転送に使う外線をダイヤルボタン（1、2）で入力して決定ボタンを押す	①0:無し ②－ ③－
留守モニタ（☛P97） 留守番電話に応答している相手の声をスピーカで確認するかどうかを設定します。	2→2	0…無し　1…有り	1:有り
リモート暗証番号（☛P49） 外出先から留守設定や転送設定などをリモコン操作するときに使う暗証番号を登録します。	2→3	リモート暗証番号（3～6桁）をダイヤルボタンで押す（消去するときはクリアボタンを押す）	－
在宅自動応答（☛P42） 留守番電話のセットを忘れたときに、外出先からリモコン操作できるかどうかを設定します。	2→4	0…無し　1…有り	1:有り
暗証スキップ 特定の電話番号を登録して、外出先からのリモコン操作時に暗証番号を使わずに操作するかどうかを設定します。	2→5	暗証スキップ電話番号（32桁まで）をダイヤルボタンで押す（消去するときはクリアボタンを押す）	－

＊1: 外線着信の音色を「メロディ」に設定している場合に、ダイヤルイン着信の留守応答を「有り」に設定すると、応答回線種別の設定にかかわらず外線着信に応答します。

＊2: 消去するには、クリアボタンを押します。

ご利用になれるオプション装置

ネットコミュニティシステム BX には、オプション装置として次のものが用意されています。ご利用いただくときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
なお、オプション装置をお使いいただくときは、それぞれの取扱説明書をよくお読みください。

■留守番停電電話機

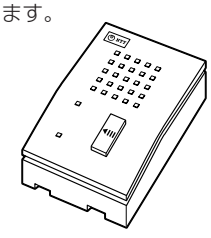
留守操作機能をご利用いただけます。
停電電話機として、ご利用いただけます。

■カールコードレス電話機

ベースセットから約半径80mの範囲で、ハンドセットを自由に持ち運びながらご利用いただけます。

■ドアホン

玄関先のドアホンからの呼び出しに内線電話機で応答したり、ドアホンの周囲の音を聞くことができます。ドアホンは2台まで接続できます。

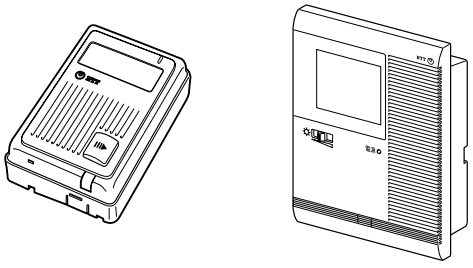


お知らせ

- カラーカメラドアホン、ドアホンは合わせて2台まで接続できます。
- カラーカメラドアホンと、カラーカメラドアホン-PⅡの混在はできません。
- カラーカメラドアホン-PⅡとドアホンの混在はできません。

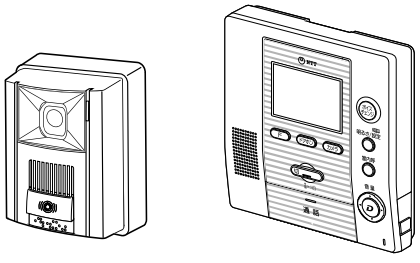
■カラーカメラドアホン
■カラーカメラドアホン用モニタ

玄関先の方をカラーカメラドアホン用モニタのディスプレイに映し出して、相手の方の顔を見ながら内線電話機でお話しをすることができます。カラーカメラドアホンは2台まで接続できます。



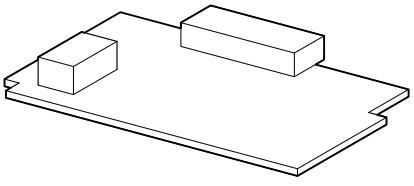
■カラーカメラドアホン-PⅡ
■カラーカメラドアホンモニタ-PⅡ

玄関先の方のカラー画像を、カラーカメラドアホンモニタ-PⅡで見ながらお話ししたり、自動または手動で録画（いずれも静止画像）したりできます。内線電話機からはカラーカメラドアホンからの呼び出しに応答できます。



■ドアホンユニット

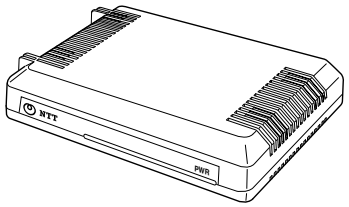
ドアホンおよびカラーカメラドアホンを主電話機に接続するために必要なオプション装置です。ドアホンを最大2台まで接続できます。



ご利用になれるオプション装置

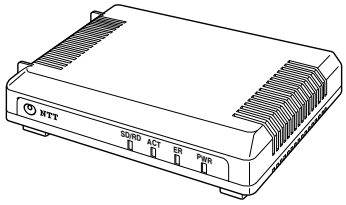
■電話機アダプタ

現在お使いの電話機を内線電話機としてお使いいただけます。また、ファクスを接続してお使いいただくこともできます。



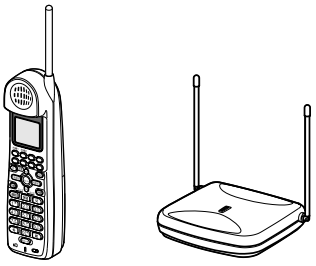
■パソコンアダプタ

パソコンアダプタを接続すると、内線でパソコンを使用することができて、インターネットなどにアクセスすることができます。



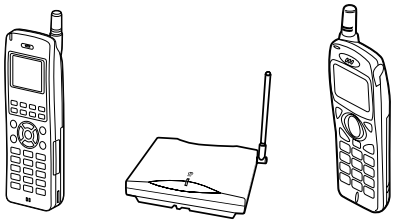
■アナログコードレス電話機
■アナログコードレスホン接続装置

アナログコードレスホン接続装置を使うと、内線電話機としてアナログコードレス電話機を増設することができます。



■ディジタルシステムコードレス電話機
■ディジタルコードレス電話機
■ディジタルシステムコードレス接続装置

ディジタルシステムコードレス接続装置を使うと、内線電話機としてディジタルコードレス電話機を増設することができます。また、ディジタルシステムコードレス接続装置には、当社のディジタルシステムコードレス電話機を接続してお使いいただけます。ネットコミュニティシステム BX と接続している場合は、ネットコミュニティシステム αGX ディジタルシステムコードレス電話機取扱説明書に記載されている表示のしかたと異なる場合があります。
接続できる機種については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。



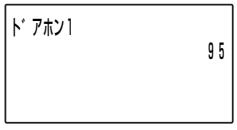
ドアホンとお話しするには

ドアホン（オプション）またはカラーカメラドアホン-PⅡセットおよびドアホンユニット（オプション）を接続しているときは、どの電話機でもドアホンからの呼び出しに応えたり、ドアホンの周囲の音を聞いたりすることができます。

ドアホンからの呼び出しに応答する

1 ドアホンからの呼び出しがあると、ドアホンのチャイム音が2回鳴り、内線ランプが点滅する。

ドアホンからの呼び出しであることが表示されます。



ドアホンを2台接続したときは、チャイム音が異なります。
ドアホン1:「ピーンポーン」
（ゆっくりとしたチャイム音）
ドアホン2:「ピンポン　ピンポン」（速いチャイム音）

2 ハンドセットを取りあげて、お話しをする。

緑・2回消える

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ドアホンの周囲の音を聞く

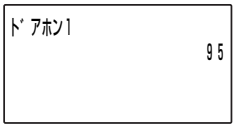
1 ハンドセットを取りあげる。

「プープープー…」という音を確認してください。

緑・2回消える

2 ドアホン番号（9 5 または 9 6）を押す。

ドアホンの周囲の音が聞こえます。ドアホン側の方とお話しすることもできます。



ドアホン1:9 5
ドアホン2:9 6

ワンポイント

- **カラーカメラドアホン-PⅡで周囲の音を聞いているときは**
  ハンドセットを取りあげて、ドアホン番号を押してから、約180秒間周囲の音を聞くことができます。
- **ドアホンを2台設置しているときは**
  1台のドアホン側の方とお話し中、もう1台のドアホンから呼び出されてもチャイム音は鳴りません。
- **ドアホンの名前を変更するには**
  「ドアホン1」「ドアホン2」と設定されている名前を変更することができます。（☛P94）

通話

▶ *内線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには（☛P106）*
▶ *外線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには（☛P106）*

お知らせ

- システム設定により、どの内線電話機をドアホンから呼び出すか指定をすることができます。指定した内線電話機以外ではチャイム音が鳴りません。（☛P129）
- ドアホンからの呼び出しに応答するときは、チャイム音が鳴り始めてから約20秒以内（カラーカメラドアホン-PⅡセット接続時は約30秒以内）に行ってください。この時間を超えると、ハンドセットを取りあげても応答することはできません。
- ドアホンの呼び出しをフレキシブルキーに登録することができます。（☛P103）
- カラーカメラドアホン-PⅡとのお話しは約180秒間で自動的に切れます。
- ドアホンとお話しをするときには、ハンズフリー通話の機能はご利用いただけません。

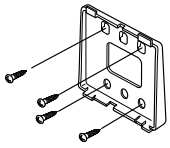
付属品／添付品をご利用になるには

その他のオプションをご利用になるには

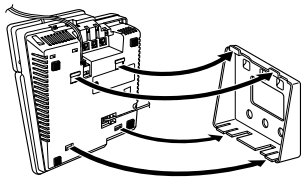
オプションの壁掛け用品をご利用いただくと、電話機を壁に掛けてお使いいただけます。

■電話機を壁に取り付ける

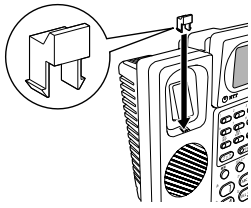
1. 壁掛け用品をネジで壁に取り付けます。



2. 電話機を壁掛け用品に取り付けます。
上側のツメをはじめに差し込み、次に下のツメを指で上にたわませながら差し込みます。



3. 壁掛け用品に添付されているハンドセット受けを電話機に取り付けます。



⚠注意

ご使用になる前に、確実に取り付けられているか確認してください。薄いベニヤ板や柔らかい壁などに取り付けると、重みでネジが抜けて電話機が落下し、故障やけがの原因となることがあります。

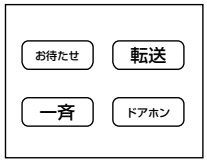
付属品をご利用になるには

■ワンタッチダイヤルカードを使う

1. 電話機パネルの下方の穴に、先のとがったものを差し込み、電話機パネルをはずします。

2. ワンタッチダイヤルカードを取りだし、ワンタッチダイヤルに登録した相手先を記入します。

3. フレキシブルキーに「お待たせ」「転送」などを登録しているときは、ワンタッチダイヤルカードに電話機用シールを貼りつけます。



4. ワンタッチダイヤルカードをセットして、電話機パネルの左側のツメを電話機に差しこみます。

5. 電話機パネルをたわませながら、右側のツメを電話機に差し込みます。

システム設定するとご利用になれる機能

主電話機からお客様が登録・設定できる機能のほか、システム設置時にあらかじめシステム設定で登録・設定しておく機能があります。システム設定すると、次の機能をご利用いただけます。
システム設定については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

保留・転送

■ハンドセットから保留メロディが聞こえないようにする（保留音受話）

通常は、外の相手の方とのお話しを保留したとき、ハンドセットから保留メロディが流れますが、保留メロディが聞こえず、内線発信音が倍の速さの音で聞こえるように設定することができます。

■長時間保留にした場合、回線を自動的に切断する時間を設定する（保留切断タイマ登録）

保留ボタンを押してから、システム設定した時間が経過すると、電話が切れるように設定することができます。ただし、共通設定で「保留警報音送出タイマ」（☛P116）を「1」以上で設定していることが必要です。

発信

■固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する

システム設定により、携帯電話に電話をかけるとき、回線別にあらかじめ設定された事業者識別番号を、ダイヤルした携帯電話番号の前に自動付与します。自動付与するかどうかの設定は、各内線電話機で回線ごとに設定します。（☛P95）ただし、PHSへの通話にはご利用いただけません。携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など一部ご利用いただけない番号があります。留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話などには電話番号の前に「0000」（事業者識別番号付与解除番号）を付けてダイヤルしてください。一時的に、事業者識別番号を自動付与したくない場合、携帯電話番号の前に「0000」（事業者識別番号付与解除番号）をダイヤルします。この場合、従来どおり各携帯電話会社が設定する料金でのご利用となります。

アナログ2回線利用

■アナログ2回線利用

主電話機にはアナログ回線の差込口を2つ搭載しています。アナログ回線を2回線ご利用になれます。アナログ回線を追加する場合は、別途当社との利用契約（有料）が必要です。

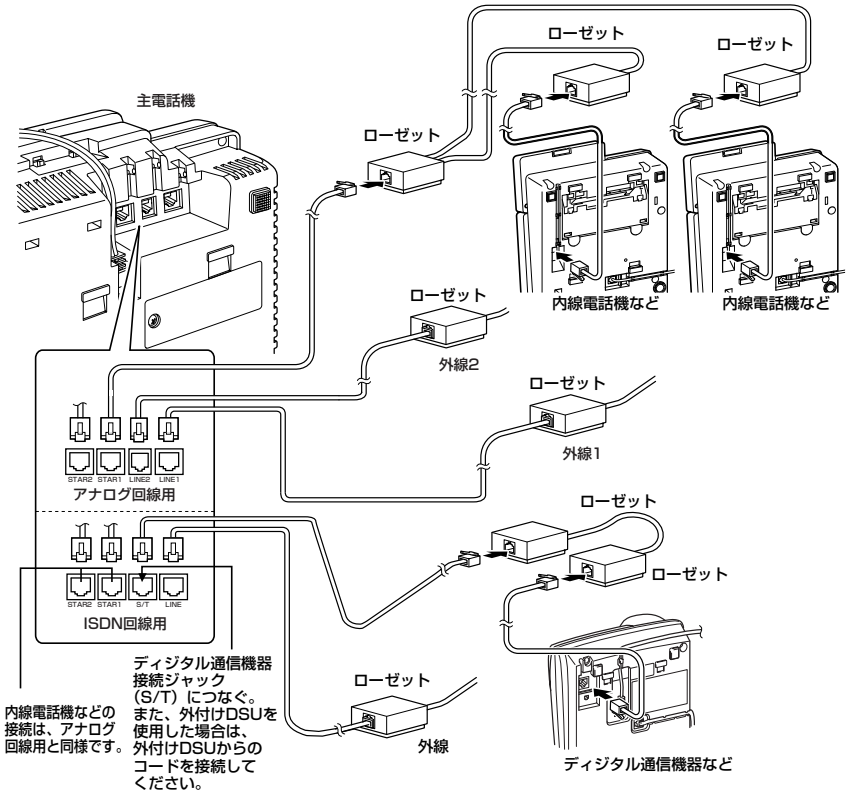
ドアホン

■指定した内線電話機のみ、ドアホンから呼び出すようにする（ドアホン鳴動電話機設定）

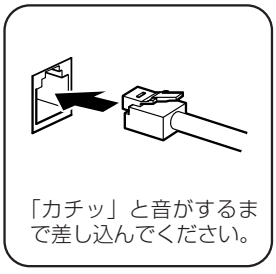
ドアホンから呼び出すことができる内線電話機を指定することができます。指定した内線電話機以外ではチャイム音が鳴りません。

設置と接続について

最初に設置される場合、内線電話機を増設されたり移設される場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。内線電話機とローゼットは、電話機コードで接続されていますが、お手入れするときなど、コードを外されて再度接続するときは、間違えないようにご注意ください。

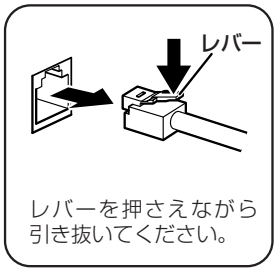


●ハンドセットコードや電話機コードを差し込むとき



「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

●ハンドセットコードや電話機コードを引き抜くとき



レバーを押さえながら引き抜いてください。

ワンポイント

●内線番号を変更するときは

当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

●現在お使いの電話機などを接続するには

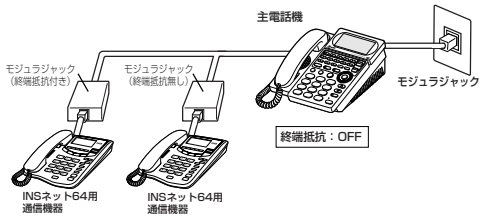
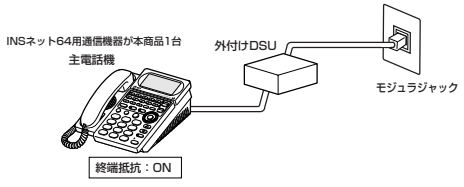
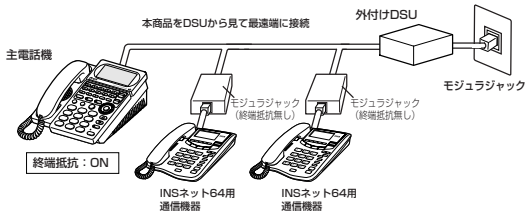
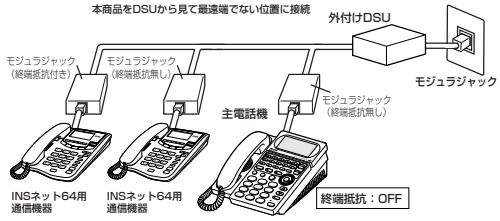
現在お使いの一般の電話機、コードレス電話機、留守番電話機、ファクス、モデムなどの接続については、必ず当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

お知らせ

- 接続する場合、電話機コードを差し込んでから主電話機の電源を入れてください。また、接続し直すときも同様の手順で接続してください。
- 停電時は、ISDN回線用主電話機に接続したディジタル通信機器などは利用できません。
- 外付けDSUを使用する場合は、DSU切替スイッチを必ず「無」に設定してください。
- 回線を抜き差しした後は、回線の極性を検出するため、約10秒以上待ってからご使用ください。

INSネット64用通信機器を接続する場合の各スイッチの設定

本商品のほかに、INSネット64用通信機器を最大7台まで接続して使用できます。
接続方法によってDSU切替スイッチ、終端抵抗スイッチの設定が異なりますので、次の表でご確認ください。

接続方法		DSU切替スイッチ	終端抵抗スイッチ	接続図
内蔵DSU	主電話機にディジタル通信機器が1台接続する場合で、接続ケーブルが10m以下の場合	有	ON	
	主電話機にディジタル通信機器が1台で接続ケーブルが10m以上の場合、および2～7台接続する場合	有	OFF	
外付けDSU	主電話機のみを接続する場合	無	ON	
	主電話機がDSUから最遠端の場合	無	ON	
	主電話機がDSUから最遠端でない場合	無	OFF	

※　モジュラジャックの有無は、接続のしかたによって異なります。

停電になったときは

停電時は、留守番機能やナンバー・ディスプレイを利用した機能はご利用いただけません。また、停電中は、すべての内線電話機のランプとディスプレイの表示が消えます。
主電話機では、電話をかけたり、受けたりすることはできますが、ダイヤルボタン以外のボタンを押して利用することはできません。

●停電時には以下のことにご注意ください

停電になったとき	主電話機	外の相手の方とお話し中	ISDN回線用主電話機では電話は切れます アナログ回線用主電話機では電話は切れる場合があります
		スピーカ受話中	電話は切れます
		内線やドアホンとのお話し中	電話は切れます
	アナログ回線留守番停電電話機	外の相手の方とお話し中	外線1でお話し中の場合は切れます 外線2でお話し中の場合はお話しを続けることができます
		保留中	電話は切れます
		スピーカ受話中	電話は切れます
		内線やドアホンとのお話し中	電話は切れます
	主電話機以外の内線電話機	外の相手の方とお話し中	電話は切れます
		スピーカ受話中	電話は切れます
		内線やドアホンとのお話し中	電話は切れます
停電中	主電話機 またはアナログ回線留守番停電電話機	電話をかけるには	ハンドセットを取りあげてから、ダイヤルボタンを押してかけてください
		電話がかかってきたときは	ハンドセットを取りあげてお話ししてください
		電話がかかってきたときは（ナンバー・ディスプレイをご利用のとき）	応答時に「ビュッ」という音が聞こえることがあります。この場合は一度電話を切って、再度着信音が聞こえてから応答すると、相手の方とお話しができます
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません
	主電話機および、アナログ回線留守番停電電話機以外の内線電話機	電話をかけるには	電話はかけられません
		電話がかかってきたときは	着信音が鳴らず、電話は受けられません
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません
停電が復旧したとき	主電話機	外の相手の方とお話し中	電話は切れます
	アナログ回線留守番停電電話機	外の相手の方とお話し中	お話しは続けることができます

お知らせ

- 停電中は、カレンダ・時計表示は消えますが、設定内容はそのままです。
- 停電中の着信音は、通常時とは異なります。
- 内線電話機として留守番停電電話機が接続されていても停電時には、発信や着信など、すべての機能をご利用いただくことができません。
- 停電中は、事業者識別番号付与(☛P95)による事業者識別番号の自動付与は、ご利用いただくことができません。

こんな音がしたら

●こんな音がしたら

	音		こんなときに…	音の意味
電話をかける／受ける	プープープー…（内線発信音）		ハンドセットを取りあげたとき、または(wxyz 9) ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せます
	ツー（外線発信音）		外線ボタンまたは外線ボタンを押したとき	電話をかけられます
	プーップーッ…（話中音）		電話をかけた相手の方がお話し中のとき、または他の内線電話機が使用中のとき	お話し中です
	プルルル…（外線着信音）＊1 ＊2		外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
	プルル…（話中外線着信音）		内線でお話し中に外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
	ピルルル…（停電時着信音）		停電中に外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
	プルルルップルルルッ…（CES/PBX着信音）＊1		CES（事業所集団電話）やPBX（構内交換機）の内線から電話がかかってきたとき	CES（事業所集団電話）やPBX（構内交換機）の内線から電話がかかってきています
	ププップププッ…（内線呼出音）＊3		他の内線電話機を呼び出しているときまたは呼び出されているとき	他の内線電話機を呼び出しているか、呼び出されています
	ピーピー…（保留警報音）		保留の状態が続いたとき	保留状態が続いています
	高音のプルルル…（お待たせ中音）＊1		電話に出られないとき	お待たせメッセージで相手を待たせています。
登録設定	ピー（登録確認音）		登録を受け付けたとき	登録されました
	ピピピピピ（登録エラー音）		登録に誤りがあるとき	登録エラーがありました
その他	ピーンポーン（ドアホン1チャイム音）		ドアホン1から呼び出されたとき	ドアホン1から呼び出されています
	ピンポン、ピンポン（ドアホン2チャイム音）		ドアホン2から呼び出されたとき	ドアホン2から呼び出されています
	ピッ（キータッチトーン）		ボタンを押したとき	ボタンが押されました
	メロディ	（保留音）＊1	電話を保留したとき	電話が保留されています
		（外線着信音）＊1 （CES/PBX着信音）＊1 （お待たせ中音）＊1	外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています

＊1　設定によりメロディや音を切り替えることができます。（☛P116、120、121）

＊2　INSダイヤルイン、モデムダイヤルイン、ｉ・ナンバー契約時に鳴動指定を１台のみに登録した場合、着信音は通常の着信音と異なります。

＊3　設定により音を切り替えることができます。（☛P120）

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理に出す前に次の点をご確認ください。

●電話機（電話をかける／受ける）

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
全部の内線電話機が使えない	主電話機の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	――
	主電話機とローゼットが接続されていない	主電話機とローゼットを正しく接続してください	☛P130
一部の内線電話機が使えない	主電話機または他の内線電話機の電話機コードが抜けている	電話機コードを正しく接続してください	☛P130
ダイヤルできない	共通禁止番号が設定されている	故障ではありません	☛P114
着信音が鳴らない	着信音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	――
	着信音量が「切」になっている	着信音量を「大」「中」「小」のどれかにしてください	☛P99
「ツー」という発信音が聞こえない	他の内線電話機が使用している	他の内線電話機のお話しが終わってからかけ直してください	――
共通電話帳が登録できない	主電話機以外の内線電話機から行っている	主電話機で登録してください	☛P32
	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	☛P32
個別電話帳が登録できない	他の内線電話機が電話帳登録操作を行っている	他の内線電話機の登録操作が終わってから登録してください	――
	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	☛P32
カレンダ・時計が設定できない	主電話機以外の内線電話機から行っている	主電話機で設定してください	☛P24
内線で呼び出すと「プーップーッ…」という音が聞こえ、呼び出せない	相手の電話機がお話し中	故障ではありません	☛P39
	内線番号が違う	内線番号を確認してください	――
内線で呼び出すと他の内線電話機の呼出音が鳴る	内線番号が違う	内線番号を確認してください	――
ディスプレイに「受話器はずれ」と表示される	スピーカ受話またはハンズフリー通話終了後、内線1ボタン、内線2ボタンまたは9 ボタンを押していない	いったんハンドセットを取りあげてから、置き直してください	――
停電時に電話をかけられない	主電話機以外の内線電話機を使っている	主電話機でかけてください	☛P132
外線ランプが使用中表示（赤点灯）していて使えない	他の内線電話機が使用している	故障ではありません	――

●電話機（留守番機能）

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
留守番電話のセット／解除ができない	通話中もしくは着信中	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	☛P44、45
応答メッセージ1で留守番電話をセットできない	応答メッセージ1が録音されていない（応答1ランプが消えている）	応答メッセージ1を録音してください	☛P47
	停電のため	故障ではありません	☛P132
留守番電話をセットしたとき、応答メッセージが聞こえない	応答メッセージを録音するとき、無音で録音した	もう一度録音をやり直してください 応答メッセージ（無音）を消去し再度録音をやり直してください	☛P47
	スピーカ音量が小さくなっている	スピーカ音量を調節してください	☛P99
応答メッセージ2で留守番電話をセットできない	応答メッセージ2が録音されていない（応答2ランプが消えている）	応答メッセージ2を録音してください	☛P47
	留守番電話をセットしたあと、応答メッセージ2を再生しなかった	留守番電話をセットしたあとで、応答メッセージ2を再生してください	☛P44
	停電のため	故障ではありません	☛P132
応答メッセージを録音／再生／消去できない	通話中もしくは着信中	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	――
留守番電話セット中に応答しない	停電のため	故障ではありません	☛P132
内蔵の応答専用メッセージに変わる	録音エリアが満杯なため	録音されている用件を確認して消去してください	☛P44
用件がきちんと録音されない	相手の方の声が小さかったため	故障ではありません	☛P46
	相手の方が最初から約10秒間、何も話さなかったため	故障ではありません。最初から約10秒間、何も話されなかったら録音されずに用件は終了します	☛P46
	回線状態が悪いため	用件が不明瞭に聞こえますが、故障ではありません	――
	相手の方が何も話さずに電話を切った	故障ではありません	☛P46
	お話しの途中で録音が満杯になったため	故障ではありません	☛P44
用件が録音できない	用件録音時間の設定が「無」（応答専用）に設定されている	設定を変更してください	☛P123
	用件が59件録音されている	録音されている用件を確認してから消去してください	☛P44
	用件が合計で約15分録音されている	録音されている用件を確認して消去してください	☛P44
用件を再生／消去できない	通話中もしくは着信中のため	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	☛P44

故障かな？と思ったら

（つづき）

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
留守番電話をセットしていないのに応答する	在宅自動応答を「有り」にしている	応答しないようにするには、在宅自動応答を「無し」にしてください	☛P124
留守番電話を解除したとき用件の件数がスピーカから流れない	スピーカ音量が小さくなっている	スピーカ音量を調節してください	☛P99
応答するまでの着信音の回数が違う	トールセイバに設定されている	留守応答着信回数の設定を変更してください	☛P123
留守転送しない	転送先の電話番号が登録されていない	転送先の電話番号を登録してください	☛P55
	転送をセットしていない(ディスプレイに「留守転送」の文字が表示されていない)	転送をセットしてください	☛P55
	転送先がお話し中のため	故障ではありません	☛P55
	転送先で電話に出なかったため	故障ではありません	☛P55
	用件がきちんと録音されていない	故障ではありません	☛P46
	用件が満杯になっていて、録音されていない	録音されている用件を再生して消去してください	☛P46
	留守番電話をセットしていない	留守番電話をセットしてください	☛P44
転送されてきた用件を聞けない	転送先の電話でプッシュ信号を送ることができない	プッシュ信号を送ることのできる電話機を転送先にしてください	☛P48
留守モニタができない	留守モニタを「無し」に設定している	留守モニタを「有り」に設定してください	☛P97、124
用件がすぐ満杯になる	アキュムレート録音を「有り」に設定している	アキュムレート録音を「無し」に設定してください	☛P123

●リモコン操作

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
外出先からのリモコン操作ができない	リモート暗証番号が登録されていない	リモート暗証番号を登録してください	☛P49
	プッシュ信号の出せる電話機で操作していない	プッシュ信号の出せる電話機で操作してください	☛P48
	リモート暗証番号を間違って押した	正しいリモート暗証番号を押してください	☛P103
	最初の ㊋ ボタンが認識されない	最初の ㊋ ボタンを応答メッセージが止まるまで長めに押してください	☛P50
	携帯電話を使って操作した	音声の再生が終わってから操作してください	☛P50

索　引

アルファベット

CES（事業所集団電話）……27
CNG検出時間……117
DI着信先設定 ……116
DP/PB切替スイッチ ……18
DSU切替スイッチ……18、131
F/T応答ガイダンス選択 ……117
F/T切替即時鳴動 ……117
FAX/TEL切替設定 ……117
FAX/TEL呼出回数 ……117
FAX自動転送設定 ……116
FAX接続内線 ……117
FAX着信通知先設定 ……117
FAX呼出信号設定 ……116
INSダイヤルイン ……61、70
　INSダイヤルインの設定……65
INSナンバー・ディスプレイ ……61、67
INSナンバー・リクエスト ……61
INSネーム・ディスプレイ ……61
INSネット64用通信機器を接続する……131
INSネットサービス ……61
INSボイスワープ ……61、89
INSマジックボックス ……61
INSメッセージ到着お知らせサービス ……61
ISDN回線……26
ISDN料金表示設定 ……114
i・ナンバー……61、70
　i・ナンバーサービス……70
　i・ナンバー設定 ……116
　設定する ……62
　設定例 ……63
Lモード……72、74、76
ND通知先設定 ……118
PBX（構内交換機）……26、27

五十音

【ア行】

アイコン ……34、57
アキュムレート録音……43、123
アナログ2回線利用 ……129
アナログコードレス電話機……13、126
アナログコードレスホン接続装置……13、126
アンサートークバック ……60
暗証スキップ……124
暗証スキップ電話番号……103
一斉呼出 ……39
居留守応答 ……97
いろいろな機能を登録・設定するには
　共通設定……113
　個別設定……120
　留守設定……123
応答1ボタン……16
応答1ランプ……20
応答2ボタン……16
応答2ランプ……20
応答回線種別……44、124
応答専用 ……42、44
応答専用メッセージ ……41
応答メッセージ
　応答メッセージを録音する ……47
　外線別に応答メッセージを分ける……103
　内蔵の応答メッセージ ……42
お話しをスピーカで聞く……106
お話しを録音する ……97
オプション……125
オフフック外線捕捉……113
お待たせ中着信音……116
お待たせメッセージ ……90
お待たせメッセージ回数……116
お待たせ呼出回数……116
オンフックダイヤル ……25
音量調節ボタン ……16、17
音量を調節する……99、100

【カ行】

カールコードレス電話機……13、125
外出先から用件を聞く ……50、52
回線強制切断時間……119
外線コード差込口 ……19
外線着信 ……27
外線着信音ミュート ……99
外線転送開始タイマ……118
外線転送登録設定……121
外線転送呼出時間……119
外線転送利用……121
外線発信 ……25
外線別応答メッセージ……123
外線別に応答メッセージを分ける……103
外線ボタン ……16、17
外線ランプ ……20
かかってきた電話にかけ直す ……57
かかってきた電話をすべて転送する ……83
各部の名前
　主電話機 ……16、18、19
　標準電話機 ……17、19
かけてきた方の電話番号と名前を登録する ……58
壁に取り付ける
　壁掛け用穴 ……19
　電話機を取り付ける……128
カラーカメラドアホン……13、125
カラーカメラドアホン-PⅡ ……13、125
カラーカメラドアホンモニタ-PⅡ ……12、125
カラーカメラドアホン用モニタ……12、125
カレンダー設定……24、119
キータッチトーン……122
機能ボタン ……16、17
キャッチホンサービス ……98
共通許可番号……114
共通禁止番号 ……104、114
共通設定……113
共通設定メニュー……107
共通電話帳登録……113
緊急番号登録……66、114
クリアボタン ……16、17
グループで検索する ……37
グループ名称設定……113

索　引

携帯電話番号を登録する……102
警報音……101
決定ボタン……16、17
故障かな？と思ったら……134
固定電話から携帯電話への通話サービスを
利用するには……26、95、129
個別設定……111、120
個別電話帳登録……120
こんな音がしたら……133

【サ行】

再ダイヤル……29
在宅自動応答……42、124
削除番号……114
サブアドレス設定……115
サブアドレス通知サービス……61、70
サブアドレスを登録する……102
識別着信電話番号……115
事業者識別番号設定……114
事業者識別番号付与……95、120
システム構成図……12
システム情報……111
システム設定……129
指定番号着信拒否……69
自動応答……42
終端抵抗スイッチ……18、131
収容回線番号設定……113
主装置内蔵電話機……15、16
受話音保持設定……121
受話音量を調節する……99
受話口……16、17
受話増機能……100
受話増保持設定……122
仕様……149
消去ボタン……16
初期化……8
スピーカ……16、17
スピーカ音量を調節する……99
スピーカボタン……16、17
スピーカランプ……20
設置と接続……130
送話口……16、17
外から特定の電話機を呼び出す……70

【タ行】

タイムスタンプ……45、46
ダイヤルインサービス……70
ダイヤルインの割り当て設定例……65
ダイヤルボタン……16、17、23
ダイレクトリモコン……52
ダイレクトリモコン操作番号……53
対話形式で聞こえる音声……51
対話形式でリモコン操作をする……50
短縮ボタン……16、17
着信音（CES/PBX）……121
着信音（外線一般）……120
着信音（内線）……120
着信音の音量を切り替える……99
着信拒否ガイダンス……104、115
着信拒否設定……69、115
着信拒否番号……115
着信履歴……57、69
　着信履歴から電話帳に登録する……58
　着信履歴からワンタッチダイヤルに登録する……58
着信履歴保存設定……121
着歴/戻るボタン……16、17
着歴ランプ……20
通話中呼出設定……117
通話中録音……97
ディジタルコードレス電話機……13、126
ディジタルシステムコードレス電話機……13、126
ディジタルシステムコードレス接続装置……13、126
ディジタル通信機器接続ジャック……19、130
ディスプレイ……16、17
　ディスプレイの表示……105
　ディスプレイの見かた……21
　ディスプレイの文字表示例……22
停電になったとき……132
電源コード……18、19
転送先リスト……78、118
転送設定……79、118
転送電話……69、77
　かかってきた電話をすべて転送する……83
　検索順位……82
　条件を設定する……79
　転送先リスト……78
　転送電話とは……77
　転送電話の設定例……83、86
　転送電話を解除する……85、88
　転送電話をセットする……81
　特定の相手先からの電話を転送する……86
　発信者電話番号リスト……78
　保留中の外線を他の外線電話へ転送する……101
　リモコン操作をする場合……82
電話がかかってきたとき……27
電話機アダプタ……13、126
電話機規制クラス……114
電話機コード差込口
　外線コード差込口……19
　内線電話機コード差込口……19
電話機ごとに名前を登録する……94
電話機用シール……15、128
電話帳
　検索する……37
　電話帳ボタンから登録する……32
　電話帳を使って電話をかける……37
　名前の入力……35
　フリガナの入力……35
　メニューから登録をする……33
電話帳検索……113、120
電話帳検索モード設定……113
電話帳識別着信設定……115
電話帳ボタン……16、17
電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録する……102
電話番号を確認してからかける……26
電話をかける……25

電話を取りつぐ ……39
ドアホン……12、125
ドアホンとお話しする……127
ドアホンネーム登録……94、117
ドアホン鳴動電話機設定……129
ドアホンユニット……12、125
トールセイバ……42、103
時計設定……24、119
特定の相手先からの電話を転送する ……86

【ナ行】

内線通話 ……40
内線電話機コード差込口 ……19
内線ネーム登録……94、117
内線ボタン ……16、17
内線ホットライン……117
内線呼出音設定……117
内線ランプ ……20
内蔵の応答メッセージ ……42
長い電話番号をかける……106
名前の入力 ……35
鳴り分けサービス……115
ナンバー・ディスプレイ ……67
入力モードを切り替える ……36
ネーム・ディスプレイ ……68

【ハ行】

バージョン情報……122
廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意……8
パソコンアダプタ……13、126
発ID受信回線設定 ……115
発アドレス設定……113
発信者氏名登録機能 ……69
発信者電話番号リスト……78、118
発信者番号通知サービス ……61
発信電話番号着信音設定 ……69
発信電話番号表示サービス ……67
発歴ボタン ……16、17
番号でできるリモコン操作 ……53
番号でリモコン操作をする ……52
ハンズフリー通話
　外線電話を受ける ……60
　外線電話をかける ……59
　内線電話を受ける ……60
　内線電話をかける ……59
ハンドセット ……16、17
　置いたまま受ける ……60
　置いたままかける ……25、59
　取りあげてかける ……25
ハンドセットコード ……16、17
ハンドセットコード差込口 ……19
日付と時刻の設定 ……24
標準電話機 ……12、15
付属品……15、128
フックスイッチ ……16、17
フックボタン ……16、17
プッシュホンサービス ……98
フリガナで検索する ……37
フリガナの入力 ……35
プリセットダイヤル ……26
フレキシブルキー ……16、17、46
　外線機能を登録する ……93
　登録できる機能 ……103
　内線番号を登録する ……92
フレキシブルキーランプ ……20
保守サービスのご案内……150
ボタンと文字の対応表 ……36
保留 ……28
保留音切替……116
保留音受話……129
保留警報音送出タイマ……116
保留切断タイマ登録……129
保留中の外線を他の外線電話へ転送する……101
保留転送 ……39
保留ボタン ……16、17
保留メロディ ……28
本体
　主装置内蔵電話機（主電話機）……15
　標準電話機 ……15

【マ行】

マイク ……16、17
マイクボタン ……16、17
マイクランプ ……20
マジックボックス ……72、73、74、76
ミックスダイヤル……106
メ有り通知先設定……73、118
メッセージ到着お知らせサービス ……72、74
メニュー
　項目の選択方法 ……23
　メニュー画面での操作 ……23
　メニューの操作 ……23
メニューの流れ
　共通設定……107
　個別設定……111
　留守設定……112
メニューボタン ……16、17
メモリ番号 ……32、33
メモリ番号で検索する ……38
モデムダイヤルイン ……70
モデムダイヤルインサービス ……70
モデムダイヤルイン設定……115

【ヤ行】

用件
　外出先から用件を聞く ……50、52
　外出先へ転送する ……54
　転送先で用件を受ける ……56
　転送先を登録してセットする ……55
　用件全消去 ……123
　用件録音時間 ……123
　用件を聞く ……46
　用件を消去する ……46
　録音可能時間を確認する……105

索　引

【ラ行】

ランプの表記……20
リモート暗証番号……124
　リモート暗証番号を消去する……49
　リモート暗証番号を登録する……49
　リモート暗証番号を変更する……49
　リモート暗証番号を間違えたとき……103
リモコンカード……145
リモコン操作……48
　ダイレクトリモコン操作番号……53
　対話形式でリモコン操作をする……50
　転送電話を設定したとき……82
　番号でリモコン操作をする（ダイレクトリモコン）52
　リモコン操作でできること……48
　リモコン操作で転送電話をセットする……81
　留守番電話をセットする……53
履歴を削除する……57
留守応答着信回数……42、123
留守設定……112、123
留守操作表示ランプ……20
留守操作ボタン……16
留守操作モード……45、46
留守転送……54、124
　転送先で用件を受ける……56
　転送先を登録してセットする……55
　転送とは……54
留守番停電電話機……12、125
留守番電話
　内蔵の応答メッセージ……42
　留守番電話の便利な使いかた……42
　留守番電話を解除する……45
　留守番電話をセットする……44
　録音可能時間を確認する……105
　録音された用件を聞く……46
録音レベル設定……124
留守ボタン……16、44、45
留守モニタ……124
留守ランプ……20
録音可能時間を確認する……105
録音された用件を聞く……46

【ワ行】

ワンタッチダイヤルカード……128
ワンタッチ外線機能登録……121
ワンタッチ内線機能登録……121
ワンタッチダイヤルで電話をかける……31
ワンタッチダイヤルを登録する……30
ワンタッチダイヤル登録……121

Netcommunity SYSTEM BX

主電話機

操作早見表

NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

記号説明

ハンドセットを取りあげます

ハンドセットを置きます

外線ボタン

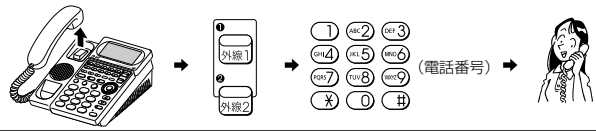
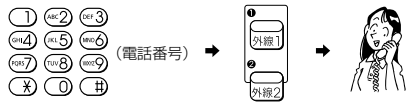
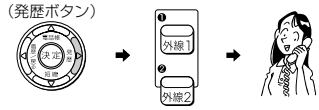
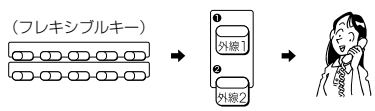
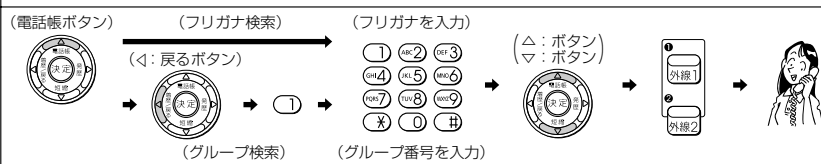
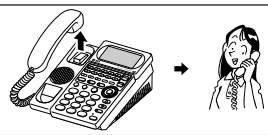
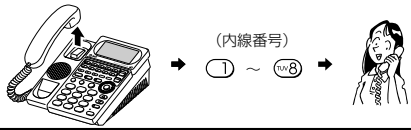
各ボタンを押します

ダイヤルボタンを押します

それぞれのボタンを押します

ハンドセットでお話しします

電話をかける／受ける

項　目	操　作　手　順
外へ電話をかける（外線発信）	
サブアドレスを指定してかける（ISDN回線利用時）	
ハンドセットを置いたままで電話をかける（オンフックダイヤル）	
電話番号を確認してから電話をかける（プリセットダイヤル）	
同じ相手にかけ直す（再ダイヤル）	
ワンタッチダイヤルでかける	
短縮ダイヤルでかける	
フリガナ、グループ名を検索してかける	
電話を受ける（外線着信）	
内線でお話しをする	

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

音量の調整

項　目	操　作　手　順
スピーカ音量を調整する	スピーカ受話中に音量△ボタン、または音量▽ボタンを押す △音量▽ 音量を調整する
着信音量を調整する	ハンドセットを置いたまま音量△ボタン、または音量▽ボタンを押す △音量▽ 音量を調整する
ハンドセット受話音量を調整する	お話し中に音量△ボタン、または音量▽ボタンを押す △音量▽ 音量を調整する または お話し中に音量△ボタンを2秒以上押す（受話増機能） △音量▽ 音量を調整する 通常の状態に戻すには音量▽ボタンを2秒以上押す

通話中の機能

項　目	操　作　手　順
お話し中に相手の方に待っていただく（保留）	お話し中に 保留 ➡ …… ➡ ➡ ➡
電話を取りつぐ（保留転送）	お話し中に 保留 ➡ （内線番号）①～⑧ ➡ 相手がハンドセットを取って応答したら
キャッチホンサービスを利用する（アナログ回線利用時）	お話し中にキャッチホンの信号音が聞こえたら ➡ フック ➡ かけてきた相手の方とお話しをする ➡ フック ➡ 前の相手の方とお話しをする
プッシュホンサービスを利用する（DP→PB切替）	電話がつながったら ＃ ➡

Netcommunity SYSTEM BX

主電話機

操作早見表

NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

いろいろな登録設定

項　目	操　作　手　順
フレキシブルキーに電話番号を登録する（ワンタッチダイヤル）	メニュー ➡ 2 ➡ 5 ➡ 1 ➡ （フレキシブルキー）*1 ➡ 名前を入力する ➡ 決定 ➡ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ¥ 0 # （電話番号） ➡ 決定
電話帳に登録する	メニュー ➡ 1 ➡ 1 ➡ 1：共通電話帳*2 / 2 ➡ 1 ➡ 1：個別電話帳 ➡ 名前を入力する ➡ 決定 ➡ フリガナを入力する ➡ 決定 ➡ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ¥ 0 # （電話番号） ➡ 決定 ➡ グループを選択する ➡ 決定 ➡ アイコンを選択する ➡ 決定 ➡ （メモリ番号） 0 0 0 ～ 2 9 9：共通電話帳 / 3 0 0 ～ 3 0 9：個別電話帳 ➡ 決定
フレキシブルキーに内線機能を登録する	メニュー ➡ 2 ➡ 5 ➡ 2 ➡ （フレキシブルキー）*1 ➡ 1：内線呼出 ➡（機能番号）➡ 1 ～ 8（内線番号）➡ 決定 ➡ 2：ドアホン呼出 / 3：一斉呼出 / 4：受話増 ➡（機能番号）➡ 1 または 2（ドアホン番号）➡ 決定
フレキシブルキーに外線機能を登録する	メニュー ➡ 2 ➡ 5 ➡ 3 ➡ （フレキシブルキー）*1 ➡ 1：キーパッド送出 / 2：外線転送利用*3 / 3：転送設定*3 / 4：お待たせ ➡（機能番号） 3：転送設定*3 ➡（転送テーブル）1 ～ 5 ➡ 決定
電話機ごとに名前を登録する*2（内線ネーム登録）	メニュー ➡ 1 ➡ 7 ➡ 1 ➡ 1 ～ 8（内線番号）➡ 決定 ➡ 名前を入力する ➡ 決定

＊1 フレキシブルキー（ワンタッチボタン）
＊2 主電話機からのみ登録できます。
＊3 ISDN 回線ご利用時のみ有効

ドアホンをお取り付けのお客様へ

項　目	操　作　手　順
ドアホンとお話しをする	ドアホンからの呼び出し ➡ ➡
ドアホンの周囲の音を聞く	➡（ドアホン番号）9 5：ドアホン1 / 9 6：ドアホン2

操作早見表

NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

留守番電話として使う

項　目	操　作　手　順
留守番電話をセットする／解除する	留守
用件1件あたりの録音時間を設定する	メニュー ➡ 3 ➡ 1 ➡ 2 ➡ （用件録音時間） 0 …無（応答専用）　1 …1分 2 …2分　3 …3分 4 …4分　5 …5分
応答メッセージを外線ごとに設定する	メニュー ➡ 3 ➡ 1 ➡ 5 ➡ （外線別応答メッセージ選択） 0 ：無し（解除） 1 ：有り ➡ 応答2で応答する外線番号を選択（1 ～ 2） ➡ 決定
留守応答着信回数を設定する	メニュー ➡ 3 ➡ 1 ➡ 3 ➡ （留守応答着信回数） 0 …トールセイバ　1 …1回 2 …2回　3 …3回 4 …4回　5 …5回 6 …6回　7 …7回 8 …8回　9 …9回
在宅自動応答を設定する	メニュー ➡ 3 ➡ 2 ➡ 4 ➡ （在宅自動応答） 0 ：無し 1 ：有り
アキュムレート録音を設定する	メニュー ➡ 3 ➡ 1 ➡ 4 ➡ （アキュムレート録音） 0 ：無し 1 ：有り
用件を再生する	留守操作 ➡ 7 再生 ➡ 用件をもう一度聞く　6 戻し 用件をとばして次の用件を聞く　8 送り 再生を途中で止める　9 停止 用件を消去する　消去 ➡ 9 停止 ➡ 留守操作

Netcommunity SYSTEM BX　主電話機

操作早見表

NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

項　目	操　作　手　順
用件を消去する	消去する用件の再生中に　消去
用件をすべて消去する	メニュー ➡ 3 ➡ 1 ➡ 1 ➡（用件全消去）0：しない／1：する または 消去 を押しながら 留守
応答メッセージを録音する	応答1 または 応答2 ➡ ➡ 録音が終わったら ＃ ➡
応答メッセージを再生する	応答1 または 応答2 ➡ ➡ 再生が終わったら ➡
応答メッセージを消去する	消去 を押しながら 応答1 または 応答2
リモート暗証番号を登録する	メニュー ➡ 3 ➡ 2 ➡ 3 ➡ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 ＃（リモート暗証番号 3～6桁数字）➡ 決定
暗証スキップ番号を登録する	メニュー ➡ 3 ➡ 2 ➡ 5 ➡ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 ＃（暗証スキップ電話番号）➡ 決定
用件の転送先電話番号を登録してセットする／解除する	メニュー ➡ 3 ➡ 2 ➡ 1 ➡ ➡（留守転送選択）0：無し（解除）／1：有り ➡ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 ＃（転送先電話番号） ➡ 決定 ➡（転送に使う外線番号）1 2 ➡ 決定

■リモコンカード

Netcommunity SYSTEM BX　留守番電話のリモコン操作　NTT

この操作は必ずプッシュホン（またはプッシュ信号を送ることのできる電話機）で行ってください。

1 ネットコミュニティシステム BXに電話をかけます。

2 応答メッセージが聞こえたら、
＃、リモート暗証番号（3～6桁）□□□□□□、＃を押します。

- 最初の＃は応答メッセージが止まるまで十分長めに押すか、押し直してください。
「留守設定は＃ 1 ＃を、転送設定は＃ 2 ＃を、どうぞ。」または「留守設定は ＃ 1 ＃をどうぞ。」が聞こえ、次に曜日時刻が聞こえます。
- ＃ 1 ＃を押すと件数および用件が再生されます。
再生が終わると「対話形式でリモコンを行う場合は＃ 1 ＃を、直接リモコンを行う場合は＃ 4 ＃を、リモコンを終了する場合は＃ 0 ＃を、どうぞ。」が聞こえます。

3 続けて操作するとき

① 対話形式でリモコン操作する場合は、＃ 1 ＃を押し、聞こえてくる音声にしたがって、実行なら＃ 1 ＃、スキップなら＃ 3 ＃を押します。

② ダイレクトリモコン操作をする場合は、＃ 4 ＃を押し、裏面のダイレクトリモコン操作一覧をご参照ください。

4 電話を切るときは＃ 0 ＃を押します。

Netcommunity SYSTEM BX　**主電話機**

操作早見表　NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

項　目	操　作　手　順
転送先で用件を受ける	転送先電話のハンドセットを取りあげる ➡ ⊞ ➡ ①②③ ④⑤⑥ ⑦⑧⑨ ✱⓪⊞ （リモート暗証番号 3～6桁の数字） ➡ ⊞ ➡ 用件が再生される
通話中にお話しを録音	通話中に ➡ 留守操作 ➡ お話しを録音する ➡ 10 録音 ➡ 録音が終わったら 9 停止
留守モニタを設定する	メニュー ➡ DEF 3 ➡ ABC 2 ➡ ABC 2 ➡ （留守モニタ） 0：無し 1：有り
留守応答する回線を設定する	メニュー ➡ DEF 3 ➡ 1 ➡ MNO 6 （外線着信選択） ➡ 1 ABC 2 ➡ 決定 ➡ （ダイヤルイン着信選択） 0：無し 1：有り ➡ （内線着信選択） 0：無し 1：有り

Netcommunity SYSTEM BX　留守番電話のリモコン操作　NTT

■ダイレクトリモコン操作一覧

用件再生 …… ② ⊞
用件戻し（用件を再生中に）… ① ⊞
用件送り（用件を再生中に）… ③ ⊞
用件消去（用件を再生中に）… ⑧ ⊞
留守モード解除 …… ✱ ⊞
動作停止（用件を再生中に）…… ⊞
最初の音声に戻る …… ⊞ ⑨ ⊞
リモコン操作終了 …… ⊞ ⓪ ⊞

■留守番電話のセットを忘れたら

外出先から電話をかける→着信後50秒経過する→応答専用メッセージが聞こえたら、⊞、リモート暗証番号、⊞ を押す→設定されている応答メッセージに続いてメニューガイダンスが聞こえる→ ⊞ ① ⊞ を押して電話を切るか、続けてリモコン操作を行う。

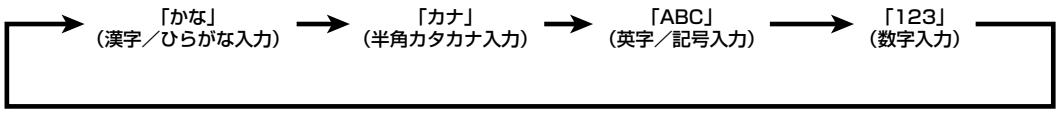
操作早見表

NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

■入力モードの切り替え

文字入力中にメニューボタンを押すたびに入力モードが切り替わります。



■ボタンと文字の対応表

入力モード / ボタン	全　角	半　角		
	「かな」表示 （漢字／ひらがな入力）	「カナ」表示 （半角カタカナ入力）	「ABC」表示 （英字／記号入力）	「123」 （数字入力）
1	あ い う え お ぁ ぃ う ぇ ぉ	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ エ ォ		1
2	か き く け こ	カ キ ク ケ コ	A B C a b c	2
3	さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ	D E F d e f	3
4	た ち つ て と っ	タ チ ツ テ ト ッ	G H I g h i	4
5	な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ	J K L j k l	5
6	は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ	M N O m n o	6
7	ま み む め も	マ ミ ム メ モ	P Q R S p q r s	7
8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ	T U V t u v	8
9	ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ	W X Y Z w x y z	9
0	わ を ん ー	ワ ヲ ン ゛ ゜ －	( ) － _ @ .	0
＊	**入力行**＊2 入力中：「゛」「゜」の入力			＊
＃				＃
△ボタン ▽ボタン	入力中の文字に対する漢字変換候補を表示			
◁ボタン ▷ボタン	**決定行**＊1 カーソルの左右移動＊3 **入力行**＊2 変換範囲指定	カーソルの左右移動＊3	カーソルの左右移動＊3	カーソルの左右移動＊3
決定	**決定行**＊1 登録 **入力行**＊2 選択された漢字変換候補を確定	登録	登録	登録
クリア＊4	1文字削除、 または漢字変換キャンセル	1文字削除	1文字削除	1文字削除

＊1　**決定行**：ディスプレイの2行目。確定された文字が表示されます。
＊2　**入力行**：ディスプレイの3行目。漢字変換中の文字が表示されます。
＊3　カーソルが一番左端にあるときは、◁ボタンで前の画面に戻ります。
＊4　クリアボタンを2秒以上押すと入力内容がすべて削除できます。

MEMO

仕様

■仕　様

使用回線	PB回線またはDP回線（10 PPS・20 PPS）、事業所集団電話回線、PBXの内線、INSネット64
適用回線種別	アナログ回線×2またはISDN回線
電話機収容数	最大8台
内線通話容量	最大8回線
ドアホン収容数	最大2台
寸法・質量	主電話機：幅約190 mm×奥行き約241 mm×高さ約110 mm・約1.4 kg 標準電話機：幅約190 mm×奥行き約241 mm×高さ約85 mm・約0.85 kg
使用電源	AC100 V　50/60 Hz
消費電力	最大時：約25 W
使用環境	温度：5 ℃～35 ℃ 湿度：45 %～85 %（結露のないこと）

保守サービスのご案内

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたします。
「保証書」は主装置等に添付されています。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

●故障の場合

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： フリーアクセス **0120-970413**
携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）
受付時間　9:00～21:00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： フリーアクセス **0120-248995**
受付時間　9:00～17 :00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。

環境基準ラベル「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「<追補版>通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

<環境に配慮した素材の採用>
- ●弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- ●弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- ●酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- ●焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- ●廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- ●取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

<リサイクルしやすい設計>
- ●製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- ●リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

<環境に配慮した梱包材>
- ●発泡スチロールの使用量を削減します。

<省エネルギー>
- ●省エネルギーを考慮した設計を行います。
- ●国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

本システムに接続される標準電話機はダイナミックエコマーク認定製品です。

PRINTED WITH SOY INK

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。　環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーダイヤス 0120-970413

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9:00～21:00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーダイヤス 0120-248995

受付時間　9:00～17:00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2010 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本2841-3(2010.2)
BX-RMトリセツ-〈1〉
4347060000 | H05